

第2部 事業評価



1. 評価の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるか、また、現在、提供されているサービスの質がどのような状況であるかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で合議により評価を行った。

カテゴリー1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリー3：経営における社会的責任

カテゴリー4：リスクマネジメント

カテゴリー5：職員と組織の能力向上

カテゴリー6：サービス提供のプロセス

カテゴリー7：重要課題に対する組織的な活動

(2) 評点の付け方

上記カテゴリー1～7（活動状況：今年度）の評点は評価項目ごとに、下記ルールに基づきつける。

評点基準 <カテゴリー1～6>	
評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとにつける。	
1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す。	
2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。	
3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素から除く。	
標語<カテゴリー7>	
目標の設定と 取り組み	<ul style="list-style-type: none">○ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みと 検証	<ul style="list-style-type: none">○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていない場合を含む）○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の 反映	<ul style="list-style-type: none">○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

「標準項目」を確認することができる（出来ていることが確認できる）のは、以下の①～③すべてを満たした場合である。

- ① 事業者が当該事項を実施していること
（項目の示す内容が「できている」状態である）
- ② その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
（偶然できているのではなく、再現性がある）
- ③ その根拠が示せること
（資料等で具体的に示すことができる）

（3） 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
1. 堀ノ内保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月
2. 成田保育園	平成 30 年 12 月	平成 31 年 1 月
3. 本天沼保育園	平成 30 年 12 月	平成 31 年 1 月
4. 宮前保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月
5. 久我山東保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月
6. 阿佐谷東保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月
7. 松庵保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月
8. 荻窪東保育園	平成 30 年 11 月	平成 31 年 1 月

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1. 堀ノ内保育園	46
2. 成田保育園	70
3. 本天沼東保育園	94
4. 宮前保育園	118
5. 久我山東保育園	142
6. 阿佐谷東保育園	166
7. 松庵保育園	190
8. 荻窪東保育園	214

1. 堀ノ内 保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児97名の保護者80世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	97
利用者家族総数(世帯)	80
共通評価項目による調査対象者数	80
共通評価項目による調査の有効回答者数	60
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	75.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」1名(2%)、「母」47名(78%)「父母一緒に」4名(7%)、無記入8名(13%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」31名(51%)、「満足」23名(38%)、「どちらともいえない」4名(7%)、「不満」1名(2%)。無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の89%で、当園の保育に関して高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装など」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「安心して預けて仕事へ行くことができ、子どもも保育園が大好きである」「保育園に通えたことで、子どもは様々なことを経験し、覚え、社会性も身に付いた。家庭ではしきれない教育をしてきている」「本などに使い古された温かみを感じる。物を大切にすること、人と共有して使うことが自然と身に付いている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「園庭やホールは日常使う分には十分に広く、活動できている」「普段一緒に過ごせない日中の時間でどんどんと成長しているのを、日ごろから感じている」などのコメントが記入された。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「ダンスなど、他の友だちがやっていることに興味は持っている」「集団生活の中で、自分が今やりたいことも時にはあると思うが、周りを見たり、声をかけてもらったりして、そのような時でさえ子どもが関心を持てるよう努力してくれている」などのコメントが記入された。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	52	8	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「アレルギーの対策も十分にしてもらっている」「栄養バランスはもちろん、食べることも努力してくれている」などのコメントが記入されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	50	8	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「散歩先が多く、沢山の自然に触れさせてもらえてありがたい」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	4	2	9
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答された方からは「連絡を入れれば、柔軟に対応してくれる」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	39	18	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の65%、「どちらともいえない」30%、「いいえ」3%、非該当2%であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	14	7	2
「はい」と返答した方々は回答者の62%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」12%、非該当3%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「保護者会や個人面談は平日なので、土曜日などにしてもらえるとありがたい」、「いいえ」と返答された方からは「保護者会は常に平日である。ずっと土曜日開催を依頼している」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	7	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、家庭と保育所との信頼に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「個人面談の機会以外でも、いつでも相談できるのでとても助かる」「連絡帳があるときも、なくなった今でも、園での様子を個別に話してくれるので子どもをよくみてくれていると感じる」「子育て中の保育士さんも沢山いて、とても相談しやすい」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	49	6	4	1
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「毎朝、職員の方々が清掃してくれている」「常にパートさんが掃除をしているというイメージ。」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	56	3	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「同じ立場として、気さくに話しかけてくれたりして気持ちがよい」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	49	8	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「細かいことでも丁寧に伝えてくれるので信頼している」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	12	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の66%、「どちらともいえない」20%、非該当・無記入14%であった。「はい」と返答した方からは「お互いの子どもの気持ちを理解して、その気持ちをくんだ対応をしてくれていると思う」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	55	4	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「対応の仕方ですぐに学ぶことが多い」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	50	5	2	3
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	48	11	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	9	2	8
「はい」と返答した方々は回答者の69%、「どちらともいえない」15%、「いいえ」3%、非該当・無記入13%であった。「はい」と返答した方からは「連携があり、朝に何か伝えたと、夕方にはほぼ全職員がちゃんと把握して対応してくれる」、「どちらともいえない」と返答された方からは「不満や要望を伝えることが殆どない」などのコメントが記入されていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	17	13	12	18
「はい」と返答した方々は回答者の28%、「どちらともいえない」22%、「いいえ」20%、非該当・無記入30%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「そういった相談自体をしたことがないため、わからない」「チラシやパンフレットなどが置いてある」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	児童憲章・理念・園目標を事務所に掲示し、職員へ周知している 児童憲章・理念・園目標を事務所に掲示し、職員へ周知している。また、全職員が参加する職員会議で、理念・目標を確認し合い、共通理解を深めている。保護者に対しては、入園説明会で理念・目標について伝えている。春に各クラス保護者会を開催し、園で大切にしていることを伝えている。保護者会の実施後に"堀カフェ"(年1回)を開き、各クラスの子どもの様子を掲示しながら、話をする機会をつくっている。そのほか、園の重要事項は、お知らせを配布したり、貼り紙で掲示したりして、保護者に周知している。	
	当園の目標申告を貼り出し、職員全員で当園の組織目標を達成できるようにしている 当園の目標申告(組織目標)を貼り出し、職員へ意識づけを図り、職員全員で当園の組織目標を達成できるようにしている。園長は、園長会などで得た情報や独自に講座や講習などに参加し、そこで収集した情報を職員に知らせたり、より良い保育に役立つ書籍などを紹介している。また、保育向上リーダーを配置し、主査・園長も含めて、園内研修を企画するなど、保育の質向上に向け協議している。クラスの環境や保育を考える手立てとして、他の保育園への見学を企画実施、実践につなげている。	
	毎日の昼ミーティングや職員会議などを通して、園運営の参画意識を高めている 係分担を作成し、職員個々の役割を定め、職員全員が主体的に園運営に関われるようにしている。毎日の昼ミーティングで、各クラスの子どもの状況・遊びの姿を話し合い、共有し、職員全員で保育している意識を高めている。園の重要課題は、昼の職員会議で検討、決定している。会議欠席者には、会議議事録を回覧したり、各クラスで口頭で伝達するなどして情報の漏れがないようにしている。毎月、月始に指導計画検討会議を開催し、職員皆で各クラスの課題を話し合っている。	
	カテゴリ2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリ1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

5/5

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

職員の提案を受け、子ども・保護者にとって快適な場となるよう環境整備を行っている

保護者会や個人面談などを通して、保育園への要望などを聴取している。保護者から要望が寄せられた際は、個別に対応している。職員の提案や意向に対しては、考課面談などを通して、組織に対する意向を定期的に把握している。また、日常的にリスク(危険)などを感じた際は、すぐに個別に解決に動いている。不要物の処分や壁のペンキ塗装、倉庫内の片付け、棚にカーテンを付けた、玄関スペースを温かい印象になるよう模様替えをするなど、子ども・保護者にとって快適な場となるよう環境整備を行っている。

地域子育てネットワークに参加し、地域の子どもに関わるニーズを収集している

近隣の20か所以上の保育所が参集する地域懇談会に園長が参加し、情報交換・情報収集している。また、児童館主催の地域子育てネットワークに参加し、地域の子育てに関わる課題について情報交換している。また、各種研修の受講後、必要に応じて資料を職員休憩室に貼り、職員へ情報伝達している。区からの通達文書や専門雑誌、新聞記事などから、保育園をめぐる課題について情報収集し、必要に応じて職員へ情報伝達している。把握したニーズなどについて職員会議などで意見交換し、課題を抽出し、課題解決に取り組むようにしている。

保育課・園の組織目標と、個人の目標に落とし込み、計画的に園運営を行っている

区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々が何をやるべきか明確にしている。計画に対しては、中間反省、年度末反省を行い、改善に活かしている。また、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しを行い、財政課の査定を受け予算編成を行っている。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ3の講評			
子どもへの関わり方や対応について気になったときは、個別に教育指導している 区人事課主催「新任研修」に新規職員を派遣し、情報セキュリティーやビジネスマナーなどについて教育指導している。また、保育課主催「平成30年度新規採用職員研修」にも派遣し、区作成の「保育実践方針」を用いて、日々の保育で大切にすることなどを教育指導している。非常勤職員に対しては、採用時や必要に応じて、クラス担任または園長から、子どもや保護者への対応方法について教育指導している。また、保護者からの指摘や、子どもへの姿勢や対応について気になったときは、園長・主査が個別に指導している。			
入園時や、園内にポスターを掲示し、苦情の申し出先について保護者に周知している			

入園時に苦情・要望等の相談窓口について保護者に説明している。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。意見箱を玄関に置いているが、今年度、投函実績はない。保護者からの苦情を受けた職員は、すぐに園長に報告し、事実内容を確認し、改善策を検討する。「保育園マニュアル」には、保護者から何でも言いやすい雰囲気をつくる、話を聴くときは複数で対応する、対応は迅速に的確に行う、保育園として誠意をもって対応していくなどを明記している。

町内会の方々と顔を合わせる機会を増やし、地域に根ざした園運営に努めている

週1回、地域の在宅親子に園庭を開放している。その際、近くに小規模保育施設の子どものも利用している。近くの小規模保育室には、総合避難訓練に参加を呼びかけるなど、区立直営園としての役割を果たそうとしている。また、近くの小学校が中心となった災害救援所に園長が参加したり、町内会の交通安全の取り組みに協力している。園の隣に地蔵が祭られており、年1回、管轄している寺の僧侶がお経をあげる際には、主査・園長が参加している。町内会の方々と顔を合わせる機会を増やし、地域に根ざした園運営に努めている。

カテゴリ4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ4の講評

全職員で事故・ヒヤリハットについて情報共有し、危機意識を高めている

事故報告を作成し、原因を分析し、他クラスでも同様なことがないよう職員全員で共有している。軽微なリスクは、園日誌に記載し、ミーティングなどで報告し合い、対応策まで報告し合っている。さらに、園の各所が老朽化しているため、日常的に園長・主査が園舎内外を見回り、危険箇所の点検を行い、改善を図っている。保育課主催の「保育の中の危機管理～保育施設での事故予防」をテーマとした研修に職員を派遣し、新保育所保育指針に対応した視点での危機管理について学んでいる。

「危機管理マニュアル」「防犯マニュアル」を用意し、安全確保に取り組んでいる

「危機管理マニュアル」を保管し、災害・事故発生時に迅速に対応できるようにしている。「避難訓練計画」を作成しており、月1回、避難訓練を行っている。日を想定するが、時間は予告なしに実施し、今年度は起震車体験も取り入れているなど、災害時に慌てず、適切に動けるようにしている。「防犯マニュアル」を作成しており、不審者が園周辺にいる場合の対応、不審者が園舎内に入った場合の対応を明記している。台風や豪雨に備え、杉並区のハザードマップに浸水の可能性のある地域内にあるため、今年度、『洪水時の避難確保計画』を策定している。

児童票やカメラなどは記録簿を作成し、情報漏洩がないように徹底している

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている。また、杉並区個人情報保護条例により、個人情報の取り扱いでは、危機管理意識を持ち、紛失・漏洩のないよう慎重に行っている。児童票やカメラ、メモリーカードなどを保管場所から持ち出す際は、持ち出し日時・持ち出す人の氏名・内容・返却日・確認者(持ち出し者と異なる人)を記録し、情報漏洩がないようにしている。入園時の重要事項を説明する際、園の個人情報の取り扱いについても説明している。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

乳児は持ち上がりを基本とし、クラスの状況を見ながらクラス担当を検討、検討している
 年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。全体でクラスの人数配置の案を出し、あわせて、職員アンケートを実施し、職員の希望を把握する。乳児は持ち上がりを基本とし、クラスの状況を見ながら、保護者との信頼関係も考慮し、園長がクラス担当(案)を作成し、決定している。

多様な研修の場を設け、研修受講後、報告書の提出と共に報告している

職員育成は、区保育課・人材育成課主催の研修や園内研修、外部研修、OJT、自己啓発などで行っている。区人事課主催研修では、在職年数に応じた研修を随時行い、保育課主催研修ではキャリアアップに必要な実務研修を実施し、該当者を研修派遣している。研修受講後、園長に研修レポートを提出すると同時に研修内容の報告をしている。研修資料を休憩室に貼り、どの職員も閲覧できるようにしている。パート職員も区保育課主催の研修に派遣し、子どもたちとの関わり方や保育に対する考え方について学んでいる。

日常的に子どもの具体的な姿について話をし、職員間の保育の会話を増やしている

日常的に子どもの具体的な姿について話をし、他のクラスにも目が向けられるようにすることで職員間の保育の会話を増やしている。週1回、ノー残業デイを設け、メリハリを付けて仕事ができるようにしている。幹部層は、職員の得意・不得意の部分を見極め、互いに認め合い、子ども達のために行動できる職員集団を目指したいと考えている。職員アンケートでは、「困っているときはお互いに助け合おうとしている」「日ごろの気づきや思いを出し易い」などのコメントが寄せられており、風通しのよい職場環境づくりと思われる。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「職員一人ひとりの保育観を共有し保育向上」を重要課題に掲げた。
- ・上記の目標達成に向け、次の取り組みを行なった。①年度当初の園内研修で、園目標について子ども像を上げグループで話し合い、各結果を報告し合い共感した。②日々のミーティングや打ち合わせ、会議で子ども理解を共有しあった。
- ・意見や苦情には速やかに対応し、全職員に報告し、共有した。③子どもの爪チェックの日を設けた。保育中の怪我の重症化を防ぐと共に、保護者の意識向上にもつなげた。④情報は保護者が見て伝わるように、わかりやすく、見やすい掲示を心がけた。
- ・上記取り組みの結果、園内研修や職員会議等の回数を重ねることで、園の保育の方向性が一致してきた。園理念に添った保育が、より展開されるようになってきた。職員間で気軽に子どもの様子が話せ、手立ても考え合えるようになってきた。
- ・今年度は「掘内保育園の園目標を共有し合い、全体の計画を考える」を具体的な目標として掲げた。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・職員アンケートでは、「園目標について話し合い、職員全体で理解を深めることができ、保育に生かすことができている」などのコメントが寄せられていた。今年度は、前年度の取り組みを受け、5月の園内研修で、新任職員に対して、前年度からの話し合いの経緯を説明し、その後、組織全体で自園の目指す保育を具現化していくことに取り組んでいる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「保育環境の充実」を重要課題に掲げている。
 ・上記の目標達成に向け、①室内環境の整備に取り組んだ。具体的な取り組みとして、玄関環境整備を行なった。乳児絵本を一括保管し、利用しやすいように整理した。保育室不用の黒板をペンキ塗装、ホール壁面(一部)塗装、絵本棚塗装を行なった。巧技台収納スペースを棚内とピアノ裏に移動した。劣化して裂けていたピアノカバー替えを行なった。汚れ布団にカバー掛けや、園予算で敷布団を購入した。また、園庭環境の整備に取り組んだ。園庭に遊び用ビールケースを設置した。プール時のお風呂マット購入。本、おもちゃ、棚の購入。プランターや花壇に花を植えた。目を通して入ってくる刺激が心地よい感じられるような環境への整備はかなり進んだ。
 ・今年度、古く劣化した建物ではあるが、保育環境整備は継続して取り組み、乳幼児の育つ場として、個々が自ら遊びたいと思うような環境整備に取り組んでいる。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、保育環境の整備と保育の充実に取り組んでいる。不要物の処分、壁のペンキ塗装、倉庫内の片付けなどをして使いやすいようにした。棚にカーテンをつけて安全対策を図った。玄関スペースを温かい印象になるよう模様替えをした。花や緑を植えて、心和む保育環境の整備に努めた。おもちゃや教材を積極的に購入したり、作製したりした。保育者が子どもと遊び込むことで保育が向上し、子どもの育ちがより豊かになってきている。職員アンケートでは、「遊びの幅が広がった」「緑や自然物が増えた」などのコメントが寄せられていた。今年度も、保育環境を整えるため、①屋上を有効活用し、遊具の整備、緑化を進めている、②2歳児保育室環境の充実に取り組んでいる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<p>区が発行する冊子や広報紙、ホームページ、園の門外の掲示などで情報提供している</p> <p>区の発行する広報紙や保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」、区のホームページなどで情報提供している。ホームページには、外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事園、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園の門には地域向けの子育て支援「遊びに来ませんか」を地域の人向けに掲示している。園児が散歩に出かける際には保育士はリュックに「遊びに来ませんか」のチラシを入れて出かけ、出会った親子に誘い掛けて配布している。</p> <p>区立直営園であり、地域の関係機関と情報交換し連携している</p> <p>区立直営園であり、区の所管課には、月報を始め、延長保育や子育て支援事業、施設管理関係などのさまざまな報告をして連携している。児童館が事務局になっている子育て地域ネットワークで、地域向けに子育てネットワークニュースを発行しており、当園も行事予定も掲載されている。地域の小学校区域の行政ネットワーク、中学校区地域教育連絡会議にも参加して、町会や青少年委員、児童委員などにも園の情報を提供している。</p> <p>月に1~2日の見学日を設けて10時30分頃から園舎内を見てもらっている</p> <p>電話で問い合わせをもらい、月1~2回の見学実施日を伝えて、連絡先と子どもの年齢を聴き受けている。都合が合わない人には個別に対応している。時間は10時30分頃から30分間程度にして、園長・主査、看護師が担当をしている。見学者用の概要を配布して、園舎内を見てもらいながら、保育で大切にしていることなどを伝えている。質問にも応じているが、英語は教えてくれるか、おむつの持ち帰り、入園前に準備する持ち物などが寄せられている。見学者数は9月16組、10月25組であった。</p>		
	サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>入園説明会を実施して重要事項や園利用の基本的なルールなどを説明している</p> <p>4月入園の場合には入園内定者に2月中旬頃に健康診断と面接を実施し、事前に提出してもらった「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などを基に、家庭の事情や保護者の就労状況などを聴き取り保育時間を決め、準備して貰う物の説明をしている。3月中旬の土曜日の入園説明会では、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「堀ノ内保育園のしおり」などの書類を基に、園の概要や緊急時の対応、安全管理、個人情報保護、保育目標、主な行事、家庭へのお願い、健康管理などを説明している。</p> <p>入園当初は保護者の状況や子どもの状況に配慮して、慣れ保育を実施している</p> <p>面接の際に保護者の就労状況を聴き取り、入園当初の保育の意向も把握している。0・1歳児は、初日は保護者と一緒に午前中を過ごし、昼食を食べさせてもらっている。2日目からは保護者の状況や子どもの慣れ具合により、徐々に保育時間を延ばす慣れ保育をしている。早めに保育時間通りの保育を希望する場合や育児休業中でゆっくり進めたい意向など、事情は個々に違うため個別に対応している。0・1歳児は担当制にして生活面は同じ保育士が関わり、早めに信頼関係を築くようにしている。迎える保護者には子どもの様子を詳細に伝えている。</p> <p>卒園や転園、退園の際には子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>卒園に際しては就学先の小学校に保育所児童保育要録を送付している。区内の公立園に転園には児童票(写)と健康カードを引き継いでいる。他区などから情報の提供を求められた時には、保護者に了解を得て情報提供することもある。途中退園の場合には、クラスでお別れ会を開いて、メッセージカードを渡している。保護者には新しい子育て環境などに心配事はないか話を聴くなどして、いつでも遊びに来てくれるように伝えたり、園庭開放に誘ったり、散歩先の公園で同じクラスの子どもと一緒に遊んだりしている。</p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身状況や生活状況を把握し、保育日誌や保健日誌、児童票などに記録している

入園時には園医による健康診断で発育や健康状態を把握し、子どもの心身の発達や成育歴、入園までの生活状況などを保育士などの専門職が面接して児童票に記載している。入園後は、毎月の身体測定や月1回の0歳児健診、年2回の定期健診、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果などを健康管理票や健康カードに記入している。乳児クラスでは家庭での睡眠や食事、排泄、体温などの情報を連絡帳に記入してもらい、幼児クラスでは体調などを口頭で収集して保育をし、保育日誌や保健日誌に記録し、保育経過記録などを児童票に記入している。

指導計画は担任同士で子どもの姿やクラスの状況を話し合い、作成している

月間指導計画(月案)は、クラスの担任同士で子どもの様子やクラスの状況を振り返り、保育者の思いとその手立て考え、年間指導計画を基にして翌月のねらいと具体的な内容を設定している。そして、活動の中で見られる子どもの姿から修正し、再構成しながら保育している。乳児クラスでは毎月個別の子どもの姿とねらい・配慮を作成している。各クラスの指導計画は職員全員に配布して事前に読んでから2日間のカリキュラム会議で検討し、クラスで困っていることや迷っていることなどを職員間で検討して、情報共有している。

ミーティングや職員会議などを開いて子どもに関する情報共有をしている

子どもに関する情報を共有するためにさまざまな会議を開催している。ミーティングは毎日昼間に実施して、午睡当番保育士以外の幼児クラス担任、乳児クラスは各代表者、その他の参加できる職員が参加して、午前中の保育や子ども・保護者の情報、午後の職員体制、明日の職員体制、食物アレルギー確認、ヒヤリハットなどを報告している。定例会議は毎週水曜日の昼間に実施して、園長会報告や課題検討などを行っている。夕方からの職員会議では、園内研修や行事検討、期の反省などを、カリキュラム会議ではクラスの保育や子どもの状況を話し合っている。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和り取りする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリー5の講評		
個人情報の保護を徹底し、子どもの羞恥心への配慮をしている 入園説明会において、個人情報の保護の基本方針と取り扱いの徹底について書面を見てもらいながら説明し、同意できない場合には申し出てもらうようにしている。園の使用目的以外に情報提供する場合には保護者の同意を得ることになっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おもらし時の着替え場所をトイレに衝立をして設置している。水遊び、プール遊び、シャワーなどには目隠しを設置している。裸になる時にはラップタオルを使用している。プライベートゾーンの話を見守りがしている。		
子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりを大切に保育している もっと遊びたいから部屋に入りたくないなどの子どもの思いには、子どもの気持ちを尊重し、子ども自身の心の育ちを大事に考え、職員間で連携して対応している。子どもを否定するような言葉は使わないようにして、職員同士で子どもの成長の姿について共有し、喜び合っている。子どもの名前を呼ぶ時には愛称では呼ばないことを確認している。幼児クラスでは子どもの誕生日当日におめでとうのアームバンドを付けてクラスでお祝いをしている。好きな色のアームバンドを付けて、みんなからお祝いの言葉をもらっている。		
子どもの言動や身体の変化に気を配り、虐待の早期発見に努めている 「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応している。日頃から、子どもの言動や身体状況の変化に気を配り、傷やあざなどの外傷はどうしたのか子どもに聞いたり保護者に確認したりして、虐待の早期発見に努めている。気になる場合には速やかに園長に報告し、記録を取り職員間で情報共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターなどに報告して、連携して対応している。子ども家庭支援センター主催の研修、テーマ「虐待基礎研修」「ペアレンティング・トレーニング講座」に職員が参加して研修報告をしている。		
サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ6の講評		
<p>区立園共通のマニュアルや園独自のマニュアルを作成している</p> <p>区立保育園共通の「危機管理マニュアル」を整備している。園独自のマニュアルとして、苦情・要望の対応、双方の保護者に何を伝えるか(かまれたり、ひっかかれた時の対応)、おむつ交換の手順、防犯マニュアル(不審者対応)、朝夕パートの仕事(仕事分担)、パート職員の園内研修、当番の仕事分担などを作成している。マニュアル類は事務室の棚に置いてあり、確認したい時にはいつでも見ることができるようにしている。</p> <p>期末や年度末に反省をして見直し、必要に応じて随時見直す場合もある</p> <p>保育や園運営は期末や年度末に反省をしている。行事は行事終了後に反省会を実施して、翌年の取り組みに活かしている。区立園共通のマニュアルは必要に応じて所管課で見直している。園のマニュアルは年度末に見直し、差し替えることにしている。しかし、朝夕パートの仕事内容など、子どもの成長や子どもの人数の増減、パートの入れ替わりがある場合などで、仕事内容を変更する必要がある場合には、随時提案して話し合い、仕事内容の変更をしている。</p> <p>「子どもにとって」を考慮して意見を出し合い、これまでの取り組みを見直している</p> <p>園運営の中で課題が見つかった時には早急に検討している。土曜日の延長保育室を2階にしていたが、防犯の面からも子どもが安心して過ごせることを基本にして話し合い、1階の保育室に変更している。2歳児室のベランダ横にある外階段の利用について、園庭遊びなどの戸外遊びにすぐに行けるように、2歳児は外階段を利用することを職員間で確認し合っている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの年齢発達に合わせた玩具類を用意して、自分で選んで遊べるようにしている</p> <p>乳児の保育室は食事と遊び、着替えなどの場所を低い玩具棚や衝立などで仕切り、遊びの場所はままごとや絵本、パズル、積み木などのコーナーに分けて、好きな物で落ち着いて遊べるようにしている。玩具棚には子どもの発達に合った玩具類を並べて子どもが自分で選んで使えるようにし、ままごと具材も手作りを用意している。幼児の保育室では、子どもの興味がある物や発達に合った物を子どもの姿に合わせて、図鑑、木製積み木、世界の国旗、プリズムコマ、小型のブロックなどを用意し、ままごとコーナーでこっこ遊びを充実させている。</p> <p>幼児クラスで異年齢の3グループに分かれて異年齢交流活動をしている</p> <p>月に1回程度、仲良しの日(異年齢交流)の散歩に出かけている。幼児クラスで異年齢の3グループに分かれてグループ名を決め、3か所の公園に散歩にでかけ、帰園してグループ毎で食事をしている。子ども同士の関わり合いが生まれて年上の子どもが一緒のグループの子どもに優しく声を掛けたり、面倒を見る様子も見られている。外国籍の子どもは容姿の違いはあるが子どもたちは違和感なく一緒に遊んでいる。世界地図や日本地図、国旗なども保育室に掲示して、色々な国がある事を知らせている。世界地図を見て「～ちゃんのお父さんの国」と話している。</p> <p>発達過程で生じる子ども同士のトラブルには子どもの気持ちをくみ取り対応している</p> <p>1・2歳児のトラブルは、状況を把握して、双方の子ども気持ちをくみ取り、対応している。「～したかっただね」と、子どもの気持ちを代弁し「～した方が良かったね」と伝えている。保護者には、トラブルの状況説明をして、保育中の子どものトラブルは行動を予測して対応できなかった園の責任であり防げなかったことを謝罪し、対応策を伝えて相手の名前を伝えていない。幼児のトラブルでは子ども同士で納得して解決できるように、導いている。保護者には、トラブルの状況を正確に伝えて、怪我になった場合には防げなかったことを謝罪している。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている

登園時には、朝当番保育士や担任が子どもの顔色や機嫌、表情などの健康観察をし、家庭での様子を聴いて受け入れている。乳児クラスでは連絡帳に記入してある内容を確認して受けている。夏にはシャワーチェック記入の確認をして、記入漏れがないようにしている。0歳児は登園時も検温してもらい、結果を書き入れている。前日欠席したり、園で体調を崩したりした時には、家庭での様子を聴き、聴き取った情報は朝夕保育名簿に記入して、担任に引き継いでいる。火・金曜日は爪チェックの日にして、前日に「明日は爪チェックの日です」と貼り出している。

休息(昼寝を含む)の長さなどは子どもの状況に配慮している

0~3歳児では「食べたなら寝る」の生活の流れにしている。0・1歳児では必要に応じて午前寝や夕寝も保障している。前夜の睡眠不足などで眠たそうにしている場合には、早めに寝かせるなど、子どもの状況に配慮している。4・5歳児は食事した後、お腹休めに静かな遊びをして、絵本や紙芝居を読んでもらってから寝ている。早めに目覚めた子どもはまどろみながら体を休めて15時頃に起こしている。5歳児は、就学前に少しずつ昼寝時間を短くしていき、3月中旬以降は寝ないで過ごしている。

降園時には保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えることにしている

迎えの保護者一人ひとりに子どもの様子やエピソードを伝えている。乳児クラスでは連絡帳でも伝えている。夕方・延長保育の当番保育士が対応する時には、朝夕保育名簿に担任が連絡事項を記入して口頭でも引き継ぎ、漏れなく伝えるようにしている。当番保育士はミーティングで報告されたクラスの様子や自分が当番時に見たり聞いたりした子どもの様子や発言を伝えている。日中保育した担任が伝える必要がある場合には、保護者の迎えを待って伝え、必要に応じて園長や看護師なども伝えている。伝え忘れに気づいた時には、電話で伝えることもある。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもがじっくり遊べるように時間と場所の保障をしている

園庭遊具は固定遊具の他、可動遊具を取り入れて、自由に使って遊べるようにしている。子どもが集中して好きな遊びで遊んでいる時には、保障している。幼児クラス、特に5歳児では、その日の活動予定が決まっていたり、散歩に出かけるような場合には、時間配分を子どもに伝えて、どうするかを相談し、続けて遊びたい場合には残しておいて、再度遊ぶようにしている。積み木遊びや線路と汽車遊びのように床に広げて遊ぶ遊びの場所を決めて、置いておき、継続して遊べるようにしている。

子どもたちがイメージを膨らませて意欲的に描画や制作活動に取り組んでいる

描画や制作活動が好きな子どもたちが、描きたい時に描けるように、画用紙やクレヨン、色鉛筆、サインペンなどの用具をいつでも使えるようにし、空き箱などの廃材も集めて、自由に制作遊びをしている。4歳児は塗り絵が好きで曼荼羅模様の塗り絵が人気で繰り返し取り組んでいる。5歳児は、職員が演じた劇を真似て劇ごっこに取り組み、自分のイメージに合わせて新聞紙で衣装作りをしている。前年の年長組のお店屋ごっこを思い出して、お店屋ごっこもしたいと、レストランのおにぎりやお寿司、ジュースなどの売物作りに取り組んでいる。

自然豊かな公園に散歩に出かけたり、園庭で水や泥遊び、虫探しなどを行っている

園周辺は川べりに自然が豊かな公園が何か所もあり、恵まれた環境である。園庭では春は桜の花びらで遊び、夏はどろんこ遊びや泥団子作りをし、ダンゴ虫やカメムシ、てんとう虫、蟻などの昆虫に触れて遊んでいる。散歩に出かけて川沿いの道を歩きながら鴨などの野鳥を目にし、ヘビを見たりしている。公園では木々の茂みに隠れてかくれんぼで遊び、草の実や木の实探し、ドングル拾いや落ち葉集めなどを行っている。坂道の上り下りもできる、広いグラウンドでは思いっきり走り回って遊ぶこともできている。カブトムシやザリガニなどの飼育をしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

お店屋さんとお化け屋敷ごっこに取り組み、他のクラスにお客さんになってもらっている

前年の経験や区立子供園のお店屋ごっこに参加した経験から「スーパーランド(おみせやごっこ)をしよう」と意見が出て、5歳児クラスでのお店屋さんとお化け屋敷に取り組み、他のクラスを招待した。お店屋さんはレストラン、くじ引き屋、乗り物屋、スーパーなどがあり、レストランのジュースやおにぎり、ケーキなど全部手作りで美味しそうに出来あがり、お客さんも食べるまねっこをして楽しんでた。お化け屋敷は保育室を椅子やテーブル、トンネルなどで迷路を作り、お面を被ったお化けに扮して驚かせていたが、小さい子に優しいお化けになっていた。

運動会ではみんなの気持ちを合わせてソーラン節を踊る楽しさを味わっている

運動会では毎年、5歳児はハッピを着用して、鉢巻を締めてソーラン節を踊っているの、低年齢の子どもたちの憧れになっている。今年の5歳児もソーラン節を踊ると思っていたようだが、取り組み始めは「難しい」「まだ終わらないの」とつぶやいていた。次第にポーズも決められるようになってきた。大人の上手な踊り手にソーラン節を踊ってもらう機会を設けたことで、子どもたちのかっこよく踊りたいという思いが強くなり、一層熱心に取り組むようになり、クラスみんなで気持ちを合わせて踊る楽しさを味わうことができた。

年間行事予定表を年度始めに配布し、子どもたちの取り組みの様子を詳細に伝えている

保護者参加の保育行事は、10月の土曜日に、地域の養護学校の校庭で実施している3・4・5歳児対象の運動会である。乳児クラスは自由参加にして地域競技に出場してもらっている。年間行事予定表を年度始めに配布して、春の保護者会でも日程を伝えている。保護者には運動会に向けて取り組んでいる子どもの様子を、送迎時に口頭で伝えたり、貼り出し日誌やクラスだより、写真掲示などで見てもらっている。園だよりや事務所だよりにも掲載している。行事が近づくと、お知らせやご案内、見どころなども発行している。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

夕方保育はなるべく慣れている保育室で落ち着いて過ごせるようにしている

夕方保育では、18時30分まで3歳児は3歳児室、4・5歳児は4歳児室、2歳児は2歳児室で過ごしている。0歳児と1歳児は18時まではクラスで過ごし、その後、一緒になって1歳児室で過ごしている。18時30分からの延長保育は2歳児室でしている。現在、定期利用児が8名とスポット延長保育利用児が数名の状況である。長時間の保育になるため、時には気分を変えて、部屋を移動して遊ぶなどもしている。

子どもが遊びたい遊びのコーナーを設置して、それぞれ好きな遊びをしている

延長保育をしている2歳児保育室は広いので、子どもの遊びたいものに合わせてコーナーを設定して、好きな遊びができるようにしている。延長保育用の玩具や絵本、絵描き用具などを用意している。ソフトマットを敷いているので、疲れた時にはゴロゴロ横になるなどしている。幼児が興味をもって遊べるような玩具や子ども自身が遊びたい玩具を幼児室から持ち込むこともしている。

安心できる大人と一緒にゆったりとして過ごしている

延長保育のパート職員はいつも同じ人にして、子どもが安心して過ごせるようにしている。パート職員も研修に参加して、子どもへの関わり方を伝えている。延長保育児は顔見知りになっているので、年上の子どもに年下の子どもが寄り添って行き、遊びを真似たり見たり、年上の子どもが優しく声掛けしてくれるなど、自然な異年齢の関わりが見られている。大人とのスキンシップを求めるような時には膝に抱いて本を読むなど、ゆったりと関わっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

落ちついて楽しく食べられるように配慮している

乳児クラスでは、子どもが落ち着いて食事できるように食事コーナーを設置し、子どもの背丈に合わせたテーブルや椅子を使用し、必要に応じて、手製の背当てや脇当て足台などを作り、子どもが安定して座って食べられるようにしている。席もいつも同じにしている。食事の時には楽しく美味しく食べられるような声掛けを心掛けている。七夕やひな祭りなどの行事の時などには行事食を提供し、献立も季節の行事に合わせた星形の野菜入りの汁やちらしずしなどを提供している。

区立保育園共通献立で栄養バランスがとれて給食を園で手作りしている

区立保育園共通の2週間サイクル献立で、栄養バランスのとれた給食を園の調理室で委託業者が手作りして提供している。栄養士が委託業者との間に入り、職員の意見や子どもの様子を見ながら調整している。食品添加物などを使用した食品は極力使わず旬の食材を使い、煮干しや昆布、鰹節などで出汁をとって薄味の自然な美味しさの給食にしている。職員も検食して、子どもの食べ具合を見て、味付け、切り方、柔らかさなどの意見をミーティングで調理室に伝えている。食の安全性にも留意して、給食実物展示や食材産地の表示をしている。

野菜栽培や収穫、食材に触れる経験などをして、食への関心を高めている

園庭の隅の畑やプランターを利用して野菜を栽培している。ピーマンやミディトマト、きゅうり、三尺豆などを植えて子どもたちも苗植えや水やりなどをして、生育を観察し、収穫の喜びを味わい、調理室で調理してもらって、時には、保育室の子どもの目の前で炒めてもらい、香りや調理の音を楽しんだりして、採れたてを食べている。食材に触れる経験として、とうもろこしの皮むきやそら豆などの豆類のさやむき、レタスちぎりなどを行っている。調理の経験では、幼児クラスでラップおにぎり作りをし、5歳児はクッキー作りをしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の身体に関心を持ち、病気や危険から身を守るように健康教育をしている

年間保健計画を作成して、子どもたちが自分の身体に関心を持ち、病気や危険などから身を守ることができるように健康教育に取り組んでいる。手洗いやうがい、プライベートゾーンなどについて、子どもたちに目に見えてわかりやすいように、エプロンシアターやペープサートなどを使って伝えている。歯磨きは歯科検診の時期に歯科衛生士が指導してくれている。保育の中では、遊具の使い方を気づかせたり、散歩時には道路の歩き方や横断歩道の渡り方など、公園では見える場所で遊ぶことや危険な場所には近づかないことなども伝えている。

関係医療機関や療育機関などと連携している

薬の預かりは原則していないが、子どもが健康的な生活をする上で必要な薬については主治医の処方薬に限り、指示書を提出してもらい受けている。現在は、抗痙攣剤とアレルギーの塗り薬を預かっている。囁託の園医は週1回0歳児健診と年2回の定期健康診断で来園している。園児の健康に関する相談をして助言をもらっている。園児が通所している療育機関の訪問を受けて、連携している。

保健だよりや保健掲示などで、子どもの健康維持のための情報提供をしている

毎月保健だよりを発行して、子どもの健康状態や季節の体調管理などの情報を伝えている。内容は、生活リズムの大切さ、夏の疾病予防、虫刺され対策、日焼け対策、薄着について、インフルエンザなどである。感染症に関する情報や園での感染症が発生情報を玄関ホールの保健コーナーや各クラスの窓などに掲示して注意喚起をしている。感染症が発生した時には、病名や発生クラス、症状、潜伏期間等を伝えている。乳幼児突然死症候群の予防として、園における昼寝時には、午睡チェックをしている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労や家庭の事情などには可能な限り配慮して対応している

急な残業で迎えが遅くなる場合や土曜日に仕事が入って保育が必要になった場合などは、事前の連絡や急な電話でも受けている。18時30分以降の迎えになる場合には、スポット延長保育で受けている。家庭の事情などで相談された場合には、「子どもにとって」を第一に考えて、柔軟に対応している。育児についての相談はいつでも受けているが、自分で知りたい保護者向けに、育児のヒントになる本を保護者向け貸し出し本として用意して、読んでもらえるようにしている。

保護者と園との信頼関係を作る機会として年1回「堀カフェ」を実施している

年1回の「堀カフェ」は16時15分から18時30分、迎えに来て子どもを引き取る前に、ホールで麦茶を飲んでもらいながらホッと一息ついてもらう取り組みにして、職員と話をしたり、園の保育の一端を見てもらう機会にしている。園長・主査と栄養士、看護師、参加できる担任が参加して、各クラスで子どもたちが遊んでいる様子の写真を掲示して見てもらいながら、説明している。昨年の参加者は少な目だったが、今年は30名以上もの参加があり、保育を伝える良い機会になっている。

保育参観・参加にはほとんどの家庭が参加して、個人面談もしている

年1回は保育参観や保育参加に来てもらい、その後個人面談を実施している。都合により、別日でも受けている。保育参加は幼児クラスで実施し、午前中子どもと一緒に遊んでもらっている。乳児クラスでは保護者の希望に合わせて、簡単に変装してもらって言葉を発しないで保育室にいらったり、別の部屋などに隠れて見てもらうなどしている。ほとんどの家庭で参加や参観をしてもらっている。個人面談を実施する際は、子どものことで気になっていることなどをアンケートにとり、それに基づいて個人面談をしている。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域の区立子供園や小学校、福祉施設、町会の方々などと積極的に交流している

地域にある区立子供園と交流し、お店屋ごっこに参加したり、大きいプールを使わせてもらうなどしている。小学校と年2~3回交流して、1年生と体育館で一緒にハンカチ落としなどで遊び、学芸会のリハーサルも見せてもらっている。グループホームを訪問して、利用者のお年寄りと一緒に遊び、あんたがたどこさを教えてもらったり、5歳児の体操を披露したりしている。障害者施設からマジックショーに招待してもらった。園長が地域の防災訓練に参加し、町内会の交通安全の取り組みに協力するなど地域の一員として参加している。

地域の保育施設の子どもが園庭に遊びに来ている

近隣の園庭のない保育施設が園庭開放に来て遊んでいる。運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子を地域の人たちが見てくれているが、当日には地域の人参加はほとんどなく、卒園児が来たり、元職員が来てくれたり、祖父母も含めた家族で来てくれている。その他、ボランティアとして、中学生の夏のボランティアを2名受け、子どもと一緒に遊んでくれた。

地域子育て支援事業として園庭開放と身体測定を実施している

園の地域への子育て支援として園庭開放と身体測定を実施している。園の門には「遊びに来てね」の看板を出して誘い掛けている。しかし、身体測定希望はほとんどない。園庭開放参加者は12月までで延べ17組であり、砂遊びや水遊びが安心してできると喜んでもらっている。地域子育て支援として、子供園と児童館と一緒に夏に1回、「のびのび外遊び」を子供園の園庭で実施している。園からは園長、主査、看護師、保育士が参加して、身体測定や玩具の紹介、子育て相談などを実施した。参加者は50組である。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもたちが主体的に遊べる遊具を用意して園庭環境作りをしている	
内容①	園庭の状況から考えて、子どもたちの遊びを充実させるには何が必要なのかを探るために、区内の他園を見学し、子どものための園庭環境作りに取り組んでいる。広くはない園庭には、ブランコや滑り台、鉄棒、砂場などの固定遊具があるが、それらに加え、子どもたちが自由に出して遊べる可動遊具のタイヤ、風呂椅子、マルチパーツ、風呂マット、ゴザ、テーブル、ベンチ、缶ぽっくり、竹馬などを用意したところ、それらを使って、子どもたちがイメージして家や車を作り、思い思いに遊んでいる姿が良く見られるようになり、遊びの幅が広がってきている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	園庭の使用を柔軟にしたことで、異年齢の自然な交流が広がってきている	
内容②	園庭がさほど広くないために、幼児使用日と乳児使用日を決めて使っていた。園庭遊具の見直しをして、子どもが自由に使えるように可動遊具を用意したところ、子どもが自分の使いたいもので遊ぶので、落ち着いて異年齢と一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきた。夏、園庭で2歳児がシャボン玉遊びを始めたところ、4歳児もやりたいと遊びに入ってきて、5歳児も3歳児も始める等、お互いに刺激し合って遊んでいた。園庭を柔軟に使うようにしたことで、自然な異年齢交流が見られるようになっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者と職員が子どもの姿や成長について一緒に話せる「堀カフェ」を実施している	
内容③	例年2回実施していた「堀カフェ」の参加者が減少傾向にあり、今年は1回開催することになっていた。保護者と職員が子どもの姿や成長について一緒に話す良い機会と捉えて、今年の「堀カフェ」をホールで実施した。迎いの保護者に、「子どもを引き取る前にホッと一息つきませんか」と声掛けして、麦茶を用意し、職員と話したり、保護者会で使用した写真を掲示して保育の一端を見てもらいながら説明したりしたところ、今年は30名以上もの参加があった。「堀カフェ」が保護者との関係作りや保育を伝える良い機会になっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの環境にふさわしい清潔感のある心地よい保育環境作りに取り組んでいる
	内容	施設が古く、壁のペンキが黒ずみ、剥がれて劣化している部分がある事から、壁の壁面のペンキ塗りをしたり、古くなっていたピアノカバーを取り換える、玄関ホール環境整備をするなど、見た目にも清潔感のある心地よい環境作りに取り組んでいる。玄関ホールの壁面には「ひばりびじゅつかん」として、5歳児(ひばり組)の手作り絵本や折り紙を展示している。子どもたちの木製積み木遊びの様子やできあがった積み木作品を写真に撮り、掲示し、季節の自然物、柿や栗などが飾っており、ホッと空間になっている。
2	タイトル	野菜などの食材を見たり触れたりして、子どもたちの食への関心を高める食育に取り組んでいる
	内容	給食食材の野菜を玄関ホールに置いて、見たり触れたりできるようにしているので、子どもたちがスイカや冬瓜を触ったり抱いてみたりしている。外から見えないマジックボックスを用意して、しめじなどの野菜を入れておき、手を入れて何が入っているか当ててみるクイズ遊びも取り入れて、子どもが食材に触れる経験になっている。調理室前の廊下には、今日の給食に入っている食材を、磁石付パネルの野菜や肉などで白板に掲示して子ども達に知らせている。
3	タイトル	週2回爪チェックを実施して、子ども同士のトラブルでのひっかき傷防止に役立っている
	内容	週2回(火・金曜日の朝)の爪チェックを取り入れて事故や怪我の防止に取り組んでいる。伸びている時には保護者に切ってもらっていることで、子ども同士のトラブルでのひっかき傷防止に役立っている。取り組み始める時には、子ども同士のトラブルの際にお互いに怪我を最小限にしたいことを保護者に伝えて協力をお願いした。月曜日や木曜日には「明日は爪チェックの日です」と保護者の目に付きやすい、2階の入り口などに表示をしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	入園時の説明に関する同意の有無を書面で得る仕組みの構築を望む
	内容	入園説明会では、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「堀ノ内保育園のしおり」などの書類を基に、園の概要や基本的なルールなどを説明している。個人情報の取り扱いの基本方針や写真撮影についても文書で説明している。意見のある場合や同意しない場合は申し出てもらうように伝えている。今後は、個人情報を含くめた説明内容の同意の有無を書面で得る仕組みの構築を望む。
2	タイトル	有効なマニュアルにするために、業務手順を見直し変更した際には、都度の変更や差し替えを期待する
	内容	区立園共通のマニュアルの他に、園独自の業務マニュアルを作成して、年度末に確認し見直している。しかし、パート職員の仕事内容など、必要に応じて随時業務手順を見直す際には話し合った上で、変更しているが、その都度のマニュアルの見直し・差し替えはしていない。今後は、手順を確認する手段として有効なマニュアルにするために、変更した内容に書き換えたマニュアルに差し替えを期待する。
3	タイトル	チェックシートやヒヤリハット報告などを活用し、計画的な安全点検の仕組みを整えることを期待する
	内容	日常的に園長・主査が園舎内外の危険箇所について点検している。その際、日常点検チェックシートを使用していない。また、ヒヤリハット(軽微な危険)についても、ヒヤリハット用紙はあるが、使用されていない。今後は、園舎内外の危険箇所のチェック表や、ヒヤリハット表などを使って、全職員で自己点検するなど、計画的な安全点検の仕組みを整えることを期待する。



2. 成田保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児79名の保護者70世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	79
利用者家族総数(世帯)	70
共通評価項目による調査対象者数	70
共通評価項目による調査の有効回答者数	62
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	88.6

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」4名(6%)、「母」50名(81%)、「父母一緒に」5名(8%)、無記入3名(5%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」34名(54%)、「満足」27名(44%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の98%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問9「清潔・整理整頓」、問13「利用者の気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「子どもが“保育園楽しい”と言って、登園している」「絵本の貸し出し(成田文庫)や食育、生き物を育てることなど、良い活動が沢山ある」「担任以外の先生方も気さくに声をかけてくれる」などのコメントが寄せられていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	61	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「生活習慣や言葉、感情など日々成長しているのが実感できる」「友だちとのやり取りを通して、コミュニケーション能力の向上につながっている」「食育、散歩での虫採集や飼育など、家庭でできないこともしてくれている」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	59	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「毎日、子どもが“楽しかった”と伝えてくれる」「本やおもちゃなど子どもが関心のあるもの、また、生き物(メダカ、金魚など)を飼ったり、野菜を育てたりしている。」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	61	0	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「心のもった手づくりの給食やおやつに感謝している」「毎日ほぼ完食して帰ってくる。家ではなかなか食べてくれないものも食べている」「アレルギーがあるが、園が対応してくれている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答された方からは「近隣公園への散歩は子どもも楽しんでおり、自然と触れ合う良い機会だと思う」「近くの公園で豊かな体験をさせてもらっている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	13	0	4
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、保育時間の変更に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「電話でお願いする際も、“急がないでゆっくり来てくださいね”と温かい言葉をかけてくれるので、安心して仕事から帰ってくる事ができる」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	53	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「古い建物だがいつも整理整頓されており、危ないと感じたことがない」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	45	11	6	0
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「働く親にとっては丁度よい行事の回数だと思う」「保護者会が平日午後開催ということについては、年2回ぐらいならば仕事の調整がきくので平気である」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	55	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、家庭と保育所との信頼関係の構築に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「先生方は子どもの様子を伝えてくれて、相談もしやすい」「朝保育、夕保育時間に送り迎えなので、担任と話す機会が少ない」「連絡帳のやり取りは勿論、お迎え時にも保育士の先生から必ず声かけと話をしてくれるので、相談しやすい」などのコメントが寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	57	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「古い建物だが、綺麗に掃除されている」「用務の人がいつも細やかに清掃してくれているのがわかる」「おもちゃの整理収納は家でもまねをしているが、子どもでも物をしまいやすくなっている」「おもちゃも毎日洗っていている」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	53	7	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の86%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「先生方は皆明るく、言葉遣いについても問題ない」などのコメントが寄せられていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	58	2	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「丁寧に対応してくれて、翌日にも気にかけてくれる」「集団生活なので、少しでも変化があれば連絡してくれるのはありがたい」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	46	11	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「細かく状況をみてくれている。家庭でのフォローの仕方にもつながっている」「ケンカのときは、どのようにして起こったのかを教えてくれる」「先生が立ち会って子ども同士で話すこともしている」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	57	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「トイレトレーニングも、“心のケア優先”だと教えてくれた」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	53	4	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「写真の取り扱いやSNSなどに対して、プライバシーに配慮してくれる」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	54	6	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもが何をしたかの説明や写真なども壁新聞で掲示してくれるので、よくわかる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	48	6	1	7
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「どちらともいえない」と返答された方からは「言葉にして伝えることがない。思ったことや要望の全ては言えていない」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	21	12	8	21
「はい」と返答した方々は回答者の34%、「どちらともいえない」19%、「いいえ」13%、非該当34%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	入園説明会の際、保護者に保育理念・保育方針・保育目標について説明している 事務所内に保育理念・保育方針・保育目標などを掲示し、職員への意識づけを図っている。保護者には、入園説明会の際、「成田保育園のしおり」に明記している保育理念・保育方針・保育目標について説明している。また、日々の保育の中で実践していることを口頭、または張り出し日誌、クラス便り等で保護者に伝え、保護者との共有に努めている。保護者とは、子どもを真ん中にして、成長を喜び合える関係づくりに努めている。	
	保育向上リーダーを中心に、保育の話をついせし、保育の質向上を図っている 園長・主査の役割分担表を作成している。杉並区は、園長・主査・保育向上リーダー2名が保育の向上促進の4本柱と位置づけている。保育向上リーダーは「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、保育の質のためには、保育の話をついせし話すことが大切で、話し合うことで、保育の質も高めていくことを学んでいる。当園は、五感で感じる保育を大切にしている。成田保育園は自然環境に恵まれており、自然に十分触れ、自然現象を全身で感じ、命の尊さを学ぶことのできる保育に取り組んでいる。	
	園の重要課題について、屋の定例会議、職員会議などで検討、決定している 園の重要課題について、屋の定例会議(週1回)、屋の職員会議(月1回)、夜の職員会議(月1回)などで検討、決定している。参加できなかった職員は記録を閲覧することで、園の決定事項について共有化している。毎日、屋ミーティングを実施し、子どもの体調・前日の給食の反省・翌日のアレルギー確認などの情報を共有している。屋の職員会議では、月末に2日間、翌月のカリキュラムについての打ち合わせをしている。夜の職員会議では、保育の振り返りや研修報告、園内研修などを実施している。	
	カテゴリ2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリ1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
------------------	-------------------	-----

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

保護者の要望や、職員からの提案を運営改善に活かしている
連絡帳、行事实施後の感想文、保護者からのメモや手紙などで、保護者の要望を把握し、職員間で話し合い、できることはすぐに対応している。前年度、保護者の声を受け、「おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会」をなくし、お年寄りに別の形で気持ちを伝えることにした。「目標申告シート」の提出や、年2回の職員との個別面談を通して、ヒアリングを行い、組織に対する意向を定期的に把握している。職員の提案を受けて園日誌の中に土曜日の戸締り及びトイレの中の点検をする欄をつくるなど、職員の意見や提案を運営改善に活かしている。

園長会、幼保小連携担当者連絡協議会などに参加し、保育に関する情報を収集している
園長会、幼保小連携担当者連絡協議会、地域子育てネットワーク連絡会、地域懇談会などに参加し、園運営や地域の子育てニーズなどに関する情報を収集している。区人事課主催研修「区政の現状と課題」に参加し、区の今の現状や課題・問題などについて情報収集している。「広報すぎなみ」や区発行の冊子(杉並区保健福祉計画、杉並区子ども・子育て支援事業計画、杉並区保健福祉事業概要など)、新聞記事、専門雑誌・書籍等で得た情報を確認しながら、日々の保育に役立てている。

園目標から個人の目標を計画し、園運営の目標を職員全員で達成できるようにしている
区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々が何をやるべきか明確にし、さらにクラス保育に活かしている。計画に対しては、中間反省、年度末反省を行い、改善に活かしている。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
◎あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
◎あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-3の講評			
各研修を通して学んだことを、全職員で共有し、皆の学びとしている 毎年、CS・接客マナーについて職員一人ひとりが自分を振り返り、接客マナーについて自己評価し、サービス向上に反映している。区人事課・保育課主催の各研修を通して学んだことを、他職員へ報告し、全職員で共有し、皆の学びとしている。正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。また、区人事課主催研修「新任研修」では職場でのコミュニケーションや話し方のポイント、また、傾聴の実践を行い、相手に興味を持って耳を傾けることなどについて学んでいる。			
入園説明会で苦情・意見の相談先を説明している			

玄関に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。「重要事項」に苦情・要望等の相談窓口について明示し、入園説明会の際に保護者に説明している。担任保育士をはじめ保護者からの意見を受けた者は、園長(主査)に報告を上げ、改善策を検討し、保護者に速やかに対応している。保護者が困ったことがあった時には直接クラス担任に、または、園長・主査が相談に応じ、誠意をもって対応するような姿勢を持ち、日々信頼関係の構築に努めている。

地域の在宅親子を対象に園庭開放・ふれあい保育などを実施し、地域に貢献している

地域の在宅親子を対象に、園庭開放・ふれあい保育などを実施し、公立保育園が長年培ってきた子育てにおける知恵や技術、ノウハウを提供し、地域に貢献している。また、専門性を生かし、地域の青少年の育成に役立てるよう、ボランティアや中学生の職場体験を受け入れている。「保育相談受け付けています」の看板を地域向けに提示し、気軽に相談に来ていただけるようにアピールをしている。近くの小学校で行われているフェスタに参加し、コーナーを任されている。地域と共に行事を行い、より一層絆を深めている。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ-4の講評

毎月1回の避難訓練や、年3回の防犯訓練を通して、安全確保に取り組んでいる

避難訓練計画を作成し、毎月1回、避難訓練を実施している。散歩中、プール遊び中、午睡時などを想定して実施している。4月は防災頭巾や、散歩リュック、ヘルメット、懐中電灯などを確認している。子どもに防災頭巾の被り方について教えたり、職員はおぶい紐の確認・練習をしている。年3回、予告なしの訓練を行い、实际的に役立つ訓練としている。訓練実施後は反省会を持ち、次回に活かしている。児童館との合同避難訓練も実施している。防犯訓練を年3回実施し、さす又の使い方などを学んでいる。

園舎内園庭の危険箇所は気づいたら即報告し改善するよう取り組んでいる

感染症が発生したときは、その情報を掲示し、タイムリーに保護者に伝え、必要に応じて保育課・保健所にも連絡することになっている。毎年、感染症予防に関する研修に職員を派遣し、職員間で情報共有している。嘔吐物処理一式を各クラスに置き、迅速に対応できるようにしている。その中に、嘔吐物処理の手順書も用意し、新規のパート職員にも教育指導している。小さな危険(ヒヤリハット)について、日々のミーティングの中で報告し、情報共有している。園舎内園庭の危険箇所は気づいたら即報告し改善するよう取り組んでいる。

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。また、区で定めた文書保管期間に基づき、文書の保管・廃棄を行っている。区役所から伝達されている文書分類表に基づき、鍵のかかるファイリングキャビネット、または鍵のかかる保管庫において厳重に管理している。SDカード・デジカメは持ち出し簿を作成している。実習生やボランティア、パート職員にも個人情報保護遵守について伝えている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

園長は、パート職員も含めて職員個々と面談し、仕事上の希望や意向を把握している
 年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担任決めでは「希望調査」に備考欄を設け、希望のクラスへの思いなどを記載してもらい、主査にも相談し、クラス担任案を園長が作成し、職員会議で検討、決定している。

互いに意見を出し合い、学び合う職員集団づくりに取り組んでいる

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている。区主催研修は、人事課において、在職年数に応じた研修を随時行っている。また、キャリアアップに必要な実務研修を保育課で実施している。保育課では、研修担当が必要なテーマを設定して実施している。今年度、グループディスカッションの方式で「運動あそび」をテーマに園内研修を実施している。若手職員が他クラスの保育を見たり、異年齢の活動を通して他クラスと活動したことで、互いに意見を出し合い、保育の質向上に取り組んでいる。

ボードを使って、職員個々の思いや気づきを掲示し、保育の振り返りを行っている

「あおむしボード」(事務所内のボード)を使い、職員個々の思いや気づきを掲示し、保育の振り返りを行っている。また、毎日の屋の打ち合わせの中で、気づいたことを伝え合い、改善につながるように即対策を講じている。パート職員とも子どもの成長を確認し、喜びあえる職員集団になるよう、職員間の良好な関係作りに取り組んでいる。職員アンケートでは、「チームワークが良い」「相談しやすい雰囲気がある」「日ごろの気づきや悩みを話し合える環境である」などのコメントが寄せられており、風通しの良い職場環境であることがうかがわれる。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「子どもがイメージを広げ、遊び込める環境をつくる」を重要課題とした。
- ・上記の目標達成に向け、より遊び込めるよう園庭のマルチパーズ置き場を移動改修した。さらに幼児クラスの遊びが乳児に引き継がれていくために、職員会議などで子ども達の遊びについて話し合った。安全かつ創意工夫しながら子ども達が遊べる遊具にしていけるように新たな購入もした。眠っていた遊具も取り出し、使いやすいようにした。園日誌に日々の戸締まり等点検の欄を作り危険箇所は気づいたら即報告し改善できるようにした。
- ・上記の取り組みの結果、子ども達が年齢発達に応じた遊びを幅広く経験できるようになり、子どもが自主的に遊びが見つけれ、さらに、友達と共有できる遊びも広がってきている。
- ・前年度の実績を受け、引き続き、子どもの遊び込める園庭整備を行っていくために、「子どもがイメージを広げ、遊び込める環境をつくる」を今年度の重点課題に掲げている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・遊び込める環境をつくるためのプロジェクトを中心に、子どもが主体的に選択し、遊びのイメージが広がる道具・遊具の準備設定、管理を行なっている。前年度、室内環境、園庭環境の見直しを行った。倉庫の片付けから始め、園庭環境を整えた。保育のための環境整備を職員全員で行い、物の置き場がわかったり、必要なものを手前に置くなど、子どもが自ら遊べるよう用具を出し易くした。その結果、子どもの遊びに変化が表れている。今年度も、子どもが遊びのイメージを広げ、主体的に遊ぶ環境をつくり、遊具の充実に取り組んでいる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「保育が向上していけるような、学びのある職員集団をつくる」を重要課題とした。
 ・上記の目標達成に向け、次の取り組みを行なった。夜の職員会議では遊びや積み木を職員自身で遊び伝え合う時間を作った。自ら楽しむことで保育の実践につながった。若手職員が他クラスの保育を見たり、異年齢の活動を通して他クラスと活動したりした。パート職員・栄養士・用務・調理員など他職種の職員も含めて子どもの成長を確認し、喜びあえる職員集団づくりに努めた。そのため、日々のコミュニケーションから良好な関係構築に取り組んだ。
 ・今年度も、引き続き、「保育が向上していけるような、学びのある職員集団をつくる」を重点目標に掲げた。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・若手、中堅、ベテランが保育の話をして、互いに思いを伝え合えるような会議の充実を図り、さらに当園の良いところが引き継がれていくことに取り組んでいる。パート職員とも日々の感謝の気持ちを忘れずに共に子どもの健やかな成長を願って保育ができるよう思いを伝えていくことに取り組んでいる。職員アンケートでは、「職員間で、互いに褒め合ったりしたことで、意欲の向上や保育を見直すきっかけができた」「子どもの様子について、普段から些細なことでも話せる職員関係がある」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ-1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している ○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している ○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している ○非該当
	サブカテゴリ-1の講評	
	<p>区のホームページや広報紙、冊子「保育施設ガイドブック」などで情報提供している</p> <p>区のホームページや広報紙、保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」等で情報提供している。ホームページの施設案内には、保育園の正門付近の写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園のフェンスに「ふれあい保育」の案内を掲示している。散歩先で出会った親子に「成田保育園です。遊びに来てください」と誘っている。地域の小学校の「東田フェスタ」に参加し、園児の活動や散歩コースを展示して地域の人に見てもらっている。</p> <p>区立直営園であり、所管課や地域の関係機関と連携し情報交換している</p> <p>区立直営園であり、所管課には月報を始め、さまざまな報告をして連携している。併設の児童館には総合避難訓練を一緒にし、遊戯室を使用してもらい、児童館の煙訓練には5歳児が参加している。児童館事業に月1回協力して乳幼児親子向けに話をしている。小学校区の地域子育てネットワークの関係機関(小学校、青少年委員、保育園、幼稚園、保健センター、図書館、児童館など)と情報交換をしている。地域の小学校と5歳児が交流し、校庭を借用して運動会をしている。焼き芋会に近隣の保育施設を誘い、その時に保育の紹介をしている。</p> <p>見学希望に合わせて日程調整し、園内を案内して保育目標や保育の特色などを伝えている</p> <p>見学希望は電話で問い合わせしてもらい、見学者の希望に合わせて日程調整し、一人でも数人でも受けている。自分の子どもの年齢のクラスの活動を見たいとの希望がある場合には、受けている。担当は園長または主査がして、見学者用のリーフレットを配布し、施設を案内している。園の保育目標や大事にしていること、保育の特色として、川や大きな緑地公園がすぐ近くにあり、自然に恵まれており、散歩にかけてさまざまな経験をしていることなどを説明している。見学者から寄せられる、慣れ保育や施設の安全面などの質問にも応じている。</p>	
	サブカテゴリ-2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している ○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している ○非該当

評価項目2		サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している			○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している			○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている			○非該当
サブカテゴリー2の講評				
<p>入園説明会を実施して重要事項や保育園の基本的なルールなどを説明している</p> <p>入園内定者には健康診断と面接を実施している。事前に配布して記入してもらった「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などの書類を基に、子育て状況や家庭の事情、要望などを聴き取り、保育時間を決め、持ち物の説明をしている。4月入園の場合には、3月下旬の土曜日に説明会を実施して、「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「保育園のしおり」を基に、園の概要や保育園生活、園目標、健康生活、保育園からのお願いなどを説明し、説明を受けたことの同意を得て、写真・ビデオの撮影についての同意書ももらっている。</p> <p>入園当初の保育では、1歳児の場合、初日は昼食まで保護者と一緒に過している</p> <p>入園当初の保育については、面接時に保護者の就労状況などを聴いて、個別に対応している。おおよそ1週間程度を目安にしているが、保護者の意向によりゆっくり進めたい場合にはゆっくり、転園児は早めに保育時間通りの保育にしている。1歳児の場合は、初日は一緒に食事まで過ごして食事の様子を見てもらい、保護者同士の顔合わせもしている。担当を決めて、子どもや保護者との関係作りをして、早く安心してもらえるようにしている。迎えの際には連絡帳と口頭で詳しく子どもの様子を伝えている。</p> <p>転園・退園、卒園の際には、子どもや保護者の不安軽減に配慮している</p> <p>区内の区立保育園に転園する場合には、児童票(写)と健康カードを引継ぎ、園長が申し送りしている。年度途中の転園や退園の場合には、クラスでお別れ会をして、思い出帳を作って渡すなどしている。最後の日には他のクラスを周って挨拶をしている。保護者には、「悩んだり、困ったりした時にはいつでも来てください」「夏祭りや運動会には遊びに来てください」と伝えている。卒園児の就学先の小学校には、「保育所児童保育要録」を送付している。</p>				
サブカテゴリー3				
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		12/12
評価項目1		評点(〇〇〇)		
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している				
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している			○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して、保育日誌や児童票などに記録している

入園時には園医による健康診断や身体測定を実施して発育や健康状態を把握し、保育士が面接して心身の発達や入園までの生活状況などを把握している。食物アレルギーについては栄養士が面接している。入園後は、毎月の身体測定や年2回の健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果を健康管理票や健康カードに記入している。1・2歳児は連絡帳に食事や排泄、睡眠、体調などの情報を記入してもらい、幼児クラスは体調の変化などの情報を口頭で収集して保育し、保育日誌や児童票に記録している。

指導計画は担任同士で子どもの状況から、翌月のねらいと活動内容を設定し作成している

年間指導計画は担任同士で、子どもの特徴、傾向を考えながら、大切にしたいことを骨子として作成している。月間指導計画(月案)は担任同士で、一人担任の場合はフリー保育士や主査と一緒に、子どもの状況から課題を探り、ねらいと具体的な活動内容を設定している。毎月、全園児の個別のねらいと配慮などを作成している。特別な配慮が必要な子どもの場合にも、個別の指導計画を作成している。年間指導計画は保護者会に配布して説明し、幼児クラスは週案を掲示している。

カリキュラム会議や昼のミーティングなどで、子どもに関する情報を共有している

作成した指導計画(月案)を職員全員に配布し、目を通してから毎月2日間のカリキュラム会議を開いている。会議では一番時間をかけて作ったところを発表している。保育向上リーダーが1年通して司会を担当してリードし、意見もよく出るようになり、クラスや子どもの状況を全員で共有している。毎日、昼のミーティングを実施して、午前中の保育や子どもの状況、職員体制、ヒヤリハット、連絡事項などを報告し、園日誌に記録している。その他にも、職員会議を月1回、昼の定例打ち合わせ週1回、幼児打ち合わせやプロジェクト会議なども実施している。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報保護に取り組み、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、保育中の写真やビデオの撮影についても同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換やおもらしの着替えは他からは見えない場所で行い、プールや水遊び、シャワー時は外から見えないように目隠しを設置している。看護師がプライベートゾーンの話をし、脱いだ物から着るなどの着替え方を知らせている。</p> <p>一人ひとりの子どもの気持ちを大事にして保育している</p> <p>一人ひとりの子どもの思いを大切に受容している。例えば、こだわりが強く、配慮の必要な子どもの場合には、「～したかったのに」と自分がしたいと思っていたことができなくて大泣きすることがある。子ども一人ひとりに応じた対応が必要と考えているので、「そうか、～したかったんだね」とその子どもの気持ちを理解してやり、子どもが納得するように対応している。カリキュラム会議の中で事例を検討する際には、人権擁護の観点からどうなのかをいつも話しをしている。</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応し、虐待の早期発見に努めている</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応している。日頃から、保育士は子どもの言動や身体状況の変化に気を配り、傷やあざなどがある場合には、原因を子どもに聴いたり保護者に確認したりして、虐待の早期発見に努めている。気になる場合には速やかに園長に報告し、記録を取り職員間で情報共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターなどに報告して、連携して対応している。地域懇談会の中で、園長が子ども家庭支援センターの職員から話を聴いて、職員に報告している。</p>			
サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>区立保育園共通のマニュアルや園独自の「成田保育園マニュアル」を作成している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区保育実践方針」「危機管理マニュアル」などを整備している。園独自のマニュアルとして、「成田保育園マニュアル」を作成し、児童憲章、園目標・保育理念・保育方針、園庭遊びについて、朝・夕・延長保育仕事分担、パート・アルバイト仕事分担、事故対応の手引き、散歩時のチェックポイントなどを綴っている。区共通のマニュアル類は事務室の棚に置いてあり、園独自のマニュアルはクラスに置き、異動者には個別に渡し、確認したい時にはいつでも見ることができるようにしている。</p> <p>園独自のマニュアルの点検・見直しは年度末にし、必要に応じて随時の見直しもしている</p> <p>園独自のマニュアルの点検・見直しなどの検討は、定期的に年度末に園長・主査がしている。その他に、朝・夕・延長保育の仕事分担やパート・アルバイトの仕事分担などの保育のサービスに当たる部分については、子どもの人数や子どもの成長、パート職員の入れ替わりなどにより、変更する必要が生じた場合には、現状に合わせて随時見直しをしている。</p> <p>保護者の意見や職員の気づきなどから業務手順の見直しをしている</p> <p>保護者からの意見や職員の提案、気づきなどから、業務手順の見直しをしている。例えば、行事終了後に実施している保護者アンケートで寄せられた意見を受けて、自由参加の1・2歳児の席をこれまで確保していなかったが、次年度には場所を確保することになっている。戸締りチェック表を見直し、戸締りを忘れがちな場所の項目を入れ直した。土曜の仕事の分担では、洗濯をしてもらう人を2人から1人にして仕事内容を見直した。土曜日に1・2歳の布団をホールに入れてもらうように仕事内容を変更した。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に遊べて、やりたいと思っていることが実現できる環境設定にしている</p> <p>子どもたちが生活しやすく、主体的に遊べる環境作りを心掛けている。1・2歳児室は生活と遊びの場所を低い玩具棚等で仕切り、遊びの場所はままごとや絵本、構成遊び、手先遊びなどのコーナーに分けて、子どもが自分で好きな遊びを選んで遊べるようにしている。2歳児室は、押し入れの下段を小さな部屋にして、テーブルを置き子どもたちの人気の場所になっている。幼児クラスでは年齢に合った木製積み木や絵本、図鑑、制作用の用具や材料などを用意し、子どもが興味を持ち、やりたいと思っていることが、実現できるような環境設定にしている。</p> <p>異年齢交流の取り組みで「リズムの会」と「歌の会」をしている</p> <p>世話遊びに使っている抱き人形には、肌の黒い人形や目の青い人形も使っている。子どもたちは違和感なく使って遊んでいる。異年齢交流は朝夕保育や園庭遊びなどで、自然な交流が見られているが、幼児クラスでは「リズムの会」と「歌の会」を3・4・5歳児合同でしている。リズムは乳児クラスもクラス単独で取り組んでいるが、幼児クラスと一緒にすることで、3歳児には、同じリズムを少し難しい動きでかっこよくしている年上の子どもの動きが憧れになっている。年上の子どもも、小さい子の見本になるよう頑張っており、互いに良い刺激になっている。</p> <p>5歳児が学校訪問をして、5年生と遊んだり給食体験をしている</p> <p>5歳児の就学先の学校は数校になるが、地域の小学校3校と連携して交流している。学校訪問をして、学校内を案内してもらい、トイレの使い方を教えてもらったり、ランドセルと背負わせてもらっている。5年生と交流して一緒に遊び、向い合わせて給食体験をしている。展示会も見せてもらっている。就学に際し、保育所児童保育要録を小学校に担任と園長とで手渡しし、引き継ぎをしている。幼保小連携研修に5歳児担任が年2回参加している。小学校の先生が、夏休みに保育園見学に来園している。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(○○○○)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には健康観察をして、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている

登園時には、担任や朝当番保育士が挨拶をして、子どもの顔色や機嫌、表情などの健康観察をしている。子どもの顔などの傷も確認している。保護者には家庭での子どもの様子を聴いている。前日に休んでいたり、体調が崩れ気味だったり、園で怪我をした時などにはクラス視診表に記録しておき、朝の受け入れ時に家庭での状況を詳しく聴いている。保護者からの伝言や、健康観察で気付いたことはクラス視診表に記入して、当番保育士は担任に引き継いでいる。園全体で共有する必要がある内容は、園長・主査に報告し、昼のミーティングで共有している。

食事や排泄等の基本的習慣は子どもの状況に合わせて個別に進めている

乳児クラスでは連絡帳で子どもの食事の状況を伝えている。個別対応で、きざみを入れたことや果物を控えたこと、カレーの時に白いご飯のみにしたなども、食事量と共に保護者に伝えている。箸の導入は4歳児の保護者会で資料を渡し、正月明けくらいから、スプーン・フォークが正しく持てる人から始めることを伝えている。子どもたちには栄養士が正しい箸の使い方を説明し、遊びに箸を取り入れて練習している。排泄のおむつ外しは、おしっこの間隔が空き、便座に座らせてみて出るようになった時がタイミングと伝え、個々の状況に合わせて進めている。

降園時には迎えの保護者に子どもの様子を一人ひとり伝えている

降園時には、迎えの保護者に、日中の子どもの様子を一人ひとり伝えている。できるだけ、乳児、幼児で夕保育当番をするようにしているが、出来ない場合には、担任が当番に引き継ぎをしている。クラス視診表に、担任が記入し、口頭でも引き継いで、当番保育士は引き継いだ連絡事項に加えて、自分が見ている範囲の中で、子どもの様子を伝えるようにしている。担任が直接伝える必要がある場合には、保護者の迎えを待って、伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもがじっくり遊べるように、時間や場所の確保を工夫している

子どもがじっくり遊べるように、明日の活動内容を昼ミーティングの中で話し、園庭やホールの使用の調整をしている。子どもたちの遊びが盛り上がり、もっと遊びたいような時には、融通がつく場合は加減し、出来ない場合は、子どもと相談している。散歩の時には、9時30分頃には出掛けてたづね遊び、給食の配膳時間を延ばしてもらうこともある。木製積み木や汽車とレールなどの遊びは、床に広げて高く積んで遊んでいるので、継続して遊べるように場所を確保している。5歳児ではおやつ時間に明日の予定を伝えて、見通しが持てるようにしている。

制作遊びも、「こんなものが作りたい」という子どもの思いが実現できるようにしている

子ども達の「やりたい」思いを実現するように支援している。4歳児は空き箱製作が好きな子どもが多いので、空き箱や紙テープなどの具材を用意し、はさみやセロテープは、子どもに要求されると、テーブルに出して自由に使えるようにしている。3歳児の頃からショベルカーを作って、「ここはこんなにしたいたい」、「動くようにしたい」などと取り組んでいる。4歳児の作品を見て5歳児もするようになり、3歳児にも制作遊びが広がってきている。訪問調査時も、3歳児室には折り紙が、4歳児室には芋版画や芋づるのリースなど、制作物が多く飾ってあった。

園周辺の豊かな自然を満喫して、園庭遊びや散歩をしている

園の周辺は川沿いに大きな緑地公園があり、自然に恵まれた環境である。散歩には週に2～3回出かけている。川では白鷺や鴨に出会い、蟬の抜け殻、おたまじゃくし、蛙などを目している。2歳児はチャック付ポリ袋をポシェットにして散歩に行き、どんぐりなどを土産として家に持ち帰っている。園庭には、桜の木が3本あり、春には桜の花びら拾いなどをして遊んでいる。夏には、どろんこ遊びや泥団子作りをして、五感を使って遊んでいる。保育室にはメダカや金魚、どじょう、散歩先で見つけたカナヘビやコオロギなどを飼育している。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>夏祭りではオープニングに神輿を担ぎ、息を合わせて鳴子踊りを披露している</p> <p>夏祭りは7月の土曜日の午前中に実施している。オープニングは5歳児が手作り神輿を担ぎ、鳴子踊りを披露している。親子でヨーヨー釣りやワニ叩き、コリントゲーム等で遊んでもらい、最後にみんなで盆踊りを踊っている。5歳児の神輿作りではいろいろな神輿の写真を見て、自分たちの神輿はどんな神輿にしたいかを話し合い、イメージを模造紙に描いて、段ボール箱に赤と黒の絵の具を塗り、金色の紙を貼り、屋根の上には星の飾りを付けてみんなで作り上げている。鳴子踊りは掛け声や決めポーズなど、みんなで息を合わせて踊ることができた。</p> <p>運動会には、鉄棒や縄跳びなどをみんなで励まし合いながら取り組んでいる</p> <p>運動会では、5歳児は何を見てもらうかを話し合い、鉄棒と縄跳びに決まった。鉄棒や縄跳びの得意な子に刺激されて、みんなで取り組むことになって、各自が得意なものを見てもらうことにした。鉄棒は、逆上がり、こうもり、空中逆上がりなどに取り組んだ。縄跳びでは、前跳び、後ろ跳び、あや跳び、けんけん跳び、大縄跳び、走り縄跳びなどを子ども同士で、励まし合いながら取り組んだ。大縄跳びの5人跳びでは、誰が両脇になるかグループで話し合っ、上手くいくようにしたところ、当日は引っかかることなく跳べたことで、達成感を味わっていた。</p> <p>行事予定表を4月初めに配布し、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えている</p> <p>年間行事予定表は4月初めに配布している。クラス保護者会でも、年間の行事予定を伝えている。夏祭りや運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子は、幼児クラスの貼り出し日誌やクラスだよりなどに写真も掲載して、わかりやすく保護者に伝えて、楽しみにしてもらえようとしている。1歳児クラスでは、スケッチブックを使用して、子どもの活動の様子を写真掲示して、見てもらっている。行事前には、お知らせや案内などを発行して、プログラムや見どころを伝えている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕保育は子どもが落ち着いて過ごせるように、可能な限り各保育室で過ごしている</p> <p>朝保育は、幼児クラスは8時30分まで3歳児室で過ごしている。乳児クラスは8時まで2才児室にいて、その後各保育室に移動している。夕保育は18時30分まで、4・5歳児は4歳児室、3歳児は3歳児室で遊んでいる。1・2歳児はそれぞれの保育室で過ごしている。18時30分からの延長保育利用児は2歳児室で過ごしている。</p> <p>長時間保育になるので、気分転換をしてからゆったり遊んでいる</p> <p>夕保育に入る前に、気分転換に身体を動かして遊んだり、保育室を出てホールで遊んだりしている。ホールは、15時30分～16時15分は1歳の高月齢児が、16時15分からは2歳がリズムをしている。3・4・5歳はおやつ後には園庭で遊び、その後保育室に入っている。1・2歳は昼寝後にテラスでも遊んでいる。保育室には、ごろりと横になったりしてゆったりできるように、遊び用の布団を出している。</p> <p>延長保育用に玩具を用意し、大人と一緒にゆったりと遊んでいる</p> <p>延長保育の2歳児室では、延長用の遊具を用意している。幼児の中では小さい子の面倒をみたい子がいて、異年齢交流が自然に出来ている。11月現在で、延長保育児はスポット保育児も含めても12名程であり、延長当番保育士1名とパート職員2名でみているので、大人と一緒にごっこ遊びをしたり、絵本を読んだり、好きな遊びをしてゆったりと過ごしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

いつも決まった席に座り、落ち着いて楽しく食事をしている

1・2歳児室では、低い玩具棚や衝立等で食事の場所を確保し、子どもが落ち着いて食べられるようにしている。子どもの体格に合わせたテーブルと椅子を使用して、いつも決まった席で友達と一緒に、保育士の介助を受けながら食べている。4・5歳児は給食当番をして、自分のグループのテーブルを拭いている。いつも決まった席で同じ顔ぶれで食べている。7月の七夕会では、同じ部屋に3歳も入り、4・5歳と一緒に会食をしている。12月のおたのしみ会、3月のおわかれ会食では、3・4・5歳が混じってホールで会食をしている。

食物アレルギーを含め、子どもの体調などに配慮して食事を提供している

子どもの体調に配慮して、お腹の不調の時にはおかゆ対応をすることもある。前歯を殴打して噛み切ることが難しい状況の時には刻みで対応している。食材に対する考え方などにより、特定の食材を使用しないことを希望される場合には、「アレルギー除去食申請書」を出してもらい、対応している。食物アレルギー児には、アレルギー会議で除去食を確認している。現在は卵と牛乳の対応をしている。食物アレルギー児にはトレーで配膳し、名前と除去食品を書いたプレートに乗せて、調理室に正規保育士が受け取りに行き、誤食防止に細心の注意を払っている。

野菜の栽培や給食食材に触れる経験、調理保育などに取り組んでいる

園庭の畑やプランターで野菜を栽培している。5歳児はジャガイモ、トウモロコシ、キュウリなど、4歳児はつるなしインゲン、トマト、3歳児はなす、オクラ、2歳児はなす、キュウリを育て、子どもたちが水やりをして生育を観察し、収穫して採れたてを調理してもらって食べている。4・5歳児は、そら豆、グリーンピース、枝豆などのさやむきやトウモロコシの皮むきなどもしている。調理保育では、4歳児はさつま芋をつぶしてスイートポテト、5歳児はさつま芋の茶巾しぼりをし、その他に4・5歳児は、おにぎり作りもしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

健康的な生活習慣を身に付け、病気や危険から身を守るように健康教育をしている

子どもが自分の体に関心を持ち、健康的な生活習慣を身に付けられるように、看護師による、4・5歳児対象の手洗いやプライベートゾーンについて、子どもが理解しやすいように紙芝居等を利用して健康教育をしている。担任も手洗いうがいの大切さを伝えている。保育の中で、子どもが危険を予測できるように「～したらどうなるかな」などと話をしている。身体の中の仕組みなども説明し、大事にしなければならないことを伝えている。警察署に依頼して交通安全教室を開催し、交通ルールを指導してもらっている。園庭遊びのルールも知らせている。

嘱託の園医や療育機関や医療機関などと連携して対応している

看護師の配置はないが、定期健康診断や歯科・眼科・耳鼻科健診、健康教育などの際には応援園の看護師が来園している。区の児童発達支援事業所とも連携をとり、事業所の専門職員が年2回訪問して指導をしてくれている。民間の療育機関との連携もしている。嘱託の園医は年2回の定期健康診断と入園健康診断時に来園するので、園児の健康に関する相談をして、アドバイスもらっている。

保健だよりや保健掲示コーナーで、子どもの健康に関する情報を提供している

毎月保健だよりを発行している。内容は、体調不良時の迎えについて、爪チェック、夏に多い感染症の紹介、爪の切り方、ぎょう虫検査について、インフルエンザについてなど、子どもの健康に関する情報を掲載している。玄関の保健掲示コーナーでは、感染症情報や子どもの健康に関するポスターなどを掲示している。感染症が園で発生した場合には、病名、主な症状、潜伏期間などを表示して、注意を喚起している。乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、園での昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の育児や就労のさまざまな事情は話を聴き、可能な限り受けている

保護者の家庭や就労上のさまざまな事情は話を聴いて、可能な限り受けている。保育時間は決めているが、急に残業になり、迎えが遅くなるなどは電話で受け、延長スポット利用も受けている。土曜日に仕事が入り、保育が必要になった、迎えの人が変更になるなどは、事前に相談してもらったり電話で受けたりしている。産休中で体調がつかない時や家族の受診の付き添いなども、事情に応じて受けている。

年2回の保護者会では懇談の時間を設けて保護者同士の交流の機会にしている

年2回の保護者会は13時30分～15時で実施している。前期の保護者会では園から子どもの年齢発達の姿やクラス目標を伝えている。保護者同士の懇談の時間を設定して、子育ての悩み等のテーマで、小グループで話し合いをしている。15時～15時45分頃は、多目的室で子どものおやつが終わるのを待ってもらい、自由に話をしてもらっている。その後、幼児クラスでは親子で触れ合う遊び、ドンじゃんけんなどをして一緒に過ごしている。乳児クラスは後期保護者会で親子ふれあい遊びを予定している。

保育参観・参加に来てもらい、園の保育や子どもたちの様子を見てもらっている

保育参観は1・2歳児クラスで実施し、1歳児は変装して観たり、隠れて隙間から観てもらったりしている。2歳児は散歩の参観にして、帽子、眼鏡、マスクなどで、10mくらい離れて観てもらっている。幼児クラスは保育参加にして、午前中から食事の様子まで一緒に過して観てもらっている。ほとんどの家庭に参加してもらい、子どもが楽しみにしている。期間は8月頃～12月中旬で、都合の良い日に入ってもらい、一旦帰って、午睡の時間に個人面談をしているが、別日でも受けている。個人面談の記録は児童票に記録している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>近隣の農家の畑で芋掘りをさせてもらい、区立子供園のプールを使わせてもらっている</p> <p>近隣の農家の畑で芋掘り体験をし、農家の方に芋掘りについて話しをしてもらっている。5歳児が夏に1回、区立子供園の広いプールを使用して遊び、中野にあるプラネタリウム見学に行っている。併設の児童館のホールを使わせてもらっている。第1避難場所に指定している近隣の小学校まで避難訓練をしている。5歳児は他の区立保育園2園の5歳児と3園交流をして一緒に遊んでいる。</p> <p>焼き芋会には地域の保育施設も参加し、夏まつりには地域の方も参加している</p> <p>11月の焼き芋会に家庭福祉員が子ども5人、小規模保育所からも子ども5人を連れて参加している。園の夏まつりには地域の方にも参加を呼びかけ、11名の参加があった。父母・祖父母149名、卒園児・園児105名の参加があり、盆踊りの練習などで音が出るので、近隣に挨拶に行っている。将棋のボランティア1人、月1回、5歳児を対象に45分間程、本将棋を教えてもらっている。読み聞かせボランティアとして2人の方が交代で毎月来園し、4・5歳児を対象に、食事の前に11時30分頃から15～20分程、絵本を2冊ほど読んでくれている。</p> <p>地域子育て支援事業として園庭開放を実施し、併設の児童館事業への協力をしている</p> <p>地域への子育て支援事業として、園庭開放(ホットスマイルなりた)を、4・8月を除く毎週水曜日、10時30分～11時30分で実施している。併設の児童館の乳幼児親子の子育て広場で、栄養士が離乳食の話をしたり、保育士が話をしたりしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	恵まれた自然環境を保育に取り入れ、子どもたちがさまざまな経験をしている	
内容①	園の周辺には川があり、川沿いには大きな緑地公園があり、自然に恵まれた環境である。散歩に出かけて、見かけたり探したりして、さまざまな昆虫などの生物を観察し、捕まえてきて飼育したりしている。カマキリが産卵するのを見たり、針金虫などの珍しい虫を捕まえたり、アゲハ蝶の羽化も目にしてしている。子どもの発見を活かして、カナヘビ、コオロギを飼育し、生餌を探しに行っている。可愛がり過ぎて生き物を死なせてしまうなど、命に触れる経験をしている。当園にはメダカ、金魚、どじょう、カブトムシなども飼育している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	貼り出し日誌やクラス便りなどを読みやすいように掲示し、保育を伝える工夫をしている	
内容②	子どもの様子は1・2歳児は連絡帳で、幼児クラスは貼り出し日誌で伝えている。クラスだよりも発行して、子どもたちの活動の様子を具体的に伝え、よりわかりやすいように写真を掲載したりしている。1歳児クラスではスケッチブックを利用して、写真を掲示し見てもらったりしている。そして、他のクラスのクラスだよりや貼り出し日誌、職員紹介、給食実物展示など、保護者に見てもらいたい掲示物のほとんどを玄関近くに掲示して保護者が見やすいようにしている。園便りの5月号には園内案内図及び掲示物の案内図をイラスト入りで掲載している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	保育の向上に向け、学びのある職員集団づくりに取り組んでいる	
内容③	今年度、7月の、園内研修「運動あそび」では、保育の振り返りとグループ討議を行なっている。ある場面を取り上げ、具体的な子どもの姿・エピソードを含め、意見交換している。また、11月のグループ討議では、ヒヤリハットをテーマに、子どもたちの闘いごっこについて話し合っている。若手、中堅、ベテランそれぞれの職員が、保育の話を沢山して、お互いに思いを伝え合い、学びのある職員集団づくりに取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもがイメージを広げて主体的に遊べる園庭環境作りに取り組んでいる
	内容	子どもがイメージを広げて、遊び込める園庭環境作りに取り組み、砂場や鉄棒などの固定遊具の他に、子どもが自由に使って遊べるように可動遊具、マルチパーツ、タイヤ、風呂椅子、洗面器、ゴザ、風呂マット、ベンチ、箱積み木などを用意している。一人で家や車をイメージして組み立てて遊んでいると、友達が入ってきて一緒に遊ぶなど、遊びに広がりが見られている。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、98%の肯定回答を得て、非常に高い満足を得ている。
2	タイトル	週2回「リズムの会」「歌の会」に取り組み、異年齢交流をしている
	内容	3・4・5歳児の3人グループを作り、週2回たてわりの日の取り組みをしている。9時30分～10時10分の30～40分程で、「リズムの会」、「歌の会」をしている。クラスの歌を歌い、季節の歌をみんなで一緒に歌っている。3人グループで手をつないで曲に合わせて歩くなどしている。リズムでは、5歳児が良い手本を見せてくれるので、3歳児も真似て動き、楽しんでいる。幼児クラスで散歩に行く時にもグループの相手と手をつないでいる。グループで仲良しになっているので、5歳児が布団カバーを外すのを手伝ってあげる姿も見られている。
3	タイトル	収穫野菜を目の前で調理してもらうなど、五感で感じる食育活動をしている
	内容	子どもたちが栽培し、収穫した野菜は、調理室で調理してもらって食べている。時には、栄養士が保育室の子ども目の前で、ホットプレートでなすやピーマンを焼いてくれたり、きゅうりを刻み塩もみしてくれたりしている。採れたて野菜の感触や野菜を切る音、炒める音、焼ける匂い、美味しそうな匂いなどを実際に感じて、食べている。5歳児が育てたじゃがいもは、子どもたちの希望で、フライドポテトを作ってもらい、残りはポテトサラダにして食べている。食に関わり、五感で感じる食育活動をしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ねらいを明確にして計画的に取り組めるように異年齢交流計画などの作成が望まれる
	内容	幼児クラス合同で、週2回「リズムの会」と「歌の会」をしている。3・4・5歳児の3人グループを作って遊んだりして、年下の子どもは年上の子どもに憧れ、年上の子どもは優しい気持ちで、年上らしさを発揮する機会になっている。現在は幼児担任同士で話し合っただけで進めている。これからは、ねらいを明確にし、具体的な活動を計画的に取り組めるように異年齢交流計画の作成が望まれる。
2	タイトル	これまで以上に、地域の人と関わり、経験の幅を広げられるように、世代間交流の機会を設けることを期待する
	内容	併設の児童館を利用させてもらったり、地域の小学校や子供園、保育施設と交流している。読み聞かせと将棋のボランティアとの関わりもある。今後は、これまで以上に、高齢者など地域のさまざまな人とかわり、子どもたちの経験を広げられるように、世代間交流の機会を設けることを期待する。
3	タイトル	学びのある職員集団づくりをさらに進めるためにも、業務効率化へのより一層の取り組みを期待する
	内容	幹部層は、保育の話し合いの時間を確保したいと考えている。職員アンケートにも、「担任間でゆっくりと話し合う時間を持ちたい」などのコメントも寄せられた。職員間で保育の話をする時間を多く取るためには、業務効率の促進が必須事項である。保育の話を出して、学びのある職員集団づくりをさらに進めるためにも、互いの時間を尊重し合い、会議や事務作業などの効率化へのより一層の取り組みを期待する。

3. 本天沼保育園

本天沼
保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児88名の保護者77世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	88
利用者家族総数(世帯)	77
共通評価項目による調査対象者数	77
共通評価項目による調査の有効回答者数	59
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.6

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「母」49名(84%)、「父母一緒に」5名(8%)、無記入5名(8%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」41名(69%)、「満足」14名(24%)、「どちらともいえない」1名(2%)、「不満」1名(2%)、無記入2名(3%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の93%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・問1「心身の発達に役立つ活動」に関しては、回答者全員が満足と返答している。回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問11「緊急時の対応」、問13「利用者の気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「アットホームで温かな雰囲気、安心して子どもを預けることができる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	59	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答しており、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「小さな発見を大事にしてくれて、子どもは心豊かに成長している」「発達を全面的に支えてくれている」「食事や衣服の着脱など身辺自立に向けての成長が著しく、言葉なども増えている」などのコメントが記入された。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	57	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「月齢に合わせて対応してくれている」「子どもたちの発達に合わせ、おもちゃも良いものが揃えられている」などのコメントが記入された。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「子どもに合った離乳食の進め方をしてくれる」「毎日バランスの良い食事なので助かっている」「七夕やクリスマスなどのイベントの食事も手が込んでいる」などのコメントが記入されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園庭や公園など安全で安心して楽しめる遊び場があり、いろいろな年齢の子どもと触れ合う機会に恵まれている」「園庭遊びやお散歩、水遊びなどを天気の許すかぎり取り入れてくれている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	48	4	2	5
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、保育時間の変更に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「お迎えが遅延したときも温かい対応してくれる」「急な残業が発生することなどを理解してくれている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	48	9	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「古い施設ではあるが、雨の日は滑らないようにマットやござを敷いてくれる」「小さいころから避難訓練をしっかりとってくれる」などのコメントが記入されていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	11	5	0
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「いいえ」と返答した方からは「個人面談と保護者会が平日昼間にあるため、当日仕事を休む必要があり、仕事の調整に苦労する」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「お迎え時に、小さな出来事でも伝えてくれて、子どもをしっかりとみているので信頼している」「毎日子どもの少しの変化や成長をよくみている」「大きな家族のように温かい雰囲気がある」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	6	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「清掃や様々な工夫により、古い施設をより良く使っている」「園内外を毎日きれいに掃除してくれている」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	50	7	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「担任以外の先生もすれ違うときに、子どもの名前を呼んでくれる」などのコメントが記入されていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	55	2	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「親が行なう以上に気を遣ってくれている」「看護師さんもよくみしてくれている」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	48	3	1	7
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、子ども同士のトラブル対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「年齢に合わせて大人が間に入ったり、手助けだけして本人たちに解決させたりと場に応じた判断をしてくれる先生が多く、こちらが勉強になる」「トラブルがあったときも両者にきちんと説明してくれているので、どちらの立場でも対応がありがたい」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	54	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもを見ていれば、先生に信頼を置いているのがわかる。子どものささいな行動や小さな思いを大事にしてくれて、親の私も勉強になっている」というコメントが記入されていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	6	0	4
「はい」と返答した方々は回答者の83%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	5	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「具体的なエピソードとともに課題や、それに対する対応を教えてくれるのでわかりやすい」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	7	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	23	11	6	19
「はい」と返答した方々は回答者の39%、「どちらともいえない」19%、「いいえ」10%、非該当・無記入32%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	カテゴリー1の講評	
	<p>毎月の職員会議などでの話し合いを通して、共通認識を持って保育できるようにしている</p> <p>年度初めに年間指導計画について話し合い、保育の方向性について確認合っている。また、毎月、各クラスで毎月のカリキュラムについて話し合い、さらに毎月1回、職員会議でも話し合い、全職員が共通認識を持って保育を行うようにしている。さらに、保育向上リーダーを2名配置し、園長・主査との話し合いを密に図りながら、園の課題を洗い出し、職員全員で取り組むべき方向性を打ち出し、職員全員へ周知し、園全体で保育の質向上に取り組んでいる。また、何でも言い合える人的環境をつくり、子どもたちにとっても良い環境になるよう努めている。</p> <p>入園当初の説明会や園だよりなどを通して、保育目標などを保護者に周知している</p> <p>「ほんあまめまほいくえんのしおり」に、保育理念・保育目標などを明記しており、入園説明会などを通して、保護者に周知している。4月の「園だより」にも園長が挨拶文[今年度も子ども達が「保育園大好き」「遊ぶの大好き」「友達大好き」と感じて保育園に通ってもらえるように、そして保護者の方が「子育てって楽しい」と思える様に、子育てと仕事を職員一同、応援していきます...]を載せ、園で大切にしたいことを保護者に周知している。玄関や各クラスに保育目標などを掲示し、保護者への理解の浸透を図っている。</p> <p>園の課題について検討する場を決め、職員個々が主体的に園運営に関わるようにしている</p> <p>「係分担表」を作成し、当該年度における職員個々の役割と責任を明確化し、全職員が主体的に園運営に関わるようにしている。保育向上リーダー2名・主査・園長で、職員会議で話し合うテーマを決め、全職員が参加する職員会議(月1回)で、園の問題課題について検討、決定している。また、月2回、14時～15時に、全職員が参加し、保育のカリキュラムについて話し合い、研修報告なども行っている。また、毎日、子どもの午睡時間にミーティングを行い、各クラスから1名参加し、子どもの状況報告やアレルギーの確認などを行っている。</p>	
	カテゴリー2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリ-2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
------------------	------------------	-----

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-2の講評

運動会などの大きな行事実施後に、保護者の意向を把握し、改善に活かそうとしている
夏祭りや運動会などの大きな行事の実施後に用紙を保護者に配付し、保護者の感想や要望を把握し、次年度に活かしている。また、保護者会や個人面談などを通して、保護者の意見・要望などを情報収集し、職員皆で対策について検討している。「園だより」「クラスだより」などの作成にあたっては、アンケートを実施し、保護者の意見を把握し、改善に活かそうとしている。保護者からは、園だよりを通して「先生の子ども達へのまなざしが伝わってきている」などの声が寄せられている。

地域懇談会や地域子育てネットワークに参加し、地域ニーズを収集している
地域懇談会に園長が参加し、地域の保育園をめぐる環境について情報収集している。また、児童館主催の地域子育てネットワークに参加し、地域の子育てに関わる課題について情報交換している。また、区主催の「区政の現状と課題」をテーマとした研修に職員を派遣している。同研修では、杉並区の人口・財政状況などから区の課題、区政の基本構想の理念と将来像、その実現のためにどのように取り組んでいるのかなどについて学び、さらに区の目標を実現するために自己の役割について認識を高めている。

園目標から個人の目標を計画し、園運営の目標を職員全員で達成できるようにしている
区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定しており、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行なっている。年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

カテゴリ-3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-3の講評			
児童憲章を各クラスに掲示し、子どもの権利について意識づけしている 児童憲章を各クラスに掲示し、子どもの権利について意識づけしている。定例打ち合わせの中で、“個人を尊重した名前で呼びかけていく”など、子どもへの対応や関わりについて確認し合っている。人事課主催の「非常勤職員研修」に非常勤職員を派遣し、個人情報保護遵守などについて伝え、区の職員として働いていることの自覚を持って仕事をしよう教育指導している。保育課主催の「保育施設における保護者対応について」にも職員を派遣し、保護者対応について学んでいる。 玄関にポスターを掲示し、区の苦情対応の仕組みについて周知している			

玄関に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」に関するポスターを掲示し、保護者に周知している。入園説明会で、「重要なお知らせ」を使って、苦情・要望等の相談窓口について周知している。事務所のドアをいつもオープンにし、保護者がいつでも意見を言ってもらえるようにしている。各クラスの個人面談・保育参観などでも、保護者の意見を聴取している。保護者からの苦情・意見などは、体制ノートに記録し、昼のミーティングで情報共有している。

地域の子育てネットワークに参加するなど、地域との協働体制を整えている

地域の子育て中の親子を対象に、月2回の園庭開放やふれあい保育などを実施している。また、今年度、緊急一時保育も実施し、2歳児クラスで受け入れている。児童館と連携し、身体測定・育児相談などを実施している。児童館主催の子育てネットワークに参加し、夏のボランティアの受け入れ、小学校の職場体験を受け入れている。また、幼保小の連携では、年3回、年長児が小学校に見学に行き、給食を食べたり、児童との交流を行っている。その小学校先で幼稚園との交流もしている。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ-4の講評

「避難訓練年間計画」を作成し、子ども・職員それぞれの訓練目的も明示している

毎月1回、避難訓練を実施している。「避難訓練年間計画」には、職員の目標として[災害時に職員一人ひとりが各自の役割を果たし、職員相互の協力体制のもとに子どもを安全に避難誘導する力を身につける]、子どもの目標として[基本的な避難行動を身につける、慌てないで集まる・話をよく聞く・自分の身を守る]などを明記し、計画的に実施している。消防署や児童館と連携した避難訓練も行き、救急法について学ぶ機会も設けている。散歩時での避難訓練など、さまざまな場面を想定し、災害時に備えている。

「危機管理確認事項」について文書化し、安全管理に取り組んでいる

「本天沼保育園危機管理確認事項」について文書化しており、怪我・事故発生時は、保育士の位置・対応・子どもの人数などを記録しておくことや、事故報告は速やかに記入し、提出することなどについて明記している。園内研修では、軽微なリスク(ヒヤリハット)の事例を取り上げ、グループ討議を行い、危機対応への意識向上を図っている。また、環境プロジェクトでは、園庭の固定遊具や各クラスの安全点検もやっている。感染予防として、看護師が実際の嘔吐物処理の手順について教育指導している。

危機管理意識を持ち、紛失・漏えいがないよう慎重に個人情報を取り扱っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている。また、区で定めた文書保管期間に基づき、文書の保管・廃棄を行っている。個人情報の取り扱いでは、危機管理意識を持ち、紛失・漏洩のないよう慎重に行っている。児童票・メモリーカードを持ち出す際は、事務所の専用ノートに記名し、声をかけてから持ち出す、家庭連絡表・出席簿は持ち出さずに事務所にて使用する。個人情報の書類は鍵付きロッカーに保管するなど、厳正に取り扱っている。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

園長は、パート職員も含めて職員個々と面談し、仕事上の希望や意向を把握している

年1回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。当園内で、クラス担当を決める際は、年度末に本人の希望を用紙に記載してもらい、職員の希望を把握し、主査と園長でクラス担当(案)を決め、職員会議で提案し、決定している。希望に添えない人には、事前に伝え、納得してもらうようにしている。

クラス内で保育の話をする時間を確保し、保育スキル向上を図っている

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている。区主催研修は、人事課において、在職年数に応じた研修を随時行っている。また、キャリアアップに必要な実務研修を保育課で実施している。保育課では、研修担当が必要なテーマを設定し、実施している。園内では、園内研修の実施や、職員個々の保育スキル向上を図るため、昼会議のない日を設け、クラス内で保育の話をする時間を確保し、保育の振り返りを行い、保育の質向上を図っている。

職員皆が何でも言い合える風通しの良い職場環境づくりに努めている

異職種、異なる雇用形態の職員間の協調、協働を図ることを園の目標に掲げている。良好な人間関係を構築し、保育に関する悩みやわからないことなどを気軽に相談したり、会議の中でも自分の意見を発言し、やってみたいことにも背中を押し、臆することなく挑戦できるようサポートし、職員個々が持てる力を発揮できるようにしている。そのために、報連相を密にし、職員皆が何でも言い合える風通しの良い職場づくりに取り組んでいる。どのような小さな事でも報告し、大事なことは主査・園長の指示を受けるようにしている。

カテゴリ-7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ-1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「心地よい(安全・安心・きれい)環境と子ども達が自発的、自主的に遊びたくなる環境をつくる」を重要課題とした。
 ・上記の目標に向け、①園庭整備及び園庭遊具の点検と新しい遊具を購入した、②室内のままごと遊具の見直しをし、乳児クラス室内可動遊具を制作した、③職員会議の中で自分達の実践を持ち寄り、10の姿(新指針の中の就学までに望ましい像)と照らし合わせて実践と理論を結び付け学びがあった。
 ・その取り組みの結果、①子ども達の遊びがより主体的になり、豊かに広がった、②遊具を増やしたことによりトラブルの減少につながった、③会議で保育の話を深める事で、お互いの保育への考えを理解しチームワークが深まった、④10の姿の学び合いになった。
 ・上記の結果を受け、今年度、①メンテナンスを定期的に取り入れていく、②遊び方などの検証をしていく、③職員会議で子ども達にどのような経験をさせたいか、どのようにしたら危険なく遊びを見守れるか話し合いをする、④全体の計画の見直しまで至らなかったため、今年度は園目標・理念まで確認することになっている。

目標の設定と取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度、子どもたちが主体的に遊べるように、環境プロジェクトを中心に室内環境では手づくり遊具を増やし、園庭環境では手づくり可動遊具を増やすとともにメンテナンスも行った。その結果、子どもたちの遊びが豊かに発展した。前年度の取り組みに加え、今年度も引き続き、「心地よい(安全・安心・きれい)環境と子ども達が自発的、自主的に遊びたくなる環境をつくる」を重要課題に上げ、子どもが遊びたくなる環境づくりについて職員皆で話し合い、改善している。各クラスの室内環境では、子どもの遊びの様子を見ながら、環境づくりを行ない、検証を行ない、その結果を活かしている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・「本天沼保育園の保育が見え、わかるようにしていく」ことを重要課題に掲げた。
 ・上記の目標に向け、次の取り組みを行なった。①連絡帳・貼り出し日誌・個人面談・保護者会などを通して、保護者とのコミュニケーションを密に図った、②タイムリーに写真で掲示し保育の見える化に取り組んだ、③保育参加への積極的な働きかけを行った。
 ・上記の取り組みの結果、保育参加を通して、我が子を通して同じ年齢や異年齢の子ども達の成長を見てもらい、日々の園での様子を知ってもらえた。また、お便り、貼り出しの写真などを通して子ども達の成長や今、興味・関心を持っていること、取り組みの姿などを保護者と共有できた。
 ・今年度も継続して、「本天沼保育園の保育が見え、わかるようにしていく」を重要課題に掲げ、保護者にこれまで以上に日々の保育・子ども達の姿を知ってもらい、興味・関心をもってもらえるように、掲示を整理することや、保護者の感想や意見をフィードバックできるよう工夫している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・保護者会、保育参加など、日々の保育を知ってもらえる機会の参加を積極的に呼びかけている。実際に園生活を体験することで、当園の保育の思いや意図が伝わりやすいと考えている。利用者調査では、「保育内容の説明はわかりやすいか」に関しては、回答者の88%が満足と返答しており、保育内容の説明に関して高い満足を得ていた。園では、子どもの発達過程は理解が難しいため、今後も、伝える工夫を重ねていくことが必要と考えている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
		<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリー1の講評	
	区のホームページや情報冊子、園の子育て支援事業のチラシなどで情報提供している 区のホームページや発行している広報紙、保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内には、保育園の外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園では、地域子育て支援事業「あそぼう会」のチラシを作成して園医の医院と児童館に置かせてもらっている。「あそぼう会」の案内を園のフェンスに掲示して、地域の人に知らせている。	
	区立直営園であり、地域の関係機関と交流し連携している 区立直営園であり、区の所管課には月報を始め子育て支援事業や延長保育、施設管理関係などのさまざまな報告をし、連携している。併設の児童館には園便りを配布し、一緒に総合避難訓練をしている。園長が地域懇談会に参加して、私立保育園を含めた園長同士で情報交換している。地域の小学校と年3回交流して、顔合わせ、公開授業、1年生とリース作り、給食体験などを行っている。消防署には総合避難訓練・消火訓練の指導、保健所には救急法と心肺蘇生法、警察署からは年1回、不審者対応訓練の指導を受けている。	
	随時受付し、園の概要を配布して園目標や保育の特徴などを説明し見学してもらっている 見学希望は電話で問い合わせてもらい、日程を調整して随時受け付け、16時頃までの希望の時間に応じている。園長と主査が対応して、見学者用の園のしおりを配布して見て貰いながら園舎内外を案内し、保育目標や園独自の活動、年間行事予定、恵まれた自然環境を生かして散歩をしている、園庭の遊具などが充実していることなどを伝えている。参加者から寄せられる質問、おむつの持ち帰り、入園までに準備する物、保護者参加の行事などにはわかりやすく丁寧に答えるようにしている。	
	サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2		サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している			○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している			○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている			○非該当
サブカテゴリ-2の講評				
<p>入園説明会を実施して重要事項や園利用の基本的なルールなどを説明している 4月入園の場合、入園内定者には2月下旬頃に健康診断と面接を実施している。事前に配布して記入してもらった「家庭連絡票」や「入園までの生活状況」などの書類を基に、子育て状況や家庭の事情、要望などを聴き取り保育時間を決めている。3月中旬の土曜日に説明会を実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「本天沼保育園のしおり」を基に時間をかけて、園の概要や緊急時の対応、安全管理、個人情報保護、保育目標、主な行事、家庭へのお願い、健康管理等を説明している。写真・ビデオの撮影についての同意書ももらっている。</p> <p>入園当初は保護者の就労状況や意向に合わせて柔軟な慣れ保育を実施している 入園当初の保育について、面接時に説明して保護者の状況や意向を把握している。初日は保護者と一緒に昼食まで過ごして、0・1歳児には食事を食べさせてもらい園の給食の形態を見てもらっている。2日目からは保護者の状況に合わせて柔軟に進めている。おおよそ1週間程度を目安にしているが、育児休業中などでゆっくり進めたい希望がある場合には応じている。保育士は緩やかな担当制にして、生活面ではいつも同じ保育士が関わり、早めに信頼関係を築くようにし、迎えに来た保護者には丁寧に子どもの様子を伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>卒園や転園、退園などの際には、保護者の不安を軽減するような配慮をしている 卒園を迎える5歳児の12月の保護者会で「保育所児童保育要録」を就学先の小学校へ送付し、子どものことを伝える旨の説明をしている。区内の区立園への転園の際には、児童票(写)と健康カードを渡している。年度途中の転園や退園にはクラスでお別れ会を開くなどしてメッセージカードを渡している。保護者には新しい環境に心配はないかなど話を良く聴いて、いつでも遊びに来てくれるように、夏まつり、運動会には見に来てくれるように伝えている。</p>				
サブカテゴリ-3				
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		12/12
評価項目1		評点(〇〇〇)		
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している				
評価	標準項目			
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している			○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している			○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている			○非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身状況や生活の状況を保育日誌や保健日誌、児童票に記録している
 入園時には園医による健康診断を実施して発育や健康状態を把握し、面接により心身の発達や成育歴、入園までの生活状況などを把握している。0・1歳児は「食事調査」により、離乳食状況や食物アレルギー等を聴き取っている。入園後は、毎月の身体測定や年2回の健康診断、年1回の歯科検診、幼児対象の眼科検診・耳鼻科検診の結果を健康管理票や健康カードに記入している。0～2歳児は連絡帳に食事や排泄、睡眠、体調などの情報を記入してもらい、体調の変化などの情報を口頭で収集して保育し、保育日誌や保健日誌、児童票に記録している。

指導計画(月案)は担任と一緒に子どもの姿などを話し合っ作成している
 指導計画(月案)は各クラスの担任と一緒に子どもの様子やクラスの状況を振り返り、年間指導計画を基にして、翌月のねらいと具体的な活動内容を設定している。一人担任のクラスは主査が入って一緒に話し合っている。乳児クラスは毎月個別の子どもの姿とねらい、配慮を作成している。月2回実施しているカリキュラム会議で月案検討をして共有している。クラスの保護者会で大切にしていることを説明し、全クラスの月案のファイルを玄関に置き、保護者に見てもらい、5歳児クラスは保育室入口のカレンダーに活動予定を記入して保護者に示している。

子どもに関する情報共有のためにさまざまな会議を開いている
 毎日のミーティングは13時50分から実施し、午睡当番の保育士以外の幼児組担任、乳児組はクラス代表者が参加、看護師、栄養士、調理、用務、園長・主査、延長当番保育士が参加して、午前中の保育や子ども・保護者に関する情報、午後の職員体制、明日の職員体制、アレルギーの確認などを報告し情報共有している。定例会議は週1回実施し、園長会報告や行事、研修報告、全体で検討する課題などを話し合っている。カリキュラム会議ではクラスの子どもの状況を話し合い、その他に、幼児・乳児打ち合わせ、各プロジェクトの会議などもしている。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の保護をし、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園時に個人情報は厳重に管理することを説明し、保育中の写真やビデオの撮影については同意を得ている。その他、就学先の小学校へ保育所児童保育要録を送付することの同意を得ている。そのほか、特別な配慮が必要な子どもが通所している関係機関との情報交換について保護者の同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換は見えないように衝立を使用し、プールや水遊び、シャワー時は2歳児からラップタオルを使用して、4・5歳児には看護師がプライベートゾーンの話をし、脱いだ物から着る等の着替え方を知らせている。</p> <p>一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添う保育をしている</p> <p>園の方針の中に「子どもの気持ちや心に寄り添い、自己肯定感を育む保育をする」掲げている。毎月の職員会議の中などで子どもに関する事例討議をする際には、子どもの思いを受けとめているか、保育者の援助の仕方はどうかなどを振り返っている。そして、子どもを呼び捨てで呼ばない、あだ名や愛称で呼ばない、子どもの前で大人同士が子どものことを言わないようにするなど話し合っている。</p> <p>保護者の考え方や生活習慣などに配慮して対応している</p> <p>保護者の考え方などを個人面談や連絡帳などで把握し、配慮した保育をしている。例えば、特定の食材を摂らないことを希望する場合はアレルギー以外除去申請を提出してもらい受けている。子どもの体質などの為に、虫刺され予防の長袖・長ズボンの着用の申し出も受けている。園での薬品使用についての確認をしている。習い事などでの早退も受けている。</p>			
サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>区立園共通のマニュアルや園独自の「危機管理確認事項」等のマニュアルを整備している</p> <p>区立園共通の「危機管理マニュアル」が整備されている。その他に、園独自のマニュアル「危機管理確認事項」の中に、怪我・事故が発生した場合の連絡、アレルギー対応、散歩、個人情報保護などを作成して綴じている。その他にも、坐薬挿入手順、睡眠中のSIDSの予防について、朝夕保育仕事内容、園庭遊びの約束事などを作成している。これらの園独自のマニュアル類は各クラスに置き、いつでも必要な時に確認できるようにしている。</p> <p>年度初めには園独自のマニュアル類の読み合わせをしている</p> <p>保育や園運営に関して、前期反省や年度末反省をして次年度に生かしている。園独自のマニュアル類は年度初めに読み合わせをしている。現状の業務と違っている場合には見直して差し替えをしている。朝夕パートの仕事内容などは、子どもの人数や子どもの成長などにより、また、パート職員の入れ替わりなどにより、変更する必要が生じた時には、随時提案して、職員会議などで検討し見直している。</p> <p>保護者会や行事の後などにはアンケートを取り、保護者の感想などを聴いている</p> <p>園長は朝の登園時には玄関に出て挨拶をするように心がけて、事務室のドアを常時開けておき、保護者が入りやすいようにしている。保護者会や個人面談、行事後にはアンケートを取っている。園だよりのアンケート調査も年度末に実施し、クラスだよりも年度途中で感想や意見をもらっている。運動会や夏祭りなどの行事の後には振り返りをして、保護者の動線の混み具合などから検討して保護者席の場所を変更したり、敬老席の椅子が不足していたので、増やすなどしている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達に合った玩具を自分で選んで使えるように環境設定している</p> <p>子どもの主体的な遊びができる環境作りに環境プロジェクトを中心に取り組んでいる。乳児保育室は、食事・遊び・着替えなどの場所を低い玩具棚や衝立などで区切っている。遊びの場所には子どもの年齢発達に合わせた玩具を子どもの手の届く場所にわかりやすく並べて、ままごとや世話遊び、絵本、構成遊び、手先遊びなど、自分で使いたい玩具を選んで、落ち着いて遊べるような環境設定にしている。幼児室では、木製の積み木など豊富に用意して、場所を確保し、継続して積み木遊びができるようにしている。</p> <p>幼児クラスで一緒に遊ぶ時には、3・4・5歳児3人の「仲良しグループ」で遊んでいる</p> <p>3・4・5歳一人ずつの組み合わせで「仲良しグループ」を作って、一緒に散歩に行き、七夕会食をしたり、運動会のわらべうた遊びで「兄弟雀」や「籠の中の小鳥」を披露したりしている。行事に向けての取り組みでは「仲良しグループ」で遊ぶことにしているので、3月のお別れ会に向けても一緒に取り組みを進めていくことにしている。リズム遊びはクラスでしたり、他のクラスと一緒にしたりしている。夕方保育は隣接している幼児保育室の間のドアを開けて、子どもたちは自由に行き来して好きな場所で遊んでいる。</p> <p>子ども同士のトラブルは双方の子どもの気持ちを受けとめて対応している</p> <p>1・2歳児の保護者会で子どもの年齢発達の姿を説明している。トラブルが生じた時には、「～したかっただね」と子どもの気持ちをくみ取り、代弁してやりながらどうすれば良いかを知らせている。保護者には、園の保育中の出来事であり、防げなかった園側に責任があることを説明し、トラブルになった状況を双方に伝えている。幼児の場合は、子ども同士で解決できない場合には保育士が仲立ちになり、お互いの気持ちを聴き取り、解決に導いている。双方の保護者に伝えて子どもの気持ちを受けとめてもらっている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での状況を聴き取っている

登園時には挨拶をして子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、乳児クラスは連絡帳を受け取り、記入してある内容に目を通して健康状態を確認し、受け入れている。健康面などの大切なことは口頭で伝えてもらうようにもしている。前日に欠席していたり、園で体調を崩したり怪我をしたりした時には、家庭での状況を詳しく聴いている。保護者から聴き取ったことは朝夕視診票に記入してクラスに引き継ぎ、情報共有が必要なことはミーティングで報告している

休息(昼寝を含む)の長さや時間は子どもの状況に応じている

0歳児や1歳児の場合には、睡眠が必要な時には午前寝も夕寝もしている。年齢に応じて食事時間の違いはあるが、0~3歳児は食事が終わった子どもから布団に入るといった生活リズムにしている。4・5歳児は少しお腹休めをして、5歳児は13時15分頃には布団に入って、15時頃に起している。早めに目覚めた子どもは静かに遊んでいる。幼児の場合に14時以降も眠れない子どもは起きて部屋で静かに遊んでいる。

迎への保護者には日中の子どもの様子を一人ひとりに伝えている

迎への保護者とのコミュニケーションを大切に、乳児クラスは18時30分、3歳児クラスは18時までクラス保育にしているだけ担任が子どもを見るようにして、迎への保護者に日中の子どもの様子を伝えている。乳児クラスは連絡帳に個別の子どもの様子を記入し、幼児クラスの活動の様子を貼り出し日誌で読んでもらっている。迎への保護者には、朝夕視診表の個別欄に連絡事項を記入しておき、当番保育士が伝えている。日中保育をしていた保育士が直接伝える必要がある場合には、保護者の迎えを待って伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

遊び込める時間を確保したり、継続して遊べる場所を設置したりしている

登園が早めの子どもが多いため、乳児組では朝のおやつを食べて9時30分頃には戸外に出て、食事の前までたっぷり遊んでいる。幼児も生活時間が細切れにならないように、遊び込める時間を確保しているので、散歩に出かけた時など、帰園が少し遅くなることを連絡して、昼食への配慮をしてもらったりしている。保育室では、積み木遊びのコーナーや小さなブロックなど、継続して遊べるように置いておける場所を設置し、名前カードを付けている。午後のおやつ後、翌日の活動の話をし、子どもが見通しを持って主体的に生活できるようにしている。

空き箱や広告紙などを使って自分でイメージした物を制作して遊んでいる

家庭から持って来てもらったり、職員が用意したりして、空き箱や新聞紙、広告紙、ビニールテープ、ラップの芯などの素材を用意しているので、子どもたちが自由に使って作って遊ぶ制作遊びが盛んである。自分でイメージした物を、いろいろと作り上げているが、中には手作りのランドセルを作り、手作りのノートまで入れている子どももいる。次第に大きなものも作るようになり、恐竜を作ったりもしている。5歳児の制作遊びが4歳児にも広がり、空き箱制作が続いている。

自然豊かな公園などに散歩に出かけ、自然に触れたり感じたりして遊んでいる

戸外遊びに最適な季節には、乳児クラスは少人数グループ(6名程)でほぼ毎日散歩に出かけている。2歳児は秋頃には10名程で出かけている。幼児組クラスは週1~2回、散歩に出ている。地域の広い公園には樹木や池などがあり、どんぐりや松ぼっくり、木の葉などの自然に触れることができる。川沿いの遊歩道も季節の花や雑草などがあり、鴨や亀なども目にすることができる。園庭ではダンゴ虫や蟻、蝶、バナナ虫などを探したり触れたりして遊び、4・5歳児は夏場にはカブト虫を飼育し、テントウムシの幼虫を捕まえて観察したりしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>みんなで話し合っ、協力し合っみんなの神輿を作り上げている</p> <p>5歳児クラス(ひまわりぐみ)では夏祭りにどんな神輿を作るか話し合い、色々な思いが出る中「光るお神輿を作りたい」という声があがり、みんなのイメージを取りまとめて、ペットボトルの底にひまわりの花を描いた土台に、カラフルな花と紙粘土の動物も飾って、ひまわり畑の動物園の神輿を作りあげている。4歳児は手作りの太鼓を作っている。当日は保護者に見守られながら、5歳児が神輿を担ぎ、4歳児は太鼓をたたいて、地域を練り歩いている。ヨーヨー釣りや手作りおもちゃコーナー、ミニシアターなどで遊び、盆踊りを踊ったりしている。</p> <p>運動会ではみんなで力を合わせて取り組み、やり遂げた喜びを感じている</p> <p>運動会は3・4・5歳児の参加にして、乳児クラスは自由参加にしている。5歳児は大縄跳びに取り組み、2人ずつ順番に跳び、誰も引つかかることなくリズムに乗って跳ぶことができ、緊張しながらもやり遂げた達成感があった。4歳児はバチを持って和太鼓の踊りに取り組み、息を合わせて踊っていた。5歳児はリレーに取り組むたびに勝ち負けを繰り返していたので、負けて悔しい思いをして泣き、勝つためにはどうすれば良いかをチームごとに考えて走者順を話し合った。運動会当日のリレーも熱戦になったが、お互いに頑張ったことを認め合っていた。</p> <p>行事予定を早めにお知らせし、子どもたちの取り組みの様子を知らせている</p> <p>年間行事予定表を4月に配布している。保護者参加の保育行事は6月の父母会との共催の夏祭りと10月の運動会である。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子を、月1回以上発行のクラスだよりや毎日の貼り出し日誌、写真の掲示などで知らせて楽しみにしてもらっている。行事前にはお知らせやご案内も配布している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕方保育の時間もできるだけ慣れた保育室で落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>夕方の時間もよく慣れた保育室で安心してゆったりと過ごせるように、0～2歳は18時30分まで、3歳児クラスは18時まで各クラスの保育室で、4・5歳児は一緒に4・5歳児室で過ごしている。基本的に夕方当番は、乳児クラスは担任、幼児クラスは幼児の担任がしている。延長保育は18時30分から19時30分の1時間で、2歳児室で一緒に過ごしている。</p> <p>延長保育用の年齢発達に合った玩具などを用意して遊べるようにしている</p> <p>夕方の保育では、幼児クラスは隣接している保育室間のドアを開けて、自由に行き来しながら好きなところで遊んでいる。18時30分からの延長保育は2歳児室でしているため、幼児用にカードゲームやパズルなどの年齢発達に合った玩具を用意している。保育室にソフトマットを敷いているので、子どもたちはゆったりと座ったりして遊んでいる。</p> <p>少人数でゆったりと大人と一緒に過ごしている</p> <p>12月現在、延長保育利用児は7名程であり、スポット延長利用を含めて10名程度のことが多い状況である。少人数であり、大人と一緒におしゃべりしたり、パズルをしたり、ゆったりと絵本を読んでもらうなどして遊んでいる。兄弟もいるので、年上の子どもが年下の子どもと手をつないでくれたり面倒を見てくれたり、年下の子どもが年上の子どもの側に寄って行ったりする姿があるなど、自然な異年齢の交流の場になっている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせたテーブルや椅子に安定して座り、楽しく美味しく給食を食べている</p> <p>乳児クラスでは食事のコーナーを仕切り、子どもの体格に合わせたテーブルや椅子を使用して、決まった座席でいつも同じメンバーや保育士と食事をしている。安定して座れるように椅子には手作りの足台や脇当て、背当てなども使っている。幼児クラスでは席を決めて、友達と一緒に楽しく食べている。七夕やお楽しみ会などで、会食にする時には全園児が食べられる食材を使用したメニューにしている。12月のお楽しみ会には米粉のケーキを提供している。5歳児は箸を使って秋刀魚を食べる機会を設けている。</p> <p>区立園共通の献立で、栄養バランスを考慮して園で手作りしている</p> <p>献立は区立保育園共通のもので、栄養バランスや各園の子どもの喫食状況を考慮して区の栄養士が作成している。出汁は昆布、煮干し、鰹節から毎日取り、旬の食材を使い園で手作りして提供する。栄養士や調理職員は毎日子どもたちの喫食状況を見て回り、切り方や硬さ、味付けなど配慮が必要な場合には次回に生かしている。給食の実物展示や食材産地の表示をしている。乳児・幼児とも、前期保護者会で給食の試食を提供している。</p> <p>プランターで野菜を栽培し、食材に触れる経験や調理する経験をしている</p> <p>園庭のプランターや畑で野菜栽培をし、収穫して、3歳児はきゅうりを塩もみにして食べている。4歳児はピーマンを炒め、枝豆は茹でてもらって食べている。5歳児はポップコーンとうもろこしとオクラを栽培し、とうもろこしは保育室ではじける様子を見せてもらい味見をしている。食材に触れる経験では幼児組が玉ねぎの皮むきや豆類のさやむきをしている。5歳児は米をとぎ、透明の鍋で炊いてもらい、炊き上がる様子を見て匂いを嗅ぐなどしている。昆布とかつお節、煮干しで出汁を取り試飲している。5歳児の調理保育でクッキー作りをしている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の健康に関心を持てるような手洗いやうがいなどの健康教育をしている

年間保健計画を作成して、幼児を対象に健康教育を実施して、手洗いやうがい、鼻のかみ方などを知らせている。プールの時には5歳児にプライベートゾーンの話をしている。これらは子どもにわかりやすいように紙芝居や実演などで指導している。日々の保育の中では、危険な遊び方や場所などを伝え、散歩中には道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールを知らせ、公園の遊具の使い方や約束事も伝えている。靴の履き方ではかかとをしっかりと入れる、マジックテープはしっかりと止める等も指導している。

囑託の園医に相談してアドバイスをもらうなどしている

医療的ケア児は在籍していない。囑託の園医は 毎月1回の0歳児健診、年2回の定期健診時に来園しているので、子どもの健康に関する保護者の心配事なども園医に相談してアドバイスをもらっている。薬の預かりは原則的にしていないが、慢性疾患の薬や熱性けいれんの予防薬など医師の診断により園での服用の指示が出された処方薬については、与薬申込書を提出してもらって受けている。

保健だよりや保健掲示で、感染症などの子どもの健康に関する情報を提供している

毎月保健だよりを発行して、保健行事のお知らせ、感染症情報、園児の健康状況、爪の衛生、熱中症予防、夏バテ防止、生活リズムの大切さなどを掲載している。玄関にある保健掲示ホワイトボードには、感染症情報や保健に関するポスターを掲示している。園で感染症が発生した時には、保育室入口にも病名や発生クラス、症状、潜伏期等の情報を掲示して注意喚起している。乳幼児突然死症候群(SIDS)のポスターを乳児クラスなどに掲示し、園の昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者とのコミュニケーションを大事にし、家庭の事情に応じて可能な支援をしている

家庭の事情や子育ての悩みなど、困ったことがあれば、事務室にきて相談してもらえるように、声掛けしたりさりげなく話を聴くなどしている。保護者の仕事の繁忙期には保育時間を延ばす等している。個人面談は7月から12月にかけて時期を決めて実施しているが、期間内で都合がつかない場合には別日でも受けている。年2回の保護者会に参加できなかった人には別日に時間を設けて、写真やスライドショーなども個別に見てもらったりしている。保護者会後には、子どものおやつが終わるのを待つ間、保護者同士で畳の部屋で懇談してもらっている。

保護者と保育園職員が一緒になって、夏祭りをしている

父母会との共催の夏祭りでは父母と園長・主査、夏まつりプロジェクトで話し合っている。保護者の和太鼓(12~13人くらい)を披露してくれたり、フニ叩きなど遊びのコーナーを担当してくれている。運動会は、地域の小学校の校庭、雨天の場合は体育館を借用して実施し、子どもたちの種目の他に、各クラスの親子競技、クラス対抗の保護者競技も実施している。父母の準備体操は子どもたちの好きな体操にしているが、5歳児の保護者が前にでて見本になってくれている。

保育参観や保育参加は随時受けているが、個人面談の時に声を掛けている

個人面談は期間を設けているが、それ以外にも面談や保育参観は随時受けている。個人面談の午前中に声を掛けて保育参観や参加してもらっているが、別日に個人面談のみでも受けている。乳児クラスでは保護者に隠れてもらい通常の子どもの様子を見てもらい保育参観を実施している。幼児クラスは子どもと一緒に遊んでもらう保育参加にしている。保護者の希望により、年齢に関係なく参観も参加も受けているが、1・2歳児の保育参加は子どもが動揺しないように昼寝まで一緒に居てもらおうなどの配慮をもらっている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の高齢者施設や小学校、図書館などに出かけて交流し、利用体験などを行っている</p> <p>地域の高齢者施設2カ所にそれぞれ年1回交流している。夏祭り前に訪問して、手作りの神輿を担いで見せたり盆踊りを披露したりしている。地域の農家で芋ほり体験をさせてもらっている。地域の小学校と年3回5歳児が交流したり、6年生が職場体験に來たりしている。図書館には5歳児が2か月に1回絵本を借りに行き、公共施設利用のルールを学ぶ機会になっている。</p> <p>園行事の夏祭りや運動会には地域の参加も呼び掛けている</p> <p>園の行事の夏祭りや運動会には、地域の方向けのピラを作成して、園庭開放などの参加者に配布したり、児童館に置かせてもらっている。卒園した1年生には学童クラブに招待状を届けて、配布してもらっている。今年は卒園児を含めた地域の参加は30組程であった。地域の床屋さんが年1回手品のおじさんになって、幼児クラスに手品を見せてくれている。</p> <p>地域子育て支援事業として園庭開放(あそぼう会)を実施している</p> <p>地域で子育てしている親子と乳児クラスとの交流として、園庭開放(あそぼう会)を5～2月の第2第4の水曜日(ただし、7・8月はなし)に実施している。参加者は今年度12月までで16組であった。併設の児童館事業に協力して、0歳児向けの離乳食の話に栄養士、生活リズムの話は看護師、1歳児のイヤイヤ期の話は1歳児担任、2歳児のトイレトレーニングについては2歳児担任が話している。子ども子育てプラザ(子育て支援施設)には園長が保育園についての話をしに出向いている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	職員の環境プロジェクトを中心に、子どもが主体的に遊べる環境作りに取り組んでいる	
内容①	子どもが主体的に遊べる環境作り取り組み、室内環境では、2歳児や幼児がイメージを広げて遊べるようにさまざまな手作り具材を作成して増やし、身体を動かす遊び用に室内の可動遊具として、よじ登る、バランスをとるなどができる遊具を設置している。飲料用紙パックを使って積み木を作り蛇腹につなげた物や段ボールを重ねて作った円形の板状の物、カラフルな飲料パック製の積み木などの手作り遊具も子どもたちに人気の玩具になっている。園庭遊具の見直しを進めて、固定遊具の他に子どもが自由に使って遊べる可動遊具を整備している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	連絡帳や貼り出し日誌、クラスだより、写真掲示などで保育の見える化に取り組んでいる	
内容②	乳児クラスでは連絡帳で個別に子どもの様子を伝え、幼児クラスでは貼り出し日誌で活動の様子を読んでもらっている。迎えの時には、できる限り、口頭で子どものエピソードを伝えるようにしている。クラスだよりも月に1~2回程発行し、写真にコメント付きで貼り出して、食育活動や散歩、水遊びなど活動の様子を保護者にわかりやすく伝えている。これらを通して、子どもたちの成長や子どもが興味・関心をもっていること、取り組みの様子などをわかりやすく伝え、保育の見える化に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	ヒヤリハットを全職員で共有し、危機意識の向上に取り組んでいる	
内容③	各クラスより、身近に感じたヒヤリハット体験や今まで経験した「危ない」「危なかった」ことなどから、一つのヒヤリハット事例を挙げ、2グループに分かれて、グループ討議を行なっている。グループ討議では、その対応策について話し合い、活発な意見交換ができています。最後に各グループが話し合った内容を報告し、危機意識を高め、安全管理に積極的に取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	散歩で集めてきたどんぐりや松ぼっくりなどを使って制作し、自然の魅力を伝えている
	内容	園の周辺には樹木や池がある自然豊かな区立公園などがあり、子どもたちは散歩に出かけて、どんぐりやまつぼっくり、木の葉などの自然に触れて遊んでいる。散歩先で見つけたどんぐりやまつぼっくりを使って、ツリーを作り飾っている。子どもたちが芋づるを利用して制作したリースも飾っている。保育士が木の枝や木の実、木の葉などの自然物を使ったオブジェを作り、木の実の標本を作って子どもに見せるなどして、自然の魅力を伝えている。
2	タイトル	保育実践を記録して提出し、保育の振り返りをして大切にしたいことを職員間で確認している
	内容	より良い保育実践ができるように、各クラス内で定期的に保育の振り返りや検討をしている。保育実践事例の記録と実践者の考察を提出し、読んでみての感想や参考になったこと、実践者とは違う子どもへの見方や考え方、事例場面の子どもの気持ちの読み取りや背景として考えられることなどを討議している。そして、保育を振り返り、事例が園の保育目標のどの項目に該当するのか、大切にしたいことは何かを職員間で共有し、確認合っている。
3	タイトル	職員間のコミュニケーションが図られて、課題に向けて一丸となって取り組んでいる
	内容	子どもたちが安心安全で心地よく過ごせて、主体的に遊べる保育環境を作ることを中心に、環境プロジェクトを中心に他園の見学や研修に参加して、職員会議で報告し、園の環境にどう生かすか、必要な物は何かを、職員皆で考えて実践に移している。園長・主査と保育向上リーダーを含めた、職員間のコミュニケーションがよく図られ、保育に対する意見交換を重ね、理解し合って、チームワーク良く取り組みを進めている。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに対して100%の非常に高い満足を得ている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育園の友達だけでなく、地域の他の子どもたちとも交流し、経験の幅を広げる工夫を期待する
	内容	地域の高齢者施設2か所とそれぞれ年1回ずつ、小学校と5歳児が年3回交流している。園長は地域懇談会や地域ネットワーク会議などで情報交換をしている。しかし、地域の保育園児や幼稚園児などの交流は少ない。これからは保育園の友達だけでなく地域の子ともたちとふれあう機会を作るなどして、子どもの経験の幅を広げる工夫を期待する。
2	タイトル	長時間保育の子どもがこれまで以上にゆったりと安心して過ごせる環境の工夫を期待する
	内容	スポット利用も含めた延長保育児は10名程度であり、2歳児保育室を使用している。ソフトマットを敷いてあり、そこに座ったりして過ごし、幼児も遊べるように幼児用のパズルなども用意している。今後は、これまで以上に子どもがゆったり過ごせて、疲れた時には寄りかかれるクッションを用意するなど、家庭的で安心して過ごせる環境整備を期待する。
3	タイトル	苦情解決制度の周知に関して、より一層の取り組みを期待する
	内容	利用者調査では、外部の苦情窓口の周知に関して、肯定的返答39%、消極的・否定的返答29%、非該当(わからない)・無記入32%であった。入園説明会で、「重要なお知らせ」を使って、苦情・要望等の相談窓口について周知している。しかし、氏名・連絡先について明記していない。また、園のしおりにも、苦情の申し出先やその対応について明記されていない。苦情解決制度の周知に関して、より一層の取り組みを期待する。

4. 宮前保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児94名の保護者82世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	94
利用者家族総数(世帯)	82
共通評価項目による調査対象者数	82
共通評価項目による調査の有効回答者数	63
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.8

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」4名(6%)、「母」51名(81%)、「父母一緒に」3名(5%)、無記入5名(8%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」42名(66%)、「満足」18名(29%)、「どちらともいえない」2名(3%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の95%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問3「食事」、問8「家庭と園との信頼関係の構築」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装など」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「子どもの興味を大切に保育をしてくれている」「クラス担当以外の先生も情報の共有がされており、声をかけてくれ、安心して子どもを預けられる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	62	0	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「毎日、沢山の体験をしてくる。工作、ゲーム、食育、お手伝いなど様々な活動に工夫が見られ、子どもはその体験を持ち帰り、家で自宅でもしたりする」「園で子ども同士の交流を学んでいる。お兄さんやお姉さんに優しくしてもらうことから学んでいる」などのコメントが記入された。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	55	7	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「子どもの興味に合わせてマルチパーツなどを用いて、見立てて遊んだり、ほかのクラスのおもちゃを借りに行ったり、また、絵や工作などを積極的に行ってくれている」「子どもにとっても寄り添ってくれる先生が沢山いるので、子どもたちが興味や関心を持ったことに積極的に、かつ臨機応変に対応してくれる」などのコメントが記入された。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	60	1	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「アレルギーのある子だが、アレルギーに合わせてメニューを替えたり、そのものを除いて調理してくれている」「子どもたちがつくった野菜、近所の畑で収穫されたものなどをおやつとして出してくれたりするので、心も体もとても栄養価の高いものになっている」などのコメントが記入されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	53	7	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「よく公園でどんぐり拾いや松葉ずもう、かごめかごめなどをするとのお話を聞く」「近所にお散歩したり、畑に行ったりしている」「警察の人や消防車が来園したりと自然や社会との関わりは十分確保されている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	8	2	10
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」13%、「いいえ」3%、非該当・無記入16%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「スポット延長で対応してもらっている」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	46	14	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「定期的な避難訓練や、プール表に記入漏れがある際には水着があってもプールに入らせないなどの対策は、予防において良い」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	43	16	3	1
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」25%、「いいえ」5%、無記入2%であった。「はい」と返答された方からは「前もって伝えてくれるので、調整しやすい」「行事日程については、開催1か月ほど前からプリントなどで配布してくれるので、仕事の調整がしやすい」などのコメントが記入された。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	57	4	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、家庭と保育所との信頼に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「特に乳児クラスでは、連絡帳だけでなく、担任の先生から口頭で話ができる機会が沢山ある」「園での様子について、送りの際によく報告をしてもらっている」「担任だけでなく、園長先生や看護師の先生とよく共有できる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	47	14	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、施設内の清掃、整理整頓に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「築年数は古いですが、毎日清掃しているのを見かける」「先生方が朝早くから掃除してくれて、園のご近所さんのところまで掃き掃除をしている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	57	5	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「いつも笑顔で優しく声をかけてくれる」「迎えに行くと、“お帰りなさい”と言われ、ホッとする」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	56	5	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「体調が悪いときは随時連絡があり、怪我をした場合は状況などの説明してくれる」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	44	12	1	6
「はい」と返答した方々は回答者の70%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「じっくりと子どもと向き合って話をしている姿をよく見かける」「泣き虫な子どもだが、成長したと思う」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	60	2	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「おたよりや日々の日誌での先生の視点から、とても大切に育ててくれているのがわかる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	8	0	6
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「余計なことと言わない。嫌な思いをしたことはない」「流行している病気など必要な情報を伝えてくれるだけで、守ってくれていると感じる」などのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	53	9	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「保護者会で詳しく話してくれる」「送り迎えの際に丁寧に説明してもらっている」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	50	8	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の79%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「あまり不満はないが、何かを伝えたときはしっかり対応してくれる」「手紙や連絡帳のやり取りだが、対応が早い」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	25	12	5	21
「はい」と返答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」19%、「いいえ」7%、非該当・無記入34%であった。「はい」と返答された方からは「杉並区自体がしっかりと伝えてくれているのもあるが、相談会などでわかりやすく伝えてくれている」、「どちらともいえない」と返答された方からは「園に関して困ったことがほぼないので、あまり覚えていない」「何かあっても、自分で調べて行動できるので、困っていない」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	保護者に対して、園のしおりを使って、保育の基本方針などを説明している 児童憲章・保育理念・保育方針・園目標を事務所に掲げ、職員へ意識づけしている。職員会議で、保育の全体計画を確認し合い、共通認識の一つにして日々の保育を行っている。保護者に対しても、新入園児の入園説明会で、「宮前保育園のしおり」を用いて、保育の基本方針などを伝え、その理解の浸透を図っている。5月のクラス会議では、園長、担任保育士、看護師、栄養士が自己紹介を行い、写真を使って、パワーポイントで活動の様子を説明し、年間指導計画の目標や配慮事項なども伝えている。	
	園長・主査・保育向上リーダー2名が中心となり、保育の質向上に取り組んでいる 「園の役割分担表」を作成し、園長・主査の役割を明記している。園長・主査は、「目標申告シート」を使って、1年間の職務目標を記載し、リーダーシップを発揮し、より良い園運営に取り組んでいる。また、園長・主査に加え、保育向上リーダーを2名配置し、4本柱を中心に保育の質向上に取り組んでいる。向上リーダーは、保育課主催の「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、他園の取り組みも参考にしながら、風通しのよい園運営を目指し、さまざまな角度からの意見が活発に出るよう取り組んでいる。	
	園内の各課題について話し合う場を定め、「保育に関する手引書」に明記している 職員個々に「保育に関する手引書」を配付し、仕事で迷ったときなどにいつでも確認できるようにしている。同手引書に園内の会議体を明記している。毎日のミーティング、週1回の定例打ち合わせ、月1回の職員会議、随時の乳児打ち合わせや幼児打ち合わせ、月1回の献立会議、月末のアレルギー会議などを通して、各課題について情報交換・情報共有している。これらの会議に欠席した人には、自らクラス職員より報告を聞いたり、1週間以内に会議・議事録を見て確認するようにしている。	
	カテゴリー2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

保護者の要望や、職員の提案を受けて、園運営の改善に活かしている

送迎時に口頭で、また、連絡帳を通して保護者の要望を把握している。また、保護者会などを通して、口頭で保護者の要望を聴取している。保護者の要望を受け、今年度、運動会では写真撮影を業者委託にした。保育参観の実施後、アンケートを実施し、保育園への要望や聴きたいこと、困っていることなどを記載してもらい、園運営の改善に活かしている。また、人事考課の面談を通して、組織に対する意向を定期的に把握している。職員の提案に対しては、職員会議で協議、決定している。

園長会などを通して、地域ニーズや保育園をめぐる課題について情報収集している

サポートセンター事業遊イング(月1回)の参加者に用紙を渡し、地域で子育て中の親子のニーズを収集している。近隣の約10か所の保育所が集まって、地域懇談会を開催し、各園の取り組みや共通課題について情報収集している。児童館・小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会に参加し、地域の子育てニーズについて情報収集している。また、園長会や区保育課主催の研修などに参加し、情報収集したり学びを深めている。区からの情報や新聞記事、専門雑誌などから、保育園をめぐる課題について情報収集している。

園の目標を定め、半期ごとに反省・評価を行っている

区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-3の講評			
「保育に関する手引書」に、プライバシー保護などを明記し、職員へ周知している 区からの個人情報保護遵守や公務員倫理などの通知文を職員へ周知し、意識づけを図っている。また、「保育に関する手引書」に、保護者対応・プライバシー保護・虐待対応について明記し、職員へ周知している。非常勤職員に対しては「保育園で働くにあたり」の文書を作成し、「子どもの人権を尊重した対応をお願いします。子ども一人ひとりに人格があります。呼ぶときは名前を正しく呼んでください。ニックネームやあだ名で呼ばないように注意してください」などを明記し、子どもへの対応について教育指導している。			
区の苦情調整委員制度についてのポスターを掲示し、保護者に周知している			

園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。入園時に保護者に配付している「宮前保育園のご利用にあたって一重要なお知らせ」に、苦情・要望等の相談窓口について簡潔に明記している。保護者からの苦情・意見・相談は、直接口頭や連絡帳、電話相談などで寄せられ、毎日の屋のミーティングなどで、職員間で共有し、対応策について話し合っている。父母の会もあり、同会から保護者の要望も受け付けている。

近隣の障害施設との交流など、関係機関との協働体制を整えている

夏祭りや運動会などに地域の方々の参加を働きかけている。地域の子育て中の親子を対象に、園庭開放を実施している。子育てサポートセンター事業を行い、一時保育の支援や、遊イングを実施しており、身体計測のお手伝い(毎月1回)、栄養士(離乳食などの相談)、看護師(健康についての相談)などで協力体制を敷いている。年長児が小学校に行くなど、幼小保の連携も行なっている。また、近くの障害者施設と一緒に避難訓練したり、豆まきをするなど、交流している。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◎あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◎あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ-4の講評

「危機管理マニュアル」に基づき、危機に対して迅速に対応できるようにしている。

「危機管理マニュアル」を保管し、災害・事故などのあらゆる危機の場面で、的確かつ迅速に対応できるようにしている。「防災訓練実施計画表」を作成しており、同計画に基づいて、月1回、火災・地震を想定した避難訓練を行っている。毎月1回、消火訓練も行っている。9月には散歩中の避難訓練も行っている。10月の訓練では、子どもたちは防災頭巾を被り、近くの障害者施設まで歩いていく経験をしている。近隣中学校を中心とする地域の震災訓練事業に園長が参加している。

危機管理プロジェクトを設け、防犯訓練を実施している

事故発生時は要因や対応を分析し、全職員へ周知し、対応策を講じている。保育課主催の「ノロウイルスの基礎知識と対応」に職員を派遣し、動画や講義からノロウイルスの知識と嘔吐したときの正しい処理方法を実践的に学び、他職員への周知している。また、年1回、安全チェック表を使って、設備面の安全点検を行っている。「保育に関する手引書」に、散歩に出かける手順及び配慮及び注意事項を記載し、散歩での安全管理を行っている。危機管理のプロジェクトも設け、不審者が園内に侵入してきたばあいを想定した防犯訓練を実施している。

各管理簿を使って、個人情報の漏れがないよう徹底している

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行っている。「カメラ使用記録簿」「SDカード使用記録簿」「児童票管理簿」を用いて、個人情報の漏れがないよう徹底している。入園時、保護者に書面を使って、個人情報の取り扱いについて説明している。また、園での写真撮影および園内での掲示および公開について書面で同意を得ている。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ5の講評

園児の状況や職員の経験歴などの観点から検討し、クラス担当を決定している

年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。当園内で、クラス担当を決める際は、職員にアンケートを実施し、個々の希望を把握し、さらに園児の状況なども考慮し、園長・主査でクラス担任の案を決め、職員会議で検討、決定している。

日々の保育の振り返りを記録し、事例討議を定期的に行い、保育の質を高めている

職員育成は、区保育課・人材育成課主催の研修や園内研修、外部研修、OJT、自己啓発などで行っている。区人事課主催研修では、在職年数に応じた研修を随時行い、保育課主催研修ではキャリアアップに必要な実務研修を実施し、該当者を研修派遣している。特に新任職員から、入職後3年目までの職員に対し、育成担当者を設置し、計画的に保育士としての知識・スキルを習得できるようにしている。園内では、職員個々が日々の保育の振り返りを記録し、職員会議で事例討議を定期的に行うことで、保育の質向上に取り組んでいる。

保育に係る全職員が協力し合い、働きやすい職場環境づくりに努めている

[保護者対応・情報共有][貸出文庫][園庭環境][室内環境][危機管理][園内研修]などのチャレンジプロジェクト活動を行い、自発的な学びの場を設けている。園では、さまざまな職種職員がいるため、情報共有・意見交換を密にすることで、連携を図り、働きやすい環境づくりに努めている。パート職員に対しても、クラスリーダーがパート職員の仕事内容を把握し、保育で大切にしたいことをクラスリーダーがパート職員に伝え、職員全員で協力し合い、組織の活性化を図っている。

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「保育実践を振り返り、会議で話し合いを進めていく中で、全体の課題として捉え、子どもへのアプローチを考え実践し、保育の質を高めていく」ことを重要課題とした。
 ・上記の目標達成に向け、次の取り組みを行なった。①職員個々が保育の振り返りを、振り返りノートに記録し、事例討議を行なった。②月指導計画に振り返り記録を載せ、各クラスの計画と共に振り返りから個々の姿が語られ、発達の姿を確認し合った。③園長・主査・保育向上リーダー(4本柱)で会議の狙いを事前に確認し、効果的な会議となるよう事前準備を入念に行なった。
 ・前年度の取り組みの結果、若手、ベテラン、嘱託のどの職員も、自分の実践を語り、自分とは違った視点で捉えていることに気づいた。また、映像を使って子どもの行動を共有した。どのような実践も肯定的に話し合うというルールを決めていたため、毎日何気ない会話の中で子どものことを話すようになった。連絡帳やお便りなど子どもの伝え方が具体的にようになってきた。他のクラスの子どものこともわかるようになってきた。担任が見ていなかった子どもの姿も伝え合った。
 ・今年度も引き続き、同じ課題に取り組んでいる。

目標の設定と取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・今年度も、個人でノートに保育の振り返りを記入し、職員会議で事例討議を定期的に行なっている。四本柱を基軸にしなが、事例討議を含めたカリキュラムの振り返りを考察し、全体の課題として共有し、子どもへのアプローチを考え、実践に移している。職員アンケートでは、「自らの保育を振り返る取り組みを続ける中、日々の保育の中で子どもをみる視点を育ててきた」「振り返りの事例討議を繰り返すことで、客観的に記録を考察することができるようになってきた」などのコメントが寄せられていた。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「保護者への子育てに関する情報の提供の向上に努め、子育ての共有を進める」を重点課題に掲げた。
 ・上記の目標達成に向け、保育参加・保護者会・個人面談・宮前ギャラリーなどを通して、保護者との共育での促進に取り組んだ。
 ・上記の取り組みの結果、保育参加は参加者のリピート率が高く、保護者からは「保育園での様子が見れてよかった」「友だちとの関わりが見れた」などの感想が寄せられた。また、トラブル時の対応に困ったことや保育士の対応に感謝などの言葉も多かった。保護者会では、子どもの姿をわかりやすく伝えるものが好評で、保護者会の実施後に行う子どもとの活動も喜ばれている。特に年長の夏祭りのTシャツ作りや梅干しのおにぎり作り、劇ごっこを見てもらうなどは、沢山の方の参加があった。宮前ギャラリーは、1日の開催であったものを三日にし、時間も広げた。1回目は生活2回目は遊びをテーマにした。5歳が取り組んでいる梅干し作りを紹介し、2回目は試食もしてもらった。わらべ歌を動画で紹介した。
 ・今年度も、保護者への情報提供の向上に努め、気持ちよく園を利用してもらうよう取り組んでいる。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・朝夕の送迎時に口頭や、連絡帳・開示日誌・クラスだよりなどで、子どもたちの様子をタイムリーにわかりやすく伝えている。宮前ギャラリーを通して、日々の保育を映像や写真、子ども達との具体的なやり取りを掲示し、観てもらう機会を設けている。行事などに向けての子どもたちが取り組んでいる様子などを全クラスの保護者にも伝えている。利用者調査でも、保育内容の説明に関して、回答者の84%が満足と返答し、高い満足を得ている。職員アンケートでも、「親への発信の仕方が変わってきた」などのコメントが寄せられた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している 評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリ1の講評		
区のホームページや区が発行している情報冊子、園の掲示板などで情報提供している 区が発行する広報紙やホームページ、保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」、「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの「すぎなみ子育てサイト」施設案内には、保育園の外観写真、住所や年齢別の定員、保育時間、延長保育時間、主な行事、園の特色、見取り図、保育活動の写真が掲載されている。当園の門外の掲示板には子育て支援事業「遊イング」のポスターや併設の子育てサポートセンターの案内などを掲示して地域の人に知らせている。 区立直営園であり、地域の関係機関と情報交換し連携している 区立直営園であり、所管課には延長児状況報告書、土曜保育利用状況、育児相談報告書、施設管理関係などのさまざまな報告をして連携している。地域の児童館には園の運動会や夏祭りのポスターを届けて掲示してもらっている。近隣の図書館には5歳児が絵本を借りに行っている。消防署には避難訓練やAEDの使い方、心肺蘇生法の指導を受けている。地元の警察署にはじゃがいも掘りに招待してもらい交通整理をしてもらっている。 見学は希望に応じて受け、園舎内を案内し、保育の特色などを伝えている 見学希望は電話で予約受付し、希望に応じて受けている。他の人と一緒でも良いと了解された場合には日程調整して数組一緒に案内している。園長または主査が対応しているので、案内が可能であれば土曜日の見学希望も受けている。見学者用の施設概要を配布して見てもらいながら園舎内を案内し、園の保育の特色や大切にしていること、例えば、乳児組は少人数保育をしていることなどを伝えて、質問にも応じている。園庭開放の案内をして「一緒に園庭で遊びませんか」と誘っている。10月の見学者数は17組であった。		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会を実施して重要事項や園利用の基本的なルールなどを説明している 4月入園の場合には2月中旬頃に健康診断と面接を実施して、事前に記入してもらった「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などを基に家庭の子育て状況や事情などを聴き取っている。3月中旬頃の土曜日に入園説明会を実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」、園で作成した「はじめまして(宮前保育園のしおり)」を基に、園の概要や保育理念や基本方針、園からのお願い事項、健康管理、安全対策と危機管理、個人情報の取り扱いなどの説明している。保育園での写真撮影および、園内での掲示及び公開についての同意書ももらっている。</p> <p>入園当初の保育は保護者の就労状況等の事情に配慮して柔軟に対応している 入園当初の保育については面接の時に保護者の就労状況や要望、迎える人の状況を聴き、決めている。おおよその目安として1週間程度の慣れ保育を実施している。仕事復帰が迫っている場合は早めに進めるなど個別の状況に合わせて柔軟に進めている。なるべく同じ保育士が食事や排泄、着替えなどの生活面で関わりながら、子どもとの信頼関係を早めに築くようにし、迎える保護者には、日中の子どもの様子を詳細に伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>卒園や退園・転園などには、不安を軽減するように配慮している 就学に向けて、小学校は楽しい場所であることを伝え、子どもに過度なプレッシャーを掛けないようにしている。保護者会で保育所保育要録を小学校に送付する旨伝えている。卒園児には、夏祭りや運動会には手紙を出して招待している。区内の公立園への転園には保護者が児童票(写)と健康カードを引き継いでいる。年度途中で退園する場合にはクラスでお別れ会を開いている。保護者には新しい環境に対する不安はないかどうか話を聴き、園の行事や近くに来た時などに遊びに来てくれるように伝えている。</p>			
サブカテゴリー3			
3	個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活の状況を保育日誌や保健日誌、児童票などに記録している
 入園時には発育や健康状態、成育歴、入園までの生活状況、食物アレルギーなど、0・1歳児は離乳食の進み具合等も聴き取り、児童票に記録している。入園後は、乳児クラスは家庭から連絡帳で睡眠や食事、排泄、体温などの情報を収集し、幼児クラスは登園時に口頭で聴き取り、保育を進め、子どもの遊びや生活の状況、体調などを保育日誌や保健日誌、児童票に記録している。毎月の身体測定、年2回の定期健康診断、毎月の0歳児健診、年1の歯科検診、幼児対象の年1回の耳鼻科・眼科検診結果なども健康カードや健康管理票に記入している。

指導計画(月案)はクラス担任が子どもの姿やクラス状況などを話し合い作成している
 指導計画(月案)は各クラス担任が、子どもの姿や保育士の思い、クラスの状況などを話し合い、年間指導計画を基にして、翌月のねらいを決めて具体的な活動内容などを設定しているが、子どもの遊びの状況により、変更したり、見直したりしている。乳児クラスは毎月個別のねらいや配慮を作成し、幼児クラスでは必要な子どもについて作成している。特別な配慮が必要な子どもの個別指導計画も作成している。春の保護者会で年間指導計画を見てもらいながら説明している。週案も掲示している。

職員会議、カリキュラム会議、ミーティングなどで子どもに関する情報を共有している
 カリキュラム会議を月2回実施し、各クラスの指導計画を複写して事前配布して、目を通して会議に参加している。担任からはクラスの課題などを伝え、意見やアドバイスをもらう討議方法にして、保育の工夫や個別の子どもの事例を話し合っている。その他に、職員会議月1回実施して年間カリキュラム検討、事例検討、期の反省などを行っている。風打ち合わせは週1回で事務連絡や園長会報告、研修報告、行事検討などを行っている。毎日実施しているミーティングでは、職員体制、子どもの様子、連絡事項、ヒヤリハット報告をし、園日誌に記入している。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の保護を徹底し、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>個人情報の取り扱いについては入園説明会で説明して、写真撮影に関する保護者の同意書ももらっている。就学先の小学校に保育所保育児童要録を送付する、転園先の保育園に情報提供する際には保護者の同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えは他人からは見えない場所で行い、プールもシャワーも遮光ネットなどで外からは見えないように工夫している。着替え時にはカーテンを閉めている。幼児はラップタオルなどで体に巻くなどして着替え、脱いだものから着替えることを伝えている。体の仕組みについての保健指導もしている。</p> <p>一人ひとりの子どもの意思を尊重して認める保育をしている</p> <p>子どもの意思を尊重しながら、子ども一人ひとりに応じて対応を心掛けている。子どもを決めつけた見方をしないように保育を振り返り、その子どもの持ち味や個性、人権を大切に保育している。誕生会はその子の誕生日当日にクラスでしている。イーゼルに写真入りの誕生日おめでとうを掲示してみんなに見てもらい、お祝いの声掛けをしている。</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応し、早期発見に努めている</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応している。保育士は日頃から、子どもの言動や身体状況の変化に気を配り、虐待の早期発見に努めている。傷やあざなどの外傷はどうか子どもに聞いたり保護者に確認したりしている。気になる場合には園長に報告し、記録を取り職員間で情報共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターなどに報告して、連携して対応することになっている。園長会では子ども家庭支援センターの職員から虐待対応などの話を聴く機会を設けている。</p>			
サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>区立園共通の「危機管理マニュアル」や独自の「保育園事業マニュアル」を整備している</p> <p>区立保育園共通の「危機管理マニュアル」が整備されている。園独自のマニュアルとして、保育に関する手引書「宮前保育園事業マニュアル」に、職員配置や係り分担、行事分担、会議について、散歩に出る手順及び配慮・注意事項、保護者対応、苦情要望対応マニュアル、近隣住民との関係、プライバシーについて、パート・アルバイトの仕事の流れ等を作成して綴じている。マニュアル類は事務室の棚に置き、必要な時にはいつでも確認することができるようにしている。</p> <p>園独自のマニュアルは年度末には確認して見直し、年度始めに周知している</p> <p>園独自のマニュアル類は、年度末に確認して見直し作成し、年度初めに周知している。期末や年度末の反省の時にも見直したり改善したりしているが、職員の気づきや提案、保護者の要望、子どもの姿などから、見直しが必要な場合や課題が生じた場合には迅速に検討して見直している。例えば、子どもの人数や子どもの成長により、朝・夕・土曜日のパート職員の仕事内容を変更するなどである。</p> <p>園独自のマニュアルを確認する際に意見が出て、検討して見直している</p> <p>園独自のマニュアルのうち、散歩に出掛ける手順を確認した際、散歩先での防犯対策について検討し、散歩に行く際には防犯ブザーを首に下げて持って行くことに変更した。危機管理に関する確認の際には、防災バケツの水交換について、訓練の度に使って水を取り換える方法にすることを決めた。会議やミーティングの持ち方についても意見が出て検討している状況である。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 35/35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びたいもので自由に遊べるような環境設定にしている</p> <p>子どもが主体の保育を大事にして、積み木やパズル、ままごとなどは子どもが自分で出したり片付けたりできるような環境にしている。乳児クラスでは、ままごとや絵本、机上遊びなど遊び毎のコーナーにし、静的な遊びの場所と動的な遊びの場所を別にして。4・5歳児クラスでは制作用の用具や材料も子どもが使いやすいように設定し、自分でどのくらいとれば良いか考えさせるようにしている。はさみや糊、クレヨン個人持ちにしているため、使いたい時に出して使っている。水をこぼした時などに使う雑巾も子どもが自分で始末できるようにしている。</p> <p>「なかよしの日」として幼児組と一緒に遊んだり、散歩したり会食したりしている</p> <p>異年齢交流は「なかよしの日」として、一緒に活動している。幼児の3保育室を積み木やままごとコーナーなどにして自分で遊びたい場所で行き来しながら遊び、リズム遊びで異年齢の3人組になり「なべなべ底抜け」をする、3グループに分かれて散歩に出かける、会食をするなど、幼児クラスの担任同士話し合って進めている。園庭は複数のクラスが同時に出て遊べる広さがあり、自分の兄弟に声を掛けたり、5歳児が作ったマルチパーツの家に年下の子が入れてもらったり、年上の子の遊びを年下の子が真似たりなど、自然な異年齢交流が見られている。</p> <p>地域の小学校と連携して、5歳児が学校訪問し給食体験などを行っている</p> <p>就学を控えた5歳児は地域の小学校を訪問して 5年生と遊んだり、給食を食べたりしている。展示会を見学に行っている。1年生と交流して、学校案内をして、教室の机やいすに座り、ランドセルを背負わせてもらうなどしている。1年生からは、ランドセルは教科書が入ると重いことや先生の話を聴く時の姿勢などを教えてもらっている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子について聴いている
登園時には挨拶をして、子どもの表情や顔色、機嫌などの健康観察をし、連絡帳を受け取り家庭での生活の様子の記述を見せてもらいながら体調の確認をしている。0歳児の場合は登園時の検温の際にお腹や背中なども含めて健康観察を受けている。前日に体調が悪い、怪我をしたなど、朝タノートに記述している場合には、保護者に様子を詳しく聴いて確認している。当番保育士が受けた場合には、保護者から聴き取った内容を朝タノートに記入して、担任に引き継いでいる。

休息(昼寝を含む)の長さなどは子どもの状態に配慮している

午前中の遊びの後、昼食前に着替えて、昼寝時には肌着を脱いで1枚になって布団に入っている。0~3歳児は食後にトイレを済ませると布団に入り、4・5歳児は食後にお腹休めをして13時過ぎ頃に昼寝の布団に入り15時には起こしている。夜の睡眠が不足していたり、体調を崩し気味の場合などは早めに寝かせるなど、子どもの状況に配慮している。就学を控えた5歳児は3月中旬からは休息だけにして、寝ないで過ごすようにしている。

迎への保護者には子どもの様子を一人ひとりに伝えることにしている

迎への時に担任がいる時には担任が、子どもの様子を伝えている。乳児クラスは連絡帳でも個別の子どもの様子を伝えている。幼児クラスは貼り出し日誌にクラスの活動の様子を書いて保護者に読んでもらっている。夕保育の前に子どもの体調面や連絡事項などを口頭で当番保育士に引き継ぎ、朝タノートにも記入している。当番保育士は自分で見ている時の子どものエピソードや連絡事項を伝えている。怪我などで日中見ていた担任が伝える必要がある場合には保護者の迎えを待って伝えている。内容によっては園長や主査も処置などの説明をすることもある。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが主体的にじっくり遊べるような園庭環境作りに取り組んでいる

園庭遊びプロジェクトを中心に子どもが主体的に遊べる園庭環境作りに取り組んでいる。複数のクラスが一緒に出ても遊べる広さがあり、太鼓橋、滑り台などの他に、マルチパーツ、板、バスマット、砂遊び遊具、テーブル、いす、たらい、縄、ボール、タイヤ、などの可動遊具を子どもが自由に使えるように用意して、遊びの様子を見ながら、可動遊具の置き場を考えて移動させるなどして、子どもがイメージを広げてじっくり遊べるように、遊びが充実するように工夫している。乳児では少人数での活動を工夫して、待ち時間が少ない保育に取り組んでいる。

子どもたちの発想を大事にしてさまざまな素材で制作遊びを楽しんでいる

制作遊びでは形や型、出来上がりなどを決めずに、子どもの発想を大事にしているいろいろな素材で作ることを楽しんでいる。布をコルクに巻いた人形やとうもろこしのひげを利用した人形作りをしている。とうもろこし人形はペーパーサートにしてお楽しみ会で演じている。小さな丸太にどんぐりを並べて飾りを作っている。青いビニール袋でいるかをつくり、折り紙の魚をたくさん作って、水族館の水槽を作っている。お化け屋敷ごっこでは風船や袋を膨らませてお化けを作っている。シュレッダーした紙をラーメンに見立ててラーメンごっこに使っている。

園庭や散歩先の公園などで自然を見たり触れたりして遊んでいる

園庭には桜と梅、ゆずの木があり、桜の花びら集めをして遊んでいる。戸外遊びに適した季節には散歩に良く出かけている。10月には、乳児クラスは週2回程、幼児クラスは週1~2回程散歩に出かけている。近隣の公園では春は桜やたけのこを見て、茂みに隠れてかくれんぼや広場で鬼ごっこをして遊んでいる。園庭や公園でダンゴ虫、蟻、青虫、カマキリなどの虫探しをして触れて遊んでいる。夏にはセミ取りもしている。2歳児は散歩バックを持って出かけて行き、どんぐりや木の葉集めをしている。5歳児はカブト虫やザリガニの飼育をしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>夏祭りのお神輿作りで話し合い、みんなで協力して作り上げる喜びを感じている</p> <p>夏祭りのお神輿作りでは、5歳児の3グループがお神輿の3つの側面の1つにどんな装飾をするか話し合っ作っている。すぐに意見を言う子どもや発言に控えめな子ども、静かに構えて行動する子どもなどいる中で、繰り返し話し合うことで、どの子も意見が言えるようになり、相手の思いを知り、妥協案を考え、相手を説得したりして、グループで決めた花や動物、折り紙などの飾りを付けて3つの側面を作り上げた。残りの1つの側面は全員で考えて、ペットボトルや発泡トレーなどに色付けして飾りをつけ、皆で協力して作り上げたお神輿が出来上がった。</p> <p>運動会では得意な縄跳びを披露し、役割も果たして、やり遂げた喜びを味わっている</p> <p>5歳児では運動会に何をするか子どもたちと相談した結果、春から取り組んでいる縄跳びをすることになり、前跳びや後ろ跳び、片足跳びなど自分の得意な跳び方を観てもらった。運動会に向けて、一人ひとりがもっと跳べるようになりたいと意欲的に縄跳びに取り組む、当日は自信をもって披露していた。その他にも、体操の見本係、初めの言葉係、終わりの言葉の係などの役割も5歳児が担い、張り切って果たすことができたことで、やり遂げた喜びを感じた運動会になっている。</p> <p>行事予定表を年度始めに配布し、子どもたちの取り組んでいる様子を保護者に伝えている</p> <p>年間行事予定表は年度初めに配布している。保護者参加の行事は夏祭りと運動会であり、運動会は3～5歳児参加にして、0～2歳児は自由参加にしている。行事に向けて子どもたちが取り組んでいる様子をクラスだよりや写真を付けた貼り出し日誌などで詳しく伝え、保護者にも楽しみにしてもらえるようにしている。5歳児はみんなで何色にしたいかを話し合っ作った手染めの青色Tシャツを運動会と夏祭りに着用している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕保育は時間により、落ち着いて過ごせるように保育形態を変えて過ごしている</p> <p>朝夕保育は0歳児は0歳児室、1・2歳児は1歳児室、幼児クラスは3歳児室で過ごしているが、次第に人数が増えてくるので、8時頃になると2歳児は2歳児室に、5歳児は5歳児室に移動している。夕方は16時45分頃から4・5歳児はホールで、他のクラスは各クラスで保育している。延長保育になると、延長保育利用児は乳児、幼児それぞれで補食を食べた後、一緒に3歳児室で過ごしている。</p> <p>落ちついて遊べるように少人数で過ごしたり、遊び毎のコーナーを作ったりしている</p> <p>乳児クラスは日中や夕方でもできるだけ2～6人の少人数で、部屋や廊下、サポート室、ホール、ベランダ、事務室などで遊んでいる。事務室にもホッとできるコーナーを作っている。隠れられるような狭い場所も用意している。夕方にはホールでは横に慣れるマット、ボードゲームができる場所、絵本、ブロック遊びなど遊び毎に分かれて遊んでいる。夕方保育・延長保育用の玩具を用意しているが、同じ部屋ですずと遊ぶことになる場合には、気分転換に他の部屋で遊んだりもしている。</p> <p>何時も同じ大人と一緒に安心してゆったりと好きな遊びをして過ごしている</p> <p>現在の延長保育利用児は13～16名程である。延長保育をしている3歳児室では棚を動かして積み木コーナーなどのスペースを作り、独楽回しや折り紙、制作遊びが好きな子ども向けに素材や用具も用意している。色鉛筆を他の部屋から持ち込んだりもしている。乳児には乳児向けの玩具を用意したりしているが、兄弟とままごとをしたり、3歳児室の玩具で遊んだりしている。いつも同じパート職員に入ってもらい、安心してゆったり過ごし、スキンシップを求めてくるような時には大人が抱いて絵本を読んだりもしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

体格に合わせたテーブルや椅子に安定して座り、楽しく給食を食べている
 乳児クラスの保育室では玩具棚や衝立などで食事スペースを仕切り、体格に合わせたテーブルや椅子を用意して安定して座り、いつも決まった席で食べている。幼児クラスでは、楽しく食事できるように、花などを飾る場合もある。5歳児は給食当番が配膳し、4歳児は3時におやつのお皿片づけをしている。時には、テーブルの位置を変えたり、雰囲気を変えてパーティ風にしたりして楽しく食べている。七夕や12月のわくわく劇場、3月のひな祭りなど年5回はホールで会食にして、ワンプレート盛り付けやテーブルバイキングで食べたりしている。

食物アレルギー対応にはアレルギーチェックをし、誤食防止に努めている
 食物アレルギーへの対応は現在、乳、卵、ゴマなどの除去をしているが、主菜が卵で除去不可能の場合には魚を代替で提供し、名前と除去食品を書いたプレートをつけ、ラップをしてトレー配膳している。アレルギー確認は毎年、医師の指示書を提出してもらっている。アレルギーチェックは事前に保護者に献立表を配布してアレルギー食品にチェックを入れてもらい、栄養士が再度チェックして、アレルギー会議で栄養士、看護師、調理、園長・主査が確認し、クラスの献立表にも色ペンでチェックを入れ、食事提供の際には、誤食防止に細心の注意を払っている。

栽培した野菜を収穫して調理してもらい、食材に触れる経験や調理体験をしている
 園庭のプランターに、幼児クラスが種や苗を植えて野菜を栽培している。なす、トマト、きゅうり、いんげん、秋にはラディッシュを育てている。子どもたちが水やりをして生育を観察し、収穫して、調理してもらい食べている。調理や味付けはみんなで決めて、栄養士に保育室で炒めたり、味噌味にしてみたりしている。給食食材の下処理経験として、枝豆やそら豆などのさやむきをしている。栄養士がクラスに持って来てくれて皆と一緒に取り組んでいる。調理活動では梅干し作り、おにぎり作り、保育室でご飯炊きをし、クッキー作りも予定している。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の身体に関心を持ち、怪我や病気から身を守れるように健康教育をしている
 「子どもが自分の身体に関心を持ち、自分を大切に、相手も大切にすることを知らせる」をねらいにして健康教育に取り組んでいる。歯磨き指導、プライベートゾーン、生活リズム、うがい・手洗いなどを指導し、子どもにわかりやすいように、絵や手作り教材などで説明している。保育の中で、安全な遊び方や遊具の扱いなども伝え、保育士は遊具の安全点検をしている。散歩では道路の歩き方、横断歩道の渡り方などを知らせている。「～してはいけない」と知らせるのではなく「～はどうすればいいのかな」と投げかけ、子ども自身で考えるようにしている。

医療機関や療育機関などと連携して対応している

水分補給量を把握する必要がある子どもが在園しているので、毎回排尿量を把握している。通所している療育機関から該当児の園での生活の様子を年1回見に来てくれ、情報交換している。園医は月2回の0歳児健診、年2回の定期健診で来園しているので、園児の健康に関する相談をしてアドバイスをもらっている。薬の預かりは原則的にしていないが、アトピー性皮膚炎や湿疹などの軟膏や慢性疾患などで主治医から、保育園での服用の指示がある場合には与薬申込書を提出してもらって受けている。

保健だよりや保健掲示を通して、感染症などの子どもの健康に関する情報を提供している

毎月発行している保健だよりには、保健行事、感染症情報、蟻虫検査、爪チェック、夏の感染症、食中毒、生活リズムの大切さなど、健康維持に関する情報を掲載して保護者に知らせている。保健掲示コーナーには、感染症情報や保健に関するポスターなどを掲示している。園で感染症が発生した時には、クラスにも掲示して、病名、発生クラス、症状、潜伏期間などの情報を提供して注意喚起している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策として、園における昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の個々の事情には可能な限り柔軟に対応している

保護者の就労や家庭の子育ての事情などは話を聴き、可能な限り、柔軟な対応をしている。急な残業などで迎えが遅くなる場合にはスポット延長保育を利用してもらっている。保護者や家族が体調を崩した、引越作業で子どもの育児ができない、学校行事に参加する、受診の為に遅れて登園するなどは受けている。習い事などのための早退も受けている。決めている人以外の人が迎えの場合には連絡をもらい受けるが、慣れていない人の迎えの場合には手伝うなどの配慮をしている。

日中の子どもの姿や保育の様子を保護者と共有できるように工夫して伝えている

日中の子どもの様子や成長の姿などを送迎時に口頭で伝えたり、個人面談、写真掲示、クラスだより、連絡帳、貼り出し日誌などで伝えている。保護者会や宮前ギャラリーでも、映像や写真などで観てもらおうなどしている。これらを通して、子どもの年齢発達や育児について保護者との共通認識を図っている。宮前ギャラリーは17時～19時30分にホールの壁全面に子ども達の活動の写真を掲示して、迎えの時間に保護者に見てもらっている。

園の活動を知ってもらえるように保育参観・参加してもらっている

保育参観・参加はいつでも受けているが、期間を決めて実施している個人面談と同日にして人もいる。ほとんどの家庭に参観・参加してもらい、給食の試食もしてもらっている。保育参加は子どもと一緒に遊んでもらう方法にして、年齢に関係なく受けている。参観は普段の子どもの様子を見てもらえるように、子どもに見えないようにしてベランダや隠れて穴から見てもらっている。参観・参加をもらう時間は保護者の都合に合わせて、終了後にはアンケートをお願いしている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の保育園や農家の方、図書館、福祉施設と交流し、さまざまな経験をしている</p> <p>近隣の認可保育園と5歳児が交流して、園庭で一緒に遊んでいる。地域の農家の方の畑でじゃが芋掘りを体験している。地域の図書館に絵本を借りに行き、公共施設の利用の仕方やルールを学ぶ機会になっている。区の障害者施設の利用者と年2回交流している。5歳児が人形劇を見せてもらいに行ったり、園の夏祭りの時には施設までお神輿を担いで行き、利用者や職員にも見てもらい声援をもらっている。</p> <p>地域の小学校との交流や伝統芸能保存会の方やボランティアを受けている</p> <p>地域の小学校の秋まつりに参加して、5歳児が神輿を担いでいるので、区の障害者施設の利用者が応援に来てくれている。地域の伝統芸能保存会の方が毎年1月に来園して神楽と獅子舞を見せてくれている。お話し会のボランティアが月1回5歳児を対象に11時から30分間程度、絵本を読んだり素話をしてくれている。</p> <p>併設の子育てサポートセンター事業に園の主査や専門職が関わっている</p> <p>地域子育て支援事業として、園庭開放を月～金曜日9時から実施しているが利用者は少ない。当園に併設の子育てサポートセンター事業、遊イングに参加した後で、園庭で遊ぶ親子の姿は見られる。遊イングは月1回10～11時に保育園のホールで身体測定した後、ミニ講座を開いたり手作り玩具やふれあい遊びなどで親子で遊んでもらっている。遊イングには、当園の園長、主査、看護師、栄養士が関わっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	振り返りノートに子どもとの会話などの実践事例を記録して、実践討議をしている	
内容①	月1回の夕方から実施している職員会議では、職員一人ひとりが振り返りノートに記録した実践事例を持ち寄り、報告して、保育の実践討議をしている。振り返りノートには、自分が関わったり、目撃したりした子ども同士の会話ややり取り、子どもと保育士のやり取りなどを記録している。討議の中で子どもを主体にして考察している。グループの討議の中の1つの実践に着目して討議を深めることで、子どもの思いに気づいたり自分の保育の振り返りに役立っている。実践討議を通して保育士だけでなく職員全体で子どもの育ちを共有することができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	宮前ギャラリーを年2回開催して保育園の活動を写真や映像を通して見てもらっている	
内容②	宮前ギャラリーは年2回、17時～19時30分にホールで実施し、テーマを決め、それに合わせて0～5歳児の姿を成長が分かるように、壁全面に写真を掲示している。前半は生活を後半は遊びをテーマにしている。今年の1回目は0～5歳児の食育の取り組みを3日間掲示している。内容は、離乳食段階から幼児食への食の変遷、0・1・2歳児の食事の様子、4歳児クラスのそら豆のさやむきの様子、箸の持ち方の指導、5歳児の梅干し作りの様子は映像で見てもらっている。保護者には麦茶を飲んでもらい、お箸でつまむゲームにも参加してもらっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル③	一人ひとりの思いを大切にするために、子どもがホッと一人になる場所作りをしている	
内容③	保育方針の中に、「子どもの気持ちを尊重し、子どもの立場に立って日々の保育を行う」を掲げ、子どもの意思を尊重する保育をしている。保育園は集団での生活を経験する場であるが、一人ひとりの子どもの思いも大切にすることから、事務室にホッとできるコーナーを作ったり、保育室内に一人でいられるような狭い場所も用意している。4歳児は小さな座布団に一人ひとりの名前を書いて自分の物を使っている。夕方保育の時間などは、玩具棚や衝立を移動させるなどして狭いスペースを用意し、積み木コーナーにしたりしている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	主体的に遊べる園庭環境作りに取り組み、子どもたちがイメージを広げてじっくり遊んでいる
	内容	園庭には、固定遊具の他に、マルチパーツ、板、バスマット、砂遊び遊具、テーブル、いす、たらい、縄、ボール、タイヤ、丸太、ビールケース、フープなどの可動遊具を用意している。子どもの園庭遊びの様子から、可動遊具の置き場を考えて移動させ、子どもがイメージを広げてじっくり遊び、充実するように工夫している。タイヤを片づけなくてよいことにしたことで、遊んだ後のタイヤが次にやって来た子どもたちの乗り物やお家、線路などに変わり、大小のテーブルを用意したことで、子どもたちは自分が使いたい場所に運んで使い、遊びが広がっている。
2	タイトル	園庭の梅を収穫して、子どもたちも協力して梅干し作りをしている
	内容	園庭の梅を収穫して11kgの梅で5歳児が梅干し作りをしている。梅のヘタを爪楊枝で一つひとつ丁寧に根気強く取り、終るとみんなで交代に一つひとつきれいに水洗いして、洗った梅をトレーでテラスに運び、バスタオルの上で乾かしている。乾いた梅を10こずつ数えてジッパー付きのビニール袋に入れ、塩をすりきり一杯入れてまぶし、袋の空気抜きをしているが、子どもたちは緊張しながら一つひとつ丁寧に作業をこなしている。その後、栄養士が梅干しに仕上げた後、秋には5歳児室でガラスの鍋でお米を炊いた時に、梅干しご飯にして食べている。
3	タイトル	保育室に出向き、子どもの目の前で収穫野菜を調理して、提供している
	内容	園庭のプランターで、なす、トマト、きゅうりなどの野菜を栽培し、子どもたちが水やりをしながら生育を観察し、収穫野菜を調理室に届けて調理してもらっている。時には栄養士が保育室で出張調理をして、子どもの目の前で切ったり炒めたりし、子どもの希望に合わせて味付けして提供している。また、あまり果物が得意ではない子どもが多いクラスには、デザート系の果物を飾り切りにして提供し、柑橘類の皮で恐竜を作って見せている。子どもたちが食べ物への関心を高め、食事することが楽しいと思えるように配慮している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に地域のさまざまな人と関われるように、世代間交流などの機会を設けることを期待する
	内容	近隣の認可保育園と5歳児が交流し、区の障害者施設の利用者と年2回交流している。地域の小学校の秋祭りに参加し他の園と一緒に神輿を担いだりしている。併設の子育てサポートセンター事業(月1回実施)の参加親子が園庭で遊んだりしている。これまで以上に、地域のさまざまな人たちと関わり、経験の幅を広げられるように、世代間交流などの機会を設けることを期待する。
2	タイトル	「ヒヤリハット」を記録に残し、職員の危機意識の向上につなげていくことを期待する
	内容	前年度は、「ヒヤリハット」の用紙を活用し、ヒヤリハットした内容・改善点について記載していた。しかし、今年度、ヒヤリハット報告書の記載はなかった。軽微な危険を感じたり、発見したときは、口頭で情報共有している。今後は、ヒヤリハットを記録に残し、要因分析し、事故未然防止に役立たせていくと共に、職員の危機意識の向上につなげていくことを期待する。
3	タイトル	「子どもの人権擁護」について、職員個々が自らの保育を振り返る機会を設けることを期待する
	内容	利用者調査では、職員の言葉遣いや態度などに関して、回答者の90%が満足と返答しており、非常に高い満足を得ていた。「保育に関する手引書」に、保護者対応・プライバシー保護・虐待対応について簡潔に明記している。今後は、チェックリストなどを活用し、「子どもを尊重する」や「子どもの人権擁護」について、職員個々が自らの保育を振り返り、自己の言動を見つめ直す機会を設けることも期待する。

5. 久我山東保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児93名の保護者80世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	93
利用者家族総数(世帯)	80
共通評価項目による調査対象者数	80
共通評価項目による調査の有効回答者数	64
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」2名(3%)、「母」41名(64%)、「父母一緒に」10名(16%)、無記入11名(17%)。

・総合的な感想は「大変満足」37名(57%)、「満足」21名(33%)、「どちらともいえない」2名(3%)、「不満」1名(2%)、無記入3名(5%)であった。「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の90%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。

・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心を持った活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装など」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。

・総合的な感想では、「先生方もとても面倒見が良く、パート職員も親身にみている」「子どもの成長に合った保育をしている」「園庭には桜の木や花が植えられており、食育の一環として、とうもろこしやさつまいもなどを育てて収穫するなど、生活経験を育ててくれている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	63	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「毎日、子どもの成長に合わせた工夫のある遊びをしている」「折り紙やぬり絵など子どもの発達に合わせている」「給食の時間にひざをしっかりと付けて椅子に座る際に“ひざピタチェック”と言いながら楽しく、寝もしてくれて、とても参考になる」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	62	2	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「それぞれが興味を持ったものを自由に取り組んでいる」「手づくりのおもちゃや異学年の交流など工夫してくれている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	61	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「食事の進捗(離乳食)に不安があったが細かくアドバイスをしてくれて、今では沢山食べられるようになった」「いつも子どもの食べやすい大きさに切られて、味付けもちょうど良い。子どもに“これ作って”と言われる」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	60	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園庭に広さがあり、沢山外で遊べる」「植物や昆虫が沢山いるので、とても良い」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	52	7	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「柔軟に対応してくれている」「急に連絡して延長保育にしてもらっても、嫌な顔をされることなく、快く引き受けてもらい、とても助かる」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	51	12	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「工事や対策などに常に気にかけてくれている」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	17	5	0
「はい」と返答した方々は回答者の66%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」7%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「仕事のため参加できない」、「いいえ」と返答された方からは「保護者会や面談は日中からあり、参加しづらい。16時などからの開始にしてほしい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	56	6	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、家庭と保育所との信頼に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもの性格をよく理解してくれていて、子どものちょっとした変化もみている」「信頼して相談している」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	54	9	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「いつも清掃の方々がきれいに掃除してくれている」「清潔感があり、素晴らしい」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	62	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「基本的に何も問題ないが、たまにため口をきかれるときは違和感がある」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	57	5	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「こまめに体温チェックをしてくれる」「けがの際に病院へ連れ添ってくれ、気を遣ってくれた」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	48	6	2	8
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「ケンカしたとき、両者の親にきちんと経緯を教えてくれる。それだけでそのときの子どもの気持ちを理解し、親も納得できる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	62	1	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもの様子でいつもと少しでも違うところがあると、親に声をかけてくれるので安心して任せられる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	9	2	4
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	57	5	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「子どもの様子を詳しく、時にはユーモアに伝えてくれるのでこちらも嬉しくなる」「クラスのプリントの量は多いので、担任が熱心なことは伝わる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	47	8	2	7
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	22	14	6	22
「はい」と返答した方々は回答者の34%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」9%、非該当34%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	年度初めの職員会議で、園目標などについて確認し合っている 事務室内に児童憲章・園目標を掲示している。年度初めの職員会議で、園目標やキャッチフレーズ(笑い9:涙1 笑いあふれる久我山東保育園)について確認し合い、共通認識を以て取り組んでいけるよう努めている。あわせて、職員個々の新年度にあたっての思いを出し合い、互いの理解を深めている。保護者に対しては、入園説明会や年度初めに「重要なお知らせ」「園のしおり」を使って園目標や保育で大切にしたいことを伝え、その理解の浸透を図っている。 園長・主査・保育向上リーダーが中心となり、より良い保育に取り組んでいる 園長、主査の役割について話し合い、書面化している。「園の役割分担表」を作成し、園長・主査の役割を明記している。園長・主査は、情報を常にキャッチする努力をし、知りえた情報は職員にタイムリーに伝え、職員が自ら主体的に自分たちの事として受け止められるようにしている。また、園長・主査に加え、保育向上リーダーを配置し、保育の質向上に取り組んでいる。保育向上リーダーは、保育課主催の「保育の向上を考えるリーダー会議」などに参加し、他園の取り組みも参考にしながら、園長・主査と共により良い保育に取り組んでいる。 園内問題課題について、昼の打合せや職員会議などで協議している 毎日のミーティング、週1回の昼の打ち合わせ、月1～2回の職員会議、随時の乳児打ち合わせや幼児打ち合わせ、月1回の献立会議、月末のアレルギー会議などで、各課題について情報交換・情報共有している。保育環境、保育向上、危機管理のプロジェクトを設け、随時、課題解決に向け協議している。これらの会議に欠席した人には、議事録を見て確認するようにしている。	
	カテゴリ2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリ1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
------------------	-------------------	-----

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

保護者・職員などの希望を園運営に反映している
夏祭り・運動会などの行事実施後、保護者に用紙を配布し、感想を記載してもらい、利用者の意向を把握し、次回に活かしている。また、アンケート実施後、集約したものを保護者にフィードバックしている。子育て支援事業の参加者にアンケートを実施し、地域の子育てニーズを把握している。職員からの提案に関しては、目標申告シートの提出や面談時に聴き取りし、園運営への意向を把握している。また、各プロジェクトでの話し合いの結果を園運営に反映している。

地域の関係機関と情報交換し、保育を取り巻く状況を把握している
地域子育てネットワーク、地域行政連絡会、地域教育連絡協議会などに参加し、必要な情報を伝えたり、協力し合える関係作りに努めている。地域連携が良好で、幼保小の連携も行われており、小学校と合同で避難訓練を行っている。区人材育成課主催の「区政の現状と課題」に職員を派遣し、区政を取り巻く社会経済状況や杉並区の現況について情報収集している。また、社会情勢や、保育を取り巻く状況を把握し、地域のニーズに応じて保育環境を検討、策定している。

園の目標を定め、半期ごとに反省・評価を行っている
区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、年度初めに「係の目標シート」を策定し、目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、目標達成に向けて取り組んでいる。計画策定後、半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評			
新任職員に対して、「新任研修」などに派遣し、果たすべく役割について学んでいる 新規職員は、区人材育成課主催の「新任研修」に参加し、公務員倫理や区職員として必要なビジネスマナー、公務員としてのあり方や果たすべく役割について学んでいる。非常勤職員は、区人材育成課主催の「非常勤職員研修」に参加し、個人情報保護や情報セキュリティなどについて学び、地方自治体の一員であることを再認識している。また、パート職員に対しては、園長が「区立保育園等で働くにあたって」の書面を使って、「正しい言葉、具体的で丁寧な言葉で伝える」などについて教育指導している。			
意見箱を置き、いつでも誰でも意見・苦情を表明できる機会を設けている。			

意見箱(ほっとホットボックス)を置き、いつでも誰でも意見・苦情を表明できる機会を設けている。今年度、投函実績はなかった。杉並区保健福祉サービス苦情調整委員制度を紹介するポスターを園内に掲示したり、入園説明会で、「久我山東保育園のご利用にあたって一重要なお知らせ」を保護者に配布し、苦情・要望等の相談窓口について周知している。保護者からの苦情・意見・相談は、直接口頭や連絡帳、電話相談などで寄せられ、職員間で共有し、対応策について話し合っている。

地域の私立園等の職員が研修に参加するなど、地域貢献に取り組んでいる

地域の在宅での子育て中の親子を対象とした園庭開放を実施し、地域の子育て拠点としての役割を果たそうとしている。ボランティア・実習生の受け入れにあたっては、事前にオリエンテーションを行い、園が大切にしていることや、心がけて欲しいことを伝えている。ボランティアセンターからの紹介の高校生・大学生の夏ボラや中学生の職業体験を受け入れている。また、地域の私立保育園や認可外保育施設の職員が来園し、園内見学、交流をして、人材育成について学び、嘔吐物処理方法や救急救命、リズムについての研修にも参加している。

カテゴリ4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ4の講評

区保育課主催の研修に派遣し、事故対策や感染対策について学んでいる

「嘔吐時の職員対応マニュアル」を作成し、迅速に適切な処理ができるようにしている。区保育課主催研修「ノロウイルス感染症の予防・対策」「ノロウイルスの基礎知識と対応」に職員を派遣し、感染症や感染対策について学んでいる。また、区保育課主催研修「保育の中の危機管理 ～保育施設における事故予防～」に職員を派遣し、事故対策について学んでいる。事故報告やヒヤリハット報告は、必ず昼のミーティングで共有し、各クラスで話し合い、共有し、事故未然防止・再発防止に取り組んでいる。

避難訓練計画(月1回)や防犯訓練(年8回)を実施し、安全性を確保している

「避難訓練計画表」を作成し、自衛防災組織を設置し、月1回、朝・夕保育中、延長保育中、散歩中などのさまざまな場面を想定した避難訓練を行っている。9月の総合避難訓練では、消防署と連携し、訓練の評価をもらっている。地震想定での避難では、防災頭巾を被る訓練を各クラスで行っている。11月頃、近くの小学校・子供園と合同避難訓練を実施している。また、「防犯訓練計画表」を作成し、年8回、防犯訓練も行ない、子どもの安全確保に取り組んでいる。

区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている。また、区で定めた文書保管期間に基づき、文書の保管・廃棄を行っている。パソコンは必ず、鍵のかかる棚の中で保管し、情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。「児童票持ち出し表」「カメラ、SD 持ち出し表」に、持ち出し日・持ち出し者・返却日・返却者を記録し、紛失・漏洩のないようにするなど、個人情報の取り扱いでは、危機管理意識を持ち、紛失・漏洩のないよう慎重に行っている。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

12/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

クラス担当を決める際、職員個々の希望を把握し、本人納得のうえ決めている

年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際、1歳児クラスは持ち上がりの保育士1名を置くなどの基本方針を決めている。それを踏まえ、職員個々にアンケートを行ない、希望を把握し、全体のバランスを考え、希望が叶えない場合は、個人面談をし、本人納得のうえ決めている。

保育課主催研修には、該当者を研修派遣している

職員育成は、区保育課・人材育成課主催の研修や園内研修、外部研修、OJT、自己啓発などで行っている。区人事課主催研修では、在職年数に応じた研修を随時行い、保育課主催研修ではキャリアアップに必要な実務研修を実施している。研修案内が届いたら、該当者に勧めている。新任職員から入職後3年目までの職員に対し、育成担当者を設置し、計画的に必要な知識・スキルを習得できるようにしている。また、同じチームの一員として、職場全体で育てていく体制を整えている。

職員個々の思いや得意なことが発揮され、意欲につながるようサポートしている

有給休暇の取得を奨励し、時間単位でも取得できるようにしている。夏休み休暇は職員全員が確実に取得している。保育の中でウクレレを弾くなど、職員個々の得意なことが発揮でき、意欲につながるようサポートしている。また、職員会議の最後に、楽譜を用意し、必ず歌を1曲歌っている。歌を歌うことで、皆の気持ちを一つにし、気持ちを前向きに換え、園運営に自発的に取り組んでもらうことを目指している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「三つの長期プロジェクトを設け、全職員が意識をもって主体的に関わっていく」ことを重要課題に掲げた。
 ・上記の目標達成に向け、①保育向上、②危機管理、③保育環境の3つのプロジェクトを設けた。
 ・保育向上プロジェクトでは、保育の向上リーダーを中心に保育向上、専門性を高めることを目指し、会議の充実、園内研修、園内勉強会(リズム・わらべ歌・積み木)を重ね、保育の向上、子どもの発達をとらえ理解を深めた。危機管理プロジェクトでは、計画的に防災、防犯訓練を行い、安全点検を行った。他園や園内のヒヤリハットの検証を行い、危機管理の意識を高めた。園内備蓄物品・防災用品を整備した。保育環境プロジェクトでは、園庭、室内、倉庫等担当を決め定期的に保育環境の整備を行った。
 ・子どもたちを中心に利用者、職員が心地よく過ごせ”共に育つ保育園”を目指し、今年度も三つのプロジェクトを中心に全職員が計画的に取り組んでいる。

目標の設定と取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、保育向上プロジェクトでは、事例討議、指導計画、打ち合わせの充実、リズム遊びなどの研修を重ねた。また、危機管理プロジェクトでは、ヒヤリハットをミーティングなどで情報共有した。1年間を通して、さまざまな防犯訓練を実施した。電車遅滞や災害時など保護者のお迎えが遅くなるときの対応方法を確認したり、散歩先での危険物の情報共有を行った。さらに、保育環境プロジェクトでは、心地よく過ごせる保育環境の整備を目的に、各クラスの遊具の写真を撮り、ファイル化したり、朝夕保育の遊具の点検に取り組んだ。また、収納場所の表示などの倉庫の整理を行なった。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「職員一人ひとりを認め合い、主体的に職務に向きあえるような職場の風土作り」を重要課題に掲げた。
 ・上記の目標達成に向け、職員が安心して自分の思いを伝えたり、実践ができるようお互いを認め合える場を設けた。また、正規職員だけではなくパート、嘱託職員にもヒヤリングを行ったり、日々の中で伝えあい、同じ働く仲間としてコミュニケーションを深めた。
 ・上記の取り組み結果、パート、アルバイト、派遣含めた全職員で困難、アクシデントが起こったときに職員全員で力、知恵を出し合い、解決に取り組んだ。
 ・年齢、職種、形態の様々な職員集団の中、互いに認め合い、話し合い、協力し育ち合う土台はできている。さらに、互いの気づきを出し合い、保育の振り返りを重ねチーム力を高めていくことに取り組んでいる。また、前年度の反省を基に今年度も計画的に園内研修、勉強会を進めている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、8月大雨の影響で大規模な浸水事故が起こり、1か月間保育室が3部屋、廊下の一部が使用できなくなった。その状況の中で、職員が子ども達の気持ちの安定を第一と考え、連日、話し合い、保育環境を工夫し、整え、乗り切ることができた。また、日頃の保護者との関係性の積み重ねや、丁寧に伝えることによって保護者の温かな理解を得られた。この体験がさらにチーム力を上げていった。
 ・保育・チームワークの向上に向けて、パート、アルバイト職員とのヒヤリングの時間をもち、日々のコミュニケーションを図った。その際、担任の思いを伝え、保育の向上につなげた。職員会議では、保育の向上リーダーを中心に、リズム・積み木・事例検討など意見交換を活発に行うことができた。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリー1の講評		
<p>区のホームページや広報紙、情報冊子、園の地域向け掲示板などで情報提供している</p> <p>区の発行する広報紙や保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」、区のホームページなどで情報提供している。ホームページの施設案内には、外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真、キャッチフレーズ「笑い9:涙1 わらいあふれる久我山東保育園」などが掲載されている。地域向けの掲示板には、区のポスターやお知らせ、行事のポスターなどを掲示している。</p> <p>区立直営園であり、所管課や地域の関係機関と情報交換して連携している</p> <p>区立直営園であり、区の所管課には、月報を始め、延長保育や子育て支援事業、施設管理関係などのさまざまな報告をして連携している。地域懇談会や地域連絡会、高井戸地域ネットワーク、久我山地域ネットワークに参加して、情報交換している。小学校区域の行政ネットワーク、中学校区地域教育連絡会議にも参加して、町会や青少年委員、児童委員などにも園の情報を提供している。10月末頃、地域の小学校の校庭で地域ネットワーク主催の秋祭りが開かれているが、当保育園も実行委員会に参加して、当日は乳幼児係を担っている。</p> <p>園見学も園庭開放も随時受け、見学者には園の概要を配布して見学してもらっている</p> <p>施設の見学希望や園庭開放を随時受けている。見学は園長または主査が担当して、見学者用の概要を配布して、園舎内外を見てもらいながら、保育目標やキャッチフレーズ、保育の特色として、園庭が広く、0歳児から5歳児までの子どもと一緒に育ち合っている園であるなどを伝え、調理室もガラス越しに見てもらっている。希望される人には随時、園庭開放や育児相談、身体測定など受けている。</p>		
サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園時には面接や入園説明会で、重要事項や基本的なルールについて説明している</p> <p>4月入園の内定者に2月下旬から健康診断と面接を実施し、「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などの提出してもらった書類を基に、家庭の事情や就労状況などを聴き取り、保育時間を決め、準備して貰う物を説明している。3月下旬に実施している入園説明会では、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「久我山東保育園のしおり」を基に、園の概要や保育目標、園からのお知らせ、緊急時の対応、安全管理、個人情報保護、健康管理などを説明している。年度当初の保護者会でも、園からのお願いや写真ビデオの取り扱いについて説明している。</p> <p>入園初日は子どもと一緒に過ごしてもらい2日目からは個別の状況に柔軟に対応している</p> <p>入園当初の保育について入園説明会の時に説明し、保護者の状況や意向を聴いている。初日は子どもと一緒に食事まで過ごしてもらい、園は楽しい所と思えるようにしたいと伝え、0歳児クラスでは保護者同士自己紹介をしている。2日目からは保護者の就労状況や子どもの状況により個別に進めている。0歳児は緩やかな担当制にして、子どもや保護者との信頼関係を築いている。乳児は病気になりやすい年齢でもあり、協力体制をとることや医療機関情報を収集することなどをアドバイスし、不安なことは何でも相談してくださいと伝えている。</p> <p>卒園や転園、退園などに際し、不安が軽減されるように配慮している</p> <p>卒園児には就学先の小学校に保育所児童保育要録を送付している。区内の公立保育園への転園の場合には児童票(写)や健康カードを送付している。引越などで退園の場合にはクラスでお別れ会を開き、最後の日には、他のクラスもまわってお別れをしている。子どもの絵や作品がある場合には渡ししている。保護者には、新しい育児環境に不安はないかなど話を聴き、「行事の時や近くに来た時など、いつでも遊びに来てください」と伝えている。</p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◎あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して、保育日誌や保健日誌、児童票などに記録している

入園時には園医による健康診断で発育や健康状態を把握し、子どもの心身の発達や成育歴、入園までの生活状況などを保育士等の専門職が面接して児童票に記載している。入園後は、毎月の子供測定や0歳児健診、年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果などを健康管理票や健康カードに記入している。乳児クラスでは家庭での睡眠や食事、排泄、体温などの情報を連絡帳に記入してもらい、幼児クラスでは体調などを口頭で収集して保育をし、保育日誌や保健日誌に記録し、保育経過記録などを児童票に記入している。

月間指導計画は子どもの様子やクラスの状況を話し合い、翌月の計画を作成している

月間指導計画(月案)は、クラス担任間で子どもの様子やクラスの状況を振り返り、年間指導計画を基にして翌月のねらいと具体的な活動内容を設定している。乳児クラスでは毎月個別の子どもの姿とねらい・配慮を作成している。各クラスの指導計画は職員全員に配布して事前に読んでから月2回のカリキュラム会議で検討し、クラスで気になることや迷っていることなどを協議している。春の保護者では、年間指導計画を配布してクラス目標を説明し、幼児クラスでは週の活動予定も貼り出し日誌と共に保護者に示している。

園運営や子どもに関する情報共有のために、さまざまな会議を開催している

年間9回実施の職員会議では、年間指導計画や事例検討、前期反省、年間反省、園の課題などを話し合い、週1回定例打ち合せでは、園長会報告や行事検討・反省、研修報告などを行っている。毎日14時45分から、園長・主査、看護師、栄養士、クラス代表者が参加してミーティングを実施し、午前中の保育や子どもに関する連絡、職員体制、アレルギー確認、連絡事項、延長児の確認などをして、記録用紙に記録している。その他にも、幼児・乳児打ち合わせ、カリキュラム会議などの会議を実施して、情報共有をしている。

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報保護を徹底し、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会において、区の個人情報保護の考え方を伝え、写真や動画の取り扱いについての考え方を書面で示し、説明している。児童票などは施錠できる棚に保管して個人情報保護を徹底しているが、外部に提供する必要がある場合には、所管課に相談し保護者の同意を得て行うことにしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、水遊び、プール遊び、シャワー時には目隠しを設置し、おむつ交換も衝立などで配慮している。幼児には看護師からも自分の身体を大切にすることやプライベートゾーンの話をし、着替える時には脱いだ方から着るように伝えている。</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちに寄り添う保育をしている</p> <p>子どもの行動には意味があるという思いで、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育している。子どもが自分で感情のコントロールが出来ないような時には、メロン室(特別支援室)で、落ち着いてからみんなのところに帰るようにしている。子どもの誕生日のお祝いは、誕生日当日にして、写真付きのおめでとう掲示をイーゼルに飾っている。誕生バッジを付けて、みんなからお祝いの言葉を掛けてもらっている。5歳児には誕生日プレートの給食を提供している。また、子どもの名前を呼ぶ時にはあだ名では呼ばず「～さん、～くん」と呼んでいる。</p> <p>子ども家庭支援センター主催の研修に参加して学び、虐待の早期発見に努めている</p> <p>「児童虐待対応マニュアル」に沿って対応している。保育士は子どもの言動や身体状況に気を配り、虐待の早期発見に努めている。気になる場合には速やかに園長に報告し、記録を取り職員間で情報共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターなどに報告して、連携して対応することになっている。子ども家庭支援センター主催の研修、「ペアレント・トレーニング講座」に職員が参加して研修報告をしている。地域懇談会の中で、子ども家庭支援センターの話も聞いている。</p>			
サブカテゴリ-6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>区立園共通のマニュアルを整備し、園独自の「久我山東保育園諸計画」を作成している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区保育実践方針」「危機管理マニュアル」を整備している。園独自には「久我山東保育園諸計画」を作成して、業務の基準や手順などのマニュアル類を綴じている。内容は、防災訓練、災害の場合のお迎えについて、危機管理に関する確認事項、朝夕・土曜日の保育室について、当番の仕事、パート職員の仕事内容などである。「園の諸計画」はクラスに1部置いて、何時でも確認することができるようにし、異動者と新任職員には配布している。</p> <p>園独自の諸計画は年度末に確認しているが、随時、見直しが必要な場合には変更している</p> <p>園独自のマニュアル「園の諸計画」は年度末に全員で確認し、見直しをして作成している。業務の手順と違ってきていることに気づいた時や、状況変化により変更する必要が生じた時には、半期反省や随時に見直している。パートの仕事状況などは、子どもの人数が増える、子どもの成長、パートの入れ替わりなどによる仕事の引き継ぎなど、その都度、クラス担任や気づいた職員が提案して、パート対応係に伝え、変更している。</p> <p>保護者や職員から寄せられる意見などは検討し、取り入れて業務の向上に生かしている</p> <p>異動者から、プール時のお尻洗いのお湯溜めに使うバケツが危険ではないかとの意見が出たことで検討し、安全なものに替えた。暗くなると門の防犯用のチェーンキーの数字が見えにくくなっているという意見をもらい、すぐに取り換えた。カリキュラム会議の中で、パンツ式の紙オムツの交換の仕方について検討し、園としてパンツと同様の着脱法で取り換えることにした。行事の夏祭りや運動会終了後にはアンケートを取り、意見や要望は検討して可能な限り生かすようにしている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ-4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもたちが自分で遊びたいものを使って遊べるように玩具や遊具の整備をしている</p> <p>園庭には、小さな木の家やジャングルジム、砂場があり、タイヤやコンテナ、バスマットなどの可動遊具を用意している。保育環境プロジェクトが園庭の整備、遊具の入れ替え、砂の入れ替えなどをして、子どもたちが安心して自分の遊びたいもので遊べるようにし、遊びの様子を見ながら、水のコーナーを用意したり、砂場遊びの素材を置くなどしている。室内では子どもの年齢発達や興味に合わせて、ままごとや絵本、積み木遊び、手先遊びなどのコーナーを用意し、子どもの制作活動用に素材を集めて、いつでも使えるようにしている。</p> <p>異年齢交流として、昼寝後に歌やリズムを、雨天の日には「どこでもお部屋」をしている</p> <p>幼児クラスでは、昼寝の後の3時過ぎからおやつ前まで、みんなで一緒にホールで今月の歌やリズム遊びをしたりしている。雨の日には、「どこでもお部屋」をして異年齢交流活動をしている。幼児の3保育室に制作、リズム、積み木などのコーナーを設定して、3・4・5歳が自分の好きな場所で遊んでいる。時には、2歳児も入ってきて一緒に遊んでいる。</p> <p>特別な配慮が必要な子どもが、他の子どもと一緒に過ごせるように援助している</p> <p>特別な配慮が必要な子どもに対して、保育士は、その子の特性に合わせて必要な個別の声かけや援助している。クラスの他の子どもたちも大人の声のかけ方や援助の様子を見ていて、同じように、その子どもが困っている時や着替えの時などに、手伝おうとしてくれる。戸外に行く時にも「お庭に行くよ」と声を掛けて誘ってくれるなど、クラスの仲間という関係ができていく。運動会では、みんなと一緒にかけっこを走り、組体操にも取り組むことができた。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている

登園時には、挨拶をして子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの体調を確認している。前日に休んでいたり、園で体調を崩し気味だったり、怪我をしたりした時には家庭での様子を詳しく聴いている。朝当番保育士が受け入れる場合には、朝タノートに連絡事項などを書き、担任に口頭でも引き継いでいる。乳児クラスは、連絡帳を使用して家庭での睡眠や食事、排便、体温、子どもの様子などを記入してもらい、子どもの生活の連続性に配慮して保育をしている。朝タノートは夕方の連絡事項にも使用している。

保護者と協力しながら、食事や排泄などの子どもの生活習慣が身に付くようにしている

基本的な生活習慣が身に付くように、保護者会や個人面談などで子どもの発達状態を伝えながら、個別に進めている。離乳食は区で作成した「離乳食のすすめ方」を配布して、一人ひとりの子どもの状況に合わせ、家庭の状況も聴きながら進めている。箸の導入は4歳の春の保護者会で伝え、後半から個々に導入している。遊びの中に箸の持ち方を取り入れ、栄養士が子どもに箸の正しい持ち方を知らせたりしている。おむつ外しは子どもの排尿の間隔が空き、トイレに興味を示すようになるなどの園での様子を伝えて、保護者の意向を聴いて進めている。

降園時には迎えの保護者に子どもの様子を一人ひとりに伝えている

迎えの際には、日中の子どもの様子を保護者に伝えている。担任が会える場合には担任が伝え、会えない場合には連絡事項などを朝タノートに記入して、当番保育士に口頭でも引き継ぎ、一人ひとりに伝えている。当番保育士は自分が見ている時の子どものエピソードなども伝えている。担任が直接伝える必要がある場合には、保護者の迎えを待って伝えている。怪我等で受診した時には、園長・看護師も残って園の対応や受診時の状況等を伝えている。乳児クラスは連絡帳を使用し、幼児でも必要な子どもには連絡帳を使用している。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが遊びたいものでじっくり遊んだり、継続して遊んだりできるようにしている

毎日の生活リズムを整え、子どもが気持ちを切り替えて活動に向かうためには時間が必要と考えているため、朝は9時までの登園をお願いしている。園庭には8時30分頃、支度が済んでからすぐに出て遊んでいる。時には、9時30分など早目に散歩に出るなどもしている。子どもが自分で遊びたいものでじっくり遊べるようにし、ひと遊びしてからその日の予定の行事や課題活動などに入っている。室内では、床に広げたり構成したりして遊ぶ木製積み木などのコーナーを用意し、継続して遊べるように置いておくようにし、週末に片付けることにしている。

作ったり、なり切ったりしてお化け屋敷やお店屋ごっこなどで遊んでいる

作ったり、なり切って遊んだりすることが好きな子どもたちは楽しいことを考えて、ごっこ遊びをしている。4歳児では、お化け屋敷をしたいということになり、保育室に新聞紙でルートを作り、お化け屋敷ごっこを楽しんだ。みんなで相談して、三つ目小僧やかぼちゃお化け、幽霊、こうもりなどを登場させ、物陰に隠れて「わっ」と驚かしたり、「そお～」と驚かしたりして、お化けや客になり数日間楽しんでた。5歳児は、お店屋ごっこをして、アイスクリームやバッグなどの手作りした商品を並べて、レストランやお店屋になって遊んでいた。

公園や遊歩道などに散歩に出かけ、季節の植物や小動物を見たり触れたりして遊んでいる

戸外遊びに適した季節には、乳児はほとんど毎日散歩に行き、幼児は週2～3回出かけている。園周辺には児童遊園や公園などがたくさんあり、遊歩道では手を離して探索しながら歩き、犬や猫に出会い、電車の見える遊び場では、思いっきり走り回り、蟻やてんとう虫、蝶、バナナ虫などの昆虫探しをしている。アスレチックがある公園や広い芝生の公園もあり、季節の花や木々の変化も目にしながらどんぐり拾いなどもしている。川沿いの道ではヘビやカエル、イモリ、ザリガニ、カモなども見ることができる。カブトムシやイモリなどを飼育している。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

日常の活動の積み重ねを基にして、継承されている物を取り入れた行事にしている

行事は日常の活動の積み重ねを基に、行事を通して次へのステップや自信になるように取り組んでいる。5歳児は集団での活動を楽しみ、一人ひとりが達成感を味わえる、4歳児は憧れる気持ちを大切にしながらみんなで楽しさを味わう等をねらいに、取り組んでいる。年長組になり頑張りたいことを尋ねられると、憧れていた前年の年長組を思い出して、夏祭りにソーラン節を踊りたい、お神輿をつくりたいなどと声上がる。年下の子どもは「年長組になったら」と憧れのまなざしで見守り、継承されているソーラン節やお神輿などを行事に取り入れている。

夏祭りには揃いの手染めハッピーを着て、神輿を担ぎ練り歩きをしている

夏祭りにはお揃いの手染めハッピーを着用し、お神輿を担ぎ、ソーラン節を踊っている。ハンカチで絞り染めを経験してから、クラスのTシャツとハッピーを染めている。7月の夏祭りを前に地域の神社に本物のお神輿を見せてもらいに行き、5歳児が神輿のアイデアを出し合って設計図を描き、色合いや飾りつけなどしてみんなのイメージ通りのお神輿を作っている。4歳児も5歳児の神輿を参考に山車作り、「きれいになるようにキラキラをつけよう」と意欲的に取り組み、当日は、地域の小学校までお神輿を担ぎ、山車を引っ張り、練り歩きをしている。

行事予定表は日程調整をして4月中旬に発行し、子どもの取り組みの様子を知らせている

10月の運動会「それ！1・2・3」、卒園式などの保護者参加行事には、5歳児の保護者は参加してもらいたいので日程調整をして決定し、4月中旬頃に年間行事予定表を発行している。前期の保護者会でも行事予定を伝えている。行事に向けて取り組んでいる子どもの姿を貼り出し日誌やクラスだよりなどで分かりやすく伝えて、保護者にも楽しみにしてもらえようとしている。夏祭りや運動会の後にはアンケートをお願いし、アンケート結果をお便りで報告している。もらった感想や意見は次年度に生かすようにしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
---	--	--------

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

子どもの人数の増減により保育の形態を変えて、落ち着いて遊べるようにしている

朝保育は8時まで0・1歳児が一緒に、2～5歳児と一緒に過ごし、人数が増えて来てからは、0・1歳児は各保育室で、2・3歳児は2歳児室、4・5歳児は4歳児室で遊んでいる。夕方保育は4・5歳児がホールで、その他は各保育室で過ごしている。18時30分からは延長保育をしている。当番保育士は可能な限り、乳児担任は乳児を担当するようにしている。

好きなことをしてゆったりと過ごし、延長保育専用玩具も用意している

長時間保育になるので、家庭的な落ち着いた環境を大切に設定している。特別な配慮が必要な子どもには夕保育時間のサポート(見守り)を付けて、昼のミーティングで確認し、必要に応じて特別支援室も利用している。延長保育は2歳児室で行っており、定期的に延長保育用玩具の入れ替えをし、乳幼児が落ち着いて遊べる環境を整えている。

何時も同じパート職員を配置し、子どもが安心して過ごせるようにしている

当番保育士は毎日変わるが、パート職員はいつも同じ人を配置しているので、子どももよく知っていて安心感もあり、落ち着いて遊んでいる。大人と一緒にゲームをしたり、おしゃべりしたりし、大人とのスキンシップを求めているような時には膝に抱いて絵本をみたりしている。子ども同士も顔見知りで、延長保育時間は自然な異年齢交流の時間になっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>体格に合わせたテーブルや椅子に安定して座り、楽しく給食を食べている</p> <p>乳児クラスでは食事のコーナーを仕切り、子どもの体格に合ったテーブルや椅子を使用して、決まった座席でいつも同じメンバーで給食を食べている。0歳児は必要に応じて手作りの足台や脇当て、背当てなども使って安定して座って食べている。幼児クラスでは席を決めて友達と一緒に食べている。縦割りグループで過ごした日や季節の行事、七夕やひな祭りなどには会食をしている。12月のフルーツパーティーでは、3歳児の分量を盛り付けて、テーブルには残りを出し、子どもたちがトングでおかわりをしている。</p> <p>区立園共通の献立を園で手作りし、行事食等の特別献立も提供している</p> <p>区立保育園共通の献立で、栄養バランスや各園の子どもの喫食状況を考慮して区の栄養士が作成している。出汁は昆布、煮干し、鰹節から毎日取り、旬の食材を使い園で手作りして提供している。給食の実物展示や食材の産地表示をしている。ひな祭りにはひなちらし寿司など、七夕には星形野菜入りスープ、3月のお別れ会食などの特別献立も提供している。5歳児の誕生日にはランチプレートを出しているが、調理職員が直接「ハッピーバースデー」と持って来てくれる。</p> <p>栽培した収穫野菜を調理してもらって食べたり、給食食材に触れる経験をしている</p> <p>園庭の畑やプランターを利用して、野菜を栽培している。子どもたちが水やりをして野菜を観察し、収穫の喜びを味わい、収穫したものを調理室で調理してもらって食べている。栽培した物はトマト、枝豆、オクラ、さつまいもなどであるが、育てた野菜の採れたてを食べることで、食べることへの意欲に繋がっている。5歳児の人数調べ当番が調理室へ報告に行き、玉ねぎの皮むき等の野菜の下処理手伝いをしている。調理経験として、4・5歳児がおにぎり作り、5歳児がクッキー作りをしている。給食室前には今日の食材の写真を貼り出して知らせている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもたちにわかりやすいように紙芝居などを使って健康教育をしている

健康教育計画を作成して、怪我等の対応の仕方、トイレの使い方、風邪の予防法、待つこと我慢することなど、4・5歳児を対象に健康教育をしている。怪我等の対応では、紙芝居「こんな時どうするの」を読み、転んだ時のすり傷は、まず水で洗うことなどを伝えている。待つこと我慢することでは、「いまちよつとがまん脳みそ」などタイムリーな話をして、ゲームやパソコンを半分の時間にしようなどと伝えている。頭の中にある脳みそに見立てて白子や豆腐を見せて、脳みそはとても柔らかい物であり大事にしなければならないことを知らせている。

嘱託の園医や関係療育機関などと連携している

平成28年度から2年間医療的ケア児を受け入れた。園で実施した視力検査の結果を受け、受診してもらい早期発見に努めている。園医は月1回0歳児健診に来園しているので、園児の健康に関する相談にアドバイスをもらっている。療育機関に通所している園児がいるので、療育機関から訪問支援を受けている。区の児童発達支援事業所の通園グループ指導と4歳児が年3~4回交流し、10名程来園してくれて一緒に遊び、園の職員も、見学や体験、摂食指導の様子を見に行かせてもらっている。

毎月の「ほけんだより」や掲示などで、子どもの感染症情報などを知らせている

毎月「ほけんだより」を発行している。内容は保健行事、感染症情報、健診結果のお知らせ、子どもの免疫力を高めるヒント、夏風邪、熱中症などであり、子どもの健康維持のための情報を掲載している。玄関内とベランダの掲示板に、感染症の発生情報や健康に関するポスターなどを掲示している。年度始めの保護者会で、保護者向けに看護師が健康面の対応について話しをしている。乳幼児突然死症候群(SIDS)への対応として園の昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者のさまざまな事情は話を良く聴き、可能な限り対応している

保護者の子育てや就労などの事情は話を良く聴き、気持ちに寄り添うことを大事にしている。例えば、保護者の悩み、疑問、不安になった場合などには、事務室、または特例支援(メロン室)で、ゆっくり話を聴いている。また、急に残業になり迎えが遅くなる、別の人が迎えに行く、土曜に仕事が入ったので保育が必要になったなど仕事の事情によることは連絡をもらって受けている。

保護者会は年2回実施し、テーマを決めて保護者同士で話し合う時間を設定している

保護者会は年2回、13時30分~15時で実施している。春の保護者会ではクラス目標や子どもの年齢発達の姿について説明しているが、保護者同士で話し合う時間を多く設定している。予めテーマをアンケートしたり、話しやすいように小グループにしたりしている。保護者会には、お茶を出すなどして園の給食やおやつを試食をしてもらったり、子どものおやつ終了後にホールでクラス毎に親子で遊んだり、触れ合い遊びをしたり、発表を見てもらったりもしている。当園は父母会活動が盛んで休みの日に交流会などが開かれている。

保育参観・参加はいつでも受け、保護者も園の行事に協力してくれている

保育参観・参加はいつでも申し出てもらい、時間の指定もなく、午前中でも、夕方にもいつでも受けている。今年の4歳児の保護者は子どもの誕生日に参加するケースが多い。保育参加は0歳から受けているので、他の子どもたちも慣れてきて遊んでいる。保育参観・参加に参加した保護者の感想をクラスだよりに載せている。保育園の夏祭りには父母会からくじ引きコーナーや警備係、太鼓の披露をしてきている。運動会では警備係をお願いし、クラス親子競技や保護者のクラス対抗競技などもしている。12月には親子でワイワイ遊ぼうDAYを開催している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の小学校や保育施設などと連携し、交流している</p> <p>幼保小連携で地域の小学校や区立子供園、民間保育園などと年間で計画し交流している。近隣の区立保育園の5歳児同士3園交流もしている。毎年、区立子供園のプール遊びに行かせてもらっているが、今年は猛暑で行けなかった。小学校の1年生担任に保護者会で話をしてもらい、小学校の発表会を見せてもらいに行っている。夏祭りの時には近隣の方への挨拶に5歳児も同行して、来てくださいとお誘いしている。焼き芋会の時には、地域の方に焼き芋をくばり、近隣の方が庭の花を届けてくれたりしている。</p> <p>運動会や夏祭りに地域への参加を呼び掛け、お話しボランティアが来園している</p> <p>お話しボランティアが月1回4・5歳児を対象に読み聞かせなどをしてくれている。運動会にはポスターを園舎内外に掲示して参加を呼びかけ、今年是一般の方2組、卒園児19名の参加があった。夏祭りには地域の親子57組(内卒園児27組)の参加があった。元園長の方にわらべ歌の講習や5歳児の新年のお茶会に来てもらっている。</p> <p>地域子育て支援事業として園庭開放をいつでも受けている</p> <p>地域子育て支援事業として、園庭開放と身体測定、子育て相談はいつでも受けているが、これまでのところ身体測定の希望者は無い状況である。地域の認可外保育施設にリズム遊びや下痢・嘔吐・救急法の指導に声を掛けて誘っている。昨年、玩具コーディネーターを講師に積み木遊びについて学んだ時にも声掛けて参加してもらっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者との共育を意識した関係作りに取り組んでいる	
内容①	乳児の連絡帳や幼児の貼り出し日誌、月1回発行のクラスだより、園だよりなどで園の活動や子どもの成長発達の姿を伝えている。日頃から保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築きながら、協力して子育てしている。保護者会の後には親子で遊ぶ機会を設け、12月には「親子でワイワイ遊ぼうDAY」を企画している。園の夏祭りには父母会からくじ引きなどのブースを出し、警備係を担当し、太鼓を披露してくれている。運動会では警備係をお願いし、親子競技や保護者対抗競技をしている。行事後のアンケートの意見を次年度に生かしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	園内研修を実施して職員が学び、保護者にも同じことを学んでもらう機会を設けている	
内容②	昨年は園内研修で、玩具コーディネーターを講師にして「積み木で遊ぼう」を計画し、地域の保育園にも声をかけて一緒に学んでいる。年1回土曜日に実施している「親子でワイワイ遊ぼうDAY」では、親子で積み木で遊んでもらった後、玩具コーディネーターに玩具について話しをもらった。今年は元園長を講師に「わらべうた講習会」を実施し、12月の「親子でワイワイ遊ぼうDAY」にも講師に来てもらっている。園内研修で職員が学び、それらを地域や保護者にも一緒に学んでもらう機会を設けている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	防犯、防災危機管理の取り組みに注力している	
内容③	前年度より引き続き、危機管理プロジェクトを設け、防犯・防災の危機管理意識の向上に取り組んでいる。近くの小学校への避難訓練を近くの小学校・子供園と一緒に訓練した。避難訓練の反省を、各クラス1週間以内に記入したり、防災頭巾で防災マットを作製した。ヒヤリハットとして記録したものをミーティングなどで職員間で情報共有した。園内の備蓄食料、飲料水、備蓄用品の一覧表を作成し、使用期限などを確認し、更新した。また、前年度、安全点検表の項目の見直しをし、点検か所も増やし、各職員が自主点検を行った。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	樹木などの自然もある広い園庭で、子どもが自分で遊びたいもので自由に遊んでいる
	内容	園庭には桜、百日紅、山桃、柿などの樹木があり、小さな築山がある。複数のクラスが一緒に出て園庭遊びができる広さがあり、手作りの小屋やジャングルジム、砂場などの固定遊具の他に、タイヤ、コンテナ、バスマット、板、マルチパーツ等の可動遊具を、子どもたちが出し入れしやすいように置いてある。子どもは自分で使いたいものを選び遊んでいる。利用者調査の結果、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思いますかの問いに対し、98%の肯定回答が寄せられ非常に高い満足を得ている。
2	タイトル	リズム遊びや歌などを少しの時間でも毎日取り組み、楽しんでいる
	内容	全クラスでリズム遊びに取り組んでいる。乳児クラスでは保育士の口ずさむ歌などで、幼児クラスではピアノの曲で身体のいろいろな部位を動かして遊んでいる。幼児クラスでは、昼寝の後にリズム遊びをしたり、今月の歌を歌ったりしている。少しの時間でも毎日取り組むことにしている。3歳児クラスでは、食事の前や後に保育士のウクレレ伴奏で歌っている。訪問調査時にも、今月の歌や子どものリクエスト曲などを子どもたちがウクレレの穏やかな音に合わせて気持ちよさそうに歌っていた。
3	タイトル	食事が楽しい物になるように「誕生日プレート」や「ハッピー人参」の取り組みをしている
	内容	5歳児の誕生日には給食を特別な「誕生日プレート」で提供している。献立は同じであるが、盛り付けや野菜の切り方などを工夫して子どもたちが喜ぶ物になっている。また、幼児クラスを対象にアレルギー食がない日には「ハッピー人参」の取り組みをしている。内容は、メニューは同じであるが、クラスの2人くらいの給食に特別な人参の型抜きが入っているという物で、その子にはハッピー人参からの「やったあ、ほくをたべたきみ、きつといいことあるよ」などと書いた手紙が付いている。子どもたちはとても楽しみにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ねらいを明確にして、計画的に活動できるように異年齢保育計画の作成が望まれる
	内容	園庭では自然な異年齢交流が見られ、年上の子どもは小さい子どもにゴザを運んでくれたり、砂のご馳走を出したり、手をつないでくれるなどの姿がある。雨の日には幼児クラスと一緒に、お絵かきや積み木、折り紙、ゲーム等をして、好きな場所で遊んでいる。異年齢交流は幼児担当が話し合っ取り組んでいる。今後は、ねらいを明確にし、具体的な活動が計画的に取り組めるように、異年齢交流計画の作成が望まれる。
2	タイトル	これまで以上に、地域の人々と関わり経験の幅を広げられるように、世代間交流の機会を設けることを期待する
	内容	地域の小学校や保育施設と交流し、児童発達支援事業所の通園グループ指導と交流している。園の夏祭りには地域の小学校まで神輿を担いで練り歩き、地域の人々にも見守ってもらっている。今後は、これまで以上に、高齢者など地域のさまざまな人たちとかかわり、子どもたちが経験の幅を広げられるように世代間交流の機会を設けることを期待する。
3	タイトル	苦情解決制度に関する保護者への周知に関して、より一層の取り組みを期待する
	内容	利用者調査では、外部の苦情窓口の周知に関して、肯定的返答34%、消極的・否定的返答32%、非該当(わからない)34%であった。入園説明会で、「重要なお知らせ」を使って、苦情・要望等の相談窓口について周知している。しかし、その氏名・連絡先について明記していない。また、園のしおりにも、苦情解決制度の仕組みについて明記されていない。苦情解決制度の周知に関して、より一層の取り組みを期待する。

6. 阿佐谷東保育園

調査対象

平成30年10月の配布時点で利用している在園児112名の保護者96世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	112
利用者家族総数(世帯)	96
共通評価項目による調査対象者数	96
共通評価項目による調査の有効回答者数	72
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	75.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」3名(4%)、「母」51名(70%)、「父母一緒に」9名(13%)、無記入9名(13%)。
・総合的な感想は「大変満足」44名(61%)、「満足」21名(29%)、「どちらともいえない」3名(4%)、無記入4名(6%)であった。「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の90%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心を持った活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問8「家庭と園との信頼関係の構築」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装など」、問11「緊急時の対応」、問13「子どもの気持ちの尊重」であった。
・総合的な感想では、「園庭でも畑を作ったり、ロープを木にくくり付けて工夫したり、子どもたちが楽しむ工夫をしてくれている」「パートや他クラスの先生も子どもの名前を覚えており、見守ってくれていると感じる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	71	0	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の99%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「プールやお散歩、ホールでの活動、園庭での遊び、裸足でどろんこなど伸び伸びと遊ばせてもらっている」「お友だちとの関わり合いで、集団のルールや共有することを学んでいる」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	69	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「遊びの幅が広く、絵本が好きになっていた」「親が知らない子どもの特技や興味を引き出してくれる」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	67	4	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「0歳児クラスはきめ細かく離乳段階に合わせてくれる」「お誕生日プレートも楽しそうである」「家では食べられない食材も、園では食べることができている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	65	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「いつも遠くの公園まで連れていってくれて、体力がついた」「虫の名前に詳しくなった」「園から距離のある公園に行く道中で、交通ルールやみんなで歩くときに配慮する気持ちなど沢山のことを学んでいる」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	8	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「柔軟に対応してくれる。利用しづらいことはない」、「どちらともいえない」と返答された方からは「急な残業などで大幅に遅れたということが今までなかったが、対応してくれると思う」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	55	14	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「施設や棚などは勿論だが、子どもから離れなくてはいけない場面で、先生方が丁寧に声をかけ合っているので安心できる」「避難訓練を頻繁に行なっているようである」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	57	10	3	2
「はい」と返答した方々は回答者の79%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「一年の始めに予定表が出るので、予定が立てやすい」、「どちらともいえない」と返答された方からは「仕方がないのだが、保護者会や個人面談は平日で、子ども一人ではないので、大変である」、「いいえ」と返答された方からは「保護者会をできれば土曜日にお願したい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	65	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、家庭と保育所との信頼に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「どの先生も親身になって聞いてくれる。親を責めるようなことがないので聞きやすい」「お迎えのときに、個々にその日にあったことや先生が感じたことなどを話してくれる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	61	9	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「手づくり感あふれる温かみのある空間になっている」「いつも掃除をしてくれているのを見かける」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	66	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「丁寧で優しい先生が多く、好感が持てる」「先生方の印象はいつも明るい」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	67	4	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「お友だちとの関わりで怪我をした際など、ちゃんと細かく伝えてくれる」「登園してなくても、どうしたらよいか相談にのってくれるので、心強い」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	59	8	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、子ども同士のトラブル対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「よくあること、止められずすみません、というふうに伝えてくれる」「少しぶつかってしまったなどでも、きちんと報告してくれるので信頼できる」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	67	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「一人ひとりの個性を尊重しながら対応してくれている」「子どもの先生への接し方を見て、先生方が子どもを大切にしてくれているのだなと実感できる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	56	8	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「わからない」(非該当)と返答された方からは「特にプライバシーで知られたくないことはないが、親の職業についてなど話題には絶対に出ない」とのコメントが寄せられた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	62	8	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「貼紙やプリント、口頭でわかりやすい」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	53	5	1	13
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「対応が早い。連絡してくれている」、「わからない」(非該当)と返答された方からは「不満・要望を伝えたことがないのでわからない」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	29	17	5	21
「はい」と返答した方々は回答者の40%、「どちらともいえない」24%、「いいえ」17%、非該当29%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「まだそのようなことがないので、話をしたことがない」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	保護者・職員に対して、園の理念(保育目標・方針)の周知徹底に取り組んでいる 保護者に対して、入園説明会で「阿佐谷東保育園のしおり」を用いて、保育理念・保育方針・保育目標について説明し、園で大切にしていることを伝えている。4月の「えんだより」にも、園長から、保護者と共に子どもにとって、保育園生活が楽しいものとなるよう保育を考え進めていくとの挨拶文を載せている。職員に対しては、年度初めに年間指導計画について話し合い、保育の方向性について確認している。また、年度初めに「保育園運営にあたり」の書面を、常勤職員に配布し、保育方針などを明示し、再確認している。	
	園長、主査、保育向上リーダー2名の4本柱を中心により良い保育について検討している 園長、主査、保育向上リーダー2名の4本柱を中心に、日々の保育や今年度の職員会議などの進め方などについて討議し、園の保育の向上に取り組んでいる。保育向上リーダー2名は、「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、区直営園が横断的に情報交換し、互いに刺激し合い、自園での実践の参考にしている。また、園長会(月2回)や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、区の保育施策について情報収集したり、共通課題について検討している。	
	職員会議やミーティングなどで、職員全体で情報を共有し迅速に対応している 毎日のミーティング(13時50分から14時)で、各クラスのヒヤリハットなどを含め、情報共有し、その内容を園日誌に綴っている。昼の職員会議(週1回)には、午睡当番以外の全職員が参加し、園長会の報告、事務連絡、各職種・各クラスからの報告、行事の確認、研修報告などについて情報共有している。夜の職員会議(月1回)では保育計画について討議したり、園内研修などを実施している。そのほか、乳児・幼児打ち合わせや、各プロジェクト・チームでの随時の打ち合わせなどを行ない、より良い園運営について協議している。	
	カテゴリ2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリ1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◎あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◎あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリ-2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
------------------	------------------	-----

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◎あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◎あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-2の講評

保護者の意向を把握し、職員の提案を受け、園運営の改善に活かしている
夏祭りや運動会などの大きな行事の実施後に用紙を保護者に配付し、保護者の感想や意見、要望などについて情報収集している。保護者の感想は「良かった」というのが多いが、個人面談などを通して保護者の要望や意向を聴取し、対応策について検討している。職員からは、目標申告シートの提出やヒアリングを行い、組織に対する意向を定期的に把握している。「掲示板に、子どもの絵を飾りたい」との職員の提案を受け、それを実行した。園芸係の職員の提案を受けて、花を増やすなど、職員の提案を改善に活かしている。

公立保育園園長会や関係機関との各会合に参加し、保育をめぐる情報を収集している
公立保育園園長会(月2回)に園長が参加し、保育の質の向上や保育の専門性を高めるための園長の役割、公立園としての役割について確認し合っている。区保育課主催の地域の保育関係施設が参加する地域懇談会に園長が参加し、地域の子ども・保育園をめぐる環境について情報収集している。また、児童館主催の地域子育てネットワーク、近くの中学校主催の地域教育連絡協議会に参加し、情報交換している。区からの情報や新聞記事、専門雑誌などから、保育園をめぐる課題について情報収集している。

園の年度目標を定め、前期・後期・月・年単位で計画の達成状況の確認している
区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30~33年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係(園)の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標から個人の目標を計画し、職員個々が何をやるべきか明確にしている。計画に対しては、前期・後期・月・年単位で計画の達成状況を確認している。役割分担表に基づいて、各プロジェクト・各係が進捗状況を確認している。

カテゴリ-3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-3の講評			
非常勤職員にも、保育での具体的な対応方法について説明している 正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。パート・アルバイト職員に対して、面接時・契約時に「一緒に働く皆様へ保育の心構え」の書面を配布し、区立保育園で働く姿勢などについて説明している。書面には、く子どもが話しかけてきたときは、しっかりと向かい合って聴き、言葉でうなづく、表現できない時は、「～したかったのね」などと優しく正しい言葉に置き換えて表現してあげる)など具体的な子どもへの対応方法を明記している。			
入園説明会やポスター掲示などで、苦情解決制度について周知している			

園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。また、入園説明会で、「重要なお知らせ」を使って、苦情・要望等の相談窓口について周知している。要望や苦情に対しては、まずは傾聴することに努めている。その後、解決できることは速やかに行動に移している。保護者に回答する時は場所と時間を設けて丁寧に説明している。保護者からの苦情などは、職員会議で共有化している。日頃から子育てに悩んでいる保護者の話をよく聴くようにしている

地域の園庭のない保育園への子育て支援に取り組んでいる

地域の在宅親子への支援事業として園庭開放(週1回:10時~11時)を実施しており、地域の在宅親子だけでなく、近隣の園庭のない保育園の子ども達が来園し、園庭で遊んでいる。また、「焼き芋会」にも参加し、貴重な季節行事を体験できている。「にこにこひろば」(年4回)を実施し、身体測定を行ない、看護師が相談を受けたり、栄養士が離乳食の相談に応じたりしている。地元の祭り(七夕)の際は、児童の作品(神輿)を展示し、特別賞をもらっており、地域とのつながりも大切にしている。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ-毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ-4の講評

毎月の避難訓練や、環境安全点検などで、子どもの安全確保に取り組んでいる

年間の避難訓練の計画表を作成し、毎月1回、避難訓練を実施している。毎月、初期消火訓練を行い、朝夕保育・延長保育・土曜保育などの職員が手薄のときや、プール遊び・園外保育などのさまざまな場面を想定し、実施後は反省会を持ち、次回に活かしている。また、環境安全点検表を使って、毎月1回、室内・園庭の危険箇所がないかどうか確認している。今年度、外環境プロジェクトでも、側溝掃除や砂あつめなどの園庭整備やおもちゃの点検・見直し、園庭遊具の充実に取り組んでいる。

園独自のマニュアルを作成し、事故などに迅速に対応できるようにしている

区作成の危機管理マニュアルのほか、園独自の「阿佐谷東保育園マニュアル」を作成し、事務所・各クラスに置き、事故を含むリスク(危険)に対して的確に迅速に対応できるようにしている。小さな危険(ヒヤリハット)は園日誌に記録し、クラスで話し合い、対策を講じ、職員会議などで周知している。事故が起きたときは、報告書の作成と原因究明、分析を速やかに行い、ミーティングや打ち合わせで職員間で情報共有している。感染対策では、看護師が、パート職員も含めた全職員に対して、嘔吐物処理について実際的な教育指導を行っている。

情報リーダー(園長・主査)が年度初めに必ず「情報リーダー講習会」を受講している

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行なっている。情報リーダー(園長・主査)が年度初めに必ず「情報リーダー講習会」を受講している。個人情報を持ち出す時は、「児童票持ち出しノート」などの記録簿を使って持ち出し日や持ち出す人を記録し、紛失がないよう慎重に扱っている。個人情報に関わる各種記録物は施錠できる場所で保管している。戸締り記録表にて、毎日、個人情報に関する記録媒体が適切に保管されているかどうか確認している。非常勤職員や実習生にも守秘義務の重要性について伝えている。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価	標準項目
----	------

◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ5の講評

職員確保では、業務及び職種ごとに区で募集・採用を行っている

保育士、看護師、調理員、用務など、業務及び職種ごとに区で募集・採用を行っている。年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年2回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望を確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担任を決める際は、希望調査を実施し、必要な人には面談し、園長案について説明し、職員会議で検討、決定している。

園内研修などを通して、自らの保育実践を振り返り、保育の質の向上に取り組んでいる

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行なっている。区保育課主催の実務研修計画は、階層別職種別に必要なテーマを設定し、専門家を招聘しての研修も多く、充実している。パート・アルバイト対象の研修もあり、希望や園長・主査による指名などで派遣し、専門性の向上を図っている。研修受講後は報告書を提出し、研修報告を行い、知識・スキルの共有化を図っている。職員は、園内研修(保育の振り返り、保護者対応・環境等)等を通して、自らの保育実践を振り返り、保育の質の向上に取り組んでいる。

職場全体で課題点を共有化し、応援していく組織風土が築けている

職員の年齢バランスが良く、また、新任職員2名に対し、職員皆であたたく見守り、必要に応じて助言し、同じチームの一員として大切に育てている。また、職場全体で課題点を共有化し、応援していく組織風土が築けている。他方、有給休暇や夏季休暇など、非常勤職員も含めて、全職員がバランス良く、互いに気持ち良く取得できるよう、園長や主査が声をかけている。夏祭りや運動会などの行事実施後、職員の交流会を開催し、非常勤職員にも声をかけ、親睦を深めている。

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「子どもが楽しい、遊びたいと思う魅力溢れる室内・外環境を整える」を重要課題とした。
- ・上記目標の達成に向けて、園庭環境・室内環境プロジェクトを中心に話し合いを進め、環境作りを工夫した。毎月期日を決めて、園庭・室内遊具の点検や整理を行い、安全確保に取り組んだ。また、園内研修を行ない、各クラスで活用しきれない遊具や、巧技台(はしご・一本橋等の運動遊具)の遊び方を実践し、日々の保育で活用した。
- 上記の取り組みの結果、園庭遊具の今までの遊具の数や種類の見直しや新たな遊具を購入したことで、子ども達の遊び方や関わり方が広がりを見せた。
- ・今年度は、前年度計画したが取り組めなかったことや継続していくことを整理し、新たに年間計画シートを作成した。

目標の設定と取り組み

- ◎ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- ◎ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- ◎ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、園庭の見直しを行なった。既存の遊具は数を増やしたり、新たな遊具を購入し、子ども達の遊びも広がりを見せた。タイヤブランコはロープを新しく取り換え、取り付けた。室内遊びや玩具について園内研修で、遊び方や年齢に合っているかなどの確認を行なった。巧技台について設置の仕方や何をどう組み立てるとよいかを園内研修で学び合った。夏場は、遮光ネットを張ったり、虫除け対策として溝掃除を行なった。園庭の遊具を見直したことで、子どもたちの遊びの充実に取り組んだ。園庭の遊具の見直しに取り組み、職員の意識向上も高まっている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「子どもを中心に保護者と共に保育の共有を図り、一緒に歩んでいく」を重要課題に掲げた。
 ・上記の目標達成に向け、①朝夕保育時の対応や連絡帳、張り出し日誌、クラス便りで子どもの情報を共有した、②「保育参加・参観」「個人面談」を同日に行うことで、子どもの成長や課題を共有してきた、③日々保護者の話に耳を傾け、不安や思いを受け止めながら、安心して保育園生活を過ごせるよう課題に対して園全体で改善できる体制を整えた。
 ・上記の取り組みの結果、個別に夕方など時間を設定し、保護者と話す時間を設けた。各クラスで保育参加・個人面談にほぼ全員参加でき、日頃の保育について理解を得ることができた。
 ・前年度、保護者の不安を取り除き、安心して保育園に通えるように、園全体で丁寧に対応してきた。引き続き保育園をより身近に感じてもらい、保護者が話しやすい雰囲気づくりに取り組み、また、個人面談については、前年度より早めの時期に設定することで、より保護者との共有に取り組んでいる。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・保護者とは、朝夕の対応や連絡帳、張り出し日誌、クラス便り、個人面談などで情報共有に努めている。できる限り多くの保護者が保育参加できるように日程調整し、また、積極的に声をかけている。保護者とは日々の保育の中で伝えたいことや、伝えにくいこともできるだけ共有するよう取り組んでいる。子どもたちが日々の保育や行事に向けて、どのように取り組んでいるか、クラス便りや張り出し日誌で伝えていく。「CHAYAあさひがし」を行ない、保護者との交流を深め、早めに掲示板やポスターを張り出し、広報し、参加を働きかけている。このような取り組みを通して、保護者と共育をを目指している。

II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
	評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
		〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
		〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
		〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
		〇非該当
	サブカテゴリー1の講評	
	区のホームページや広報紙、冊子、園の外向け掲示板などで情報提供している 区のホームページや区が発行している広報紙、保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内には、保育園の外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園の特色として、「公園に隣接しているので、日々の保育に運動会にと活用します」などを挙げている。園のフェンスに取り付けた外向け掲示板では地域子育て支援事業(園庭開放・ニコニコひろば)の案内をしている。	
	区立直営園であり、地域の関係機関と情報交換し連携している 区立直営園であり、区の所管課には月報を始め子育て支援事業や延長保育、施設管理関係などのさまざまな報告をし、連携している。園長が2小学校区の地域ネットワーク(保育園、私立保育園、認証保育所、保健センター、児童館など)や中学校区の地域ネットワーク(区、児童委員、民生委員、町会、小学校、保育園など)に参加して、行事の日程などの情報交換をしている。所管課主催の地域懇談会では、年2回、公私立保育園を含む保育施設同士で情報交換をしている。	
	月2日の見学会日程を決めて、10時30分頃から見学してもらっている 見学希望は電話で問い合わせしてもらい、月2日の見学会の日程と時間、10時30分頃から30分程を予定していることを伝えて受け、園長と主査が担当している。11月の見学は1日で30名程あったことから、15名ずつ1階から見学するグループと2階から見学するグループに分かれてもらった。見学者用の概要を配布して、施設を案内しながら、園目標や保育の特色、園独自の活動などを説明して、質問にも丁寧に応じている。11月初旬までの見学者総数は120組である。	
	サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
	評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
		〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
		〇非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
		〇非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリ-2の講評

面接や入園説明会を実施して、重要事項や園の基本的なルールなどを説明している
 入園内定者には健康診断と面接を実施して、「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などの提出してもらった書類を基に、就労状況や家庭の事情、要望などを聴き取り、保育時間を決め、持ち物の説明をしている。4月の入園の場合には3月中旬の土曜日に入園説明会を実施して、「保育園のご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「園のしおり」を基に、園の概要、保育方針、保育目標、保育園からお願い事項、保健、安全・個人情報取り扱い、延長保育・スポット保育、緊急時の対応等を説明している。説明後には同意書を提出してもらっている。

入園当初の保育は、保護者の事情などに応じて、個別に柔軟な慣れ保育をしている
 入園当初の保育は1週間程度を目安にしているが、面接時に説明して保護者の状況や意向を把握し、個別に進めている。初日は保護者と一緒に昼食まで過ごし、0歳児ではミニ保護者会をして顔見知りになってもらい、自己紹介や写真撮影をして、受け入れ室に掲示している。2日目からは保護者の状況に合わせて、育児休業中で復職までに時間がある場合にはゆっくり進めている。0・1・2歳児は緩やかな担当制にして、同じ保育士が関わり、早めに信頼関係を築き、迎える保護者には子どもの様子を詳しく伝えて安心してもらえるようにしている。

卒園・転園・退園の際には新しい環境への不安軽減の配慮をしている
 卒園児の就学先の小学校へ「保育所児童保育要録」を送付している。卒園した小学校1年生は、園の運動会に招待している。区内の区立保育園へ転園する場合は、児童票(写)と健康カードを送付して支援を継続している。年度途中の転園や退園はクラスでお別れ会を開いて、担任やクラスの子どもたちからのメッセージカードを渡している。最後の日には他のクラスを周って挨拶をしている。保護者には、心配なことはないか話を良く聴いて、「いつでも遊びに来てください」と伝えている。

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
----------------	------------------	-------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して、保育日誌や保健日誌、児童票に記録している

入園時には園医による健康診断を実施して発育・健康状態、保育士や看護師の面接により心身の発達や入園までの生活状況などを把握し、0・1歳児の離乳食状況や食物アレルギー等を栄養士・調理員が聴いている。入園後は、毎月の身体測定や年2回の健康診断、週1回の0歳児健診、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果を健康管理票や健康カードに記入している。乳児クラスは連絡帳に食事や排泄、睡眠、体調などの情報を記入してもらい、幼児クラスは体調などの情報を口頭で収集して保育し、保育日誌や保健日誌、児童票に記録している。

指導計画(月案)は担任同士で子どもの様子やクラスの状況を話し合い作成している

指導計画(月案)は子どもの様子やクラスの状況などを担任同士で話し合い、年間指導計画を基に、保護者から寄せられる意向なども参考にしながら、翌月のねらいと具体的な内容などを設定している。0歳児の話し合いには看護師も参加している。乳児クラスは毎月個別のねらいと配慮を作成している。幼児クラスは個別配慮が必要な子どものみ作成している。職員は各クラスの月案を読んでから2日間実施しているカリキュラム会議に参加している。1日目はクラスの課題や悩んでいることを報告し、2日目に各クラスで検討した結果を報告して、共有している。

ミーティングや定例打ち合わせなどで、子どもに関する情報を共有している

園運営や子どもに関する情報共有のためにさまざまな会議を実施している。毎日昼の時間にミーティングを実施し、職員体制、出席人数、延長保育児、欠席児、アレルギー児を確認し、行事予定、クラスのヒヤリハットと申し送り事項、確認事項などを園日誌に記入し、参加者は各クラスノートに記録してクラスで周知している。週1回の定例打ち合わせは水曜日に実施し、事務連絡、園長会報告、研修報告などを行っている。その他にも、夕方から実施している職員会議、幼児・乳児打ち合わせやカリキュラム会議などさまざまな会議を開いている。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報を外部に提供するには保護者の同意を得ている 個人情報の取り扱いについては入園時に説明して同意を得ている。5歳児保護者会で「保育所児童保育要録」を就学先の小学校へ送付する旨を説明し同意を得ている。区が発行する広報紙に子どもの写真を掲載する場合には、該当する保護者に個別に了解を得てからにしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換は他からは見えない場所や衝立を使用するなどしている。プールや水遊び、シャワーをする時にはすだれやカーテンなどで外部からは見えないようにしている。幼児クラスには看護師がプライベートゾーンについての健康教育をしている。</p> <p>保護者の価値観などは良く聴いて、対応している 保護者の価値観や考え方などは話を良く聴き、配慮して対応している。特定の食材や飲料を使わない申し出を受けた場合には、アレルギー以外の除去申請を提出してもらい、対応している。現在、水道水と牛乳について、持参した水筒やペットボトル、水で対応している。プール時の日焼け防止水着の着用の申し出は受けている。</p> <p>日頃から子どもの言動や身体状況に気を配り、虐待の早期発見に努めている マニュアル「児童虐待の早期発見・対応のために」に沿って対応している。保育士は日頃から、子どもの言動や身体状況の変化に気を配り、傷やあざなどがある場合には原因を子どもに聴き、保護者にも確認している。気になることがある場合には園長に報告し、記録を取り、職員間で共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターに連絡し、連携して対応している。園長は、年度始めに、虐待の早期発見について職員に話をしている。</p>			
サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリ-6の講評

区立保育園共通のマニュアルや園独自の「阿佐谷東保育園マニュアル」を作成している

区立保育園共通の「杉並区保育実践方針」や「危機管理マニュアル」を整備している。園独自では、「阿佐谷東保育園マニュアル」を作成して、園で大切にしていること、防犯マニュアル、園の環境衛生、冷凍母乳の対応、午睡チェック表の確認、当番の仕事、園庭の約束、非常勤の仕事内容など縦じて、各クラスに置き、いつでも見ることができるようにしている。

園独自のマニュアルは職員に意見を出してもらい検討するなどして年度末に見直している

園独自のマニュアルの中で、当番の仕事や園庭の約束、非常勤の仕事内容については年度末に提案し、意見を出してもらい、見直している。その他は、事務室で検討して文章表現を変更したりした場合には、年度始めに変更箇所を確認して周知している。業務の内容で変更する必要がある場合には、随時検討して職員全員で確認している。例えば、園庭の約束の中では、庭の水場の使い方について検討し見直した。

保護者や職員の意見などは早急に対応して改善につなげている

保護者や職員からの意見や提案には、園全体で改善できることは早急に検討して対応している。保護者の登園時の様子から、雨天時に一時的に雨合羽を掛けて置く場所を作った。保護者からベビーカー置き場を作って欲しいという意見が寄せられ、0歳児のベビーカー置場だった場所を広げるなどして、0・1歳児も置けるようにした。園庭に花壇を作り、花がある園庭作りに取り組んだ。廊下の展示コーナーを子どもの作品の展示スペースに変更した。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが遊びたい玩具などで自由に遊べるような保育室環境作りをしている</p> <p>乳児保育室は食事や着替えなどの生活のスペースと遊びのスペースを低い玩具棚や手作りの衝立などで仕切り、子どもが落ち着いて食事をしたり、遊んだりできる環境にしている。遊びのスペースはままごとや絵本、構成遊び、手先遊びなどのコーナー設定にし、自分が使いたい物でじっくり遊べるようにしている。また、一人ひとりの思いに応えられるように少人数グループに分かれて保育をしている。幼児保育室も年齢発達に合わせて、子どもが興味をもっている木製積み木、絵本、ゲーム、小型ブロックなどを用意して、自由に使って遊べる環境にしている。</p> <p>子ども同士のトラブルが生じた時には子どもの気持ちを受けとめて対応している</p> <p>園のしおりに「子ども同士のトラブルでのケガ」について掲載して、入園説明会で説明している。噛みつきやひっかきなどの子ども同士のトラブルが生じた時には、その場の状況や友達との関わりから子どもの思いをくみ取り、受けとめる対応をしている。双方の保護者にトラブルになった状況を伝えて、側にいた保育士が防げなかったことをお詫びしている。幼児の場合で、子ども同士で解決できないような場合には、子どものお互いの言い分を良く聞いて、解決に導いている。双方の保護者にトラブルになった状況に加えて、どう解決したかも伝えている。</p> <p>5歳児が小学校を訪問したり、小学1年生が来園して交流したりしている</p> <p>地域の小学校2校と連携して5歳児が学校訪問などを行っている。小学校の展覧会を見学したり、1年生が来園して合奏を聴かせてくれたり、クイズを出してくれたりしている。また、小学校に招待されて、教室の椅子に座わりランドセルを背負わせてもらい、体育館で他の園の5歳児と一緒に並んだりしている。小学校1年生の担任と保育園・幼稚園の保育士・教諭との話し合いに主査が参加し、最近の子どもの姿や話に集中させる時の手立てなどを情報交換している。園の5歳児保護者会では、小学校1年生の担任教諭に就学に向けての話をしてもらっている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている

登園時は、担任や当番保育士が必ず挨拶をして子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。前日に休んだり、体調を崩したり、怪我をしたりした時には、詳細に聴き取りをしている。朝当番保育士が聴き取った内容は受託簿に記入して、担任に口頭でも伝えて引き継いでいる。乳児クラスでは、連絡帳を使用して家庭での睡眠や食事、排便、体温、体調などを記入してもらい、生活の連続性に配慮して、幼児クラスは口頭で子どもの体調等の情報を確認して、保育している。

休息(昼寝を含む)は子どもの様子や体調などに配慮して対応している

乳児クラスでは昼食後には、排泄を済ませて休息するという生活の流れにしている。幼児クラスでは、昼食後絵本を読むなどしてお腹休めをした後13時頃に、ホールで布団に入り、15時には起こしている。0・1歳児の場合は、眠い様子の時には午前寝も夕寝もしている。家庭の夜の睡眠が不足して早めに眠くなる場合には、早めに布団に入っている。就学を控えた5歳児は3月中旬頃には布団に入らず、休息をするだけになっているが、子どもの体調に配慮して寝せる等、柔軟に対応している。

降園時には、迎えの保護者に日中の子どもの様子を伝えている

日中の子どもの様子を乳児クラスでは連絡帳で伝え、幼児クラスは貼り出し日誌を読んでもらっている。降園時には、迎えの保護者に日中の子どもの様子を直接伝えている。当番保育士が対応する際には、自分が見ている時の子どものエピソードを伝えている。しかし、お迎えが重なる時間帯に子どもの安全を優先する必要が生じた場合など、十分伝えることができないこともある。担任保育士が直接伝える必要がある場合には迎えを待って、個別に対応している。通院した時には、園長や主査、看護師も園や医療機関の処置について保護者に伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがぎまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが主体的にじっくり遊べる環境作りをして、幼児では時間の見通しも示している

子どもの興味や関心に合わせて定期的に玩具や遊具の入れ替えをしている。室内には遊びのコーナーを作り、じっくり遊べる環境作りをしている。木製積み木や汽車とレール遊びなどの床に広げて構成して遊ぶ場所を確保して、継続して遊べるようにしている。自分で何かを作って遊びたい時に使える空き箱や紙、制作用具などを、自由に使えるように用意し、制作途中の物やできあがった物も置いておけるようにしている。幼児の保育室には手作り時計で子どもに活動の時間の見通しを示し、遊びを継続したい場合には子どもと担任とで相談して決めている。

言葉による伝え合いの場を設けて、話すことの楽しさを知らせている

5歳児は人数調べ当番をして、3～5歳児の出席人数を聞きに行き、月日を書いて、事務室に報告に来ている。入室のエチケットや朝の挨拶、報告する際の話し方などを知る機会になっている。休み明けの日などには、クラスの友達を前にして楽しかった自分の経験を話す機会を設けている。廊下に絵本コーナーを用意して貸し出しをしているが、じっくり読みたい子どものために、テーブルと椅子を用意している。保護者の迎えの際には親子でくつろぐ姿も見られて、ホッとスペースになっている。

園庭や散歩先で、自然の動植物を見たり触れたりし、季節の移り変わりを感じている

園庭の小さな畑には大根と水菜を植えている。小さなお家(ゆめハウス)の横は雑草コーナーにして、子どもたちが掘ったり、蟻やダンゴ虫などを探して遊べるようにしている。花壇には朝顔や風船カズラを植えて、朝顔で色水遊びをして、夏場には泥んこ遊びもしている。戸外遊びに適した季節には、乳児クラスは週2～3回、幼児クラスも3回程度、近隣や地域の公園などに散歩に出かけている。川べりの都立公園では、鯉や鴨や白鷺等の水鳥を眺め、カナヘビやヘビなどにも出会い、木々の季節の変化も目にしている。5歳児はカブト虫を飼育している。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(○○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味・関心がある「お化け屋敷ごっこ」にアイデアを出し合って取り組んでいる</p> <p>子どもたちの発信を捉えて、実現できるように子どもと相談し、援助している。5歳児クラスでは、10月頃、ハロウィンのお話を聞いて「お化け屋敷やりたい」などと声が上がると、みんなでお化け屋敷をするのかをみんなで話し合い、取り組んだ。「お化けは怖い物じゃなくて、箱の中から出てくるものにしてよ」、「黒いキャタピラーをお化けの部屋にしてみよう」などと自分たちのアイデアでお化け屋敷を作って遊んでいるうちに、「面白いから小さい子にも見せてあげたいね」とポスターを書き、他のクラスも誘って「お化け屋敷ごっこ」を楽しんでいた。</p> <p>運動会では憧れていたソーラン節を踊り、リレーも頑張り、充実感を味わっている</p> <p>運動会は幼児クラス対象で実施し、乳児クラスは自主参加にして地域競技に出場している。5歳児は前年の年長組のソーラン節に憧れて、「きりん組になったらやりたい」と希望していたので、夏前から取り組んだ。リレーでは、負け続けているチームは悔しくて泣く姿が見られていたが、勝てるようにチームで話し合い、子ども達で走者順を決めるなどして取り組んだ。総練習ではいつも負けていたチームが勝ち、自信をつけて本番も張り切って取り組み、赤白が競ったリレーになったことで、子どもたちは勝敗に関係なくやり遂げた充実感を味わうことができた。</p> <p>運動会に向けて取り組んでいる子どもの様子を保護者に分かりやすく伝えている</p> <p>年間行事予定表は4月初めに発行している。春のクラス保護者会でも運動会の日程などを伝えている。運動会に向けて取り組んでいる子どもの様子を、クラスだよりや事務所だよりで伝え、毎日の貼り出し日誌でも写真を貼付するなどして保護者によりわかりやすくして見せたい、楽しみにしてもらえるようにしている。運動会のポスターを5歳児が制作して、園医の医院や小学校などに届けて貼ってもらっている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(○○)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕保育はよく慣れているそれぞれの保育室で過ごしている</p> <p>夕保育は、乳児クラスは18時30分まで、よく慣れている各保育室で過ごしている。乳児保育室は、ソフトマットや畳のスペースなどでホッとできる環境にしているので、子どもはままごとや手先遊びなど、好きな遊びをしている。幼児クラスでは、午後のおやつ後に園庭で遊び、その後、各保育室で過ごしている。18時25頃には延長保育児は4歳児室に移動して、補食を摂った後遊んで過ごしている。</p> <p>いつも同じで良く知っている大人と一緒に安心してゆったり過ごしている</p> <p>延長保育利用児は定期利用やスポット延長を含めて、11月現在、一桁の人数で、いつも同じで良く知っているパート職員2名と当番保育士1名とで、安心してゆったりと過ごしている。4歳児保育室のままごとコーナーにソフトマットを敷き、遊び用の布団を用意して、疲れた時にはゴロゴロと横になることもできるようにしている。</p> <p>延長保育専用の玩具などで、大人と一緒に好きな遊びをしている</p> <p>延長保育専用の玩具として、塗り絵や木製玩具などの少人数で遊べる玩具を用意しているが、乳児がいる場合には年齢に合った、興味のあるような玩具も持ち込んだりしている。少人数であり、おしゃべりしたり、スキンシップを求めてくるような場合には膝に抱いて絵本をみたり、ままごとをしたりしてゆったりと過ごしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

体格に合わせたテーブルや椅子に落ちついて座り、楽しく食事をしている

乳児室では、子どもが落ち着いて食事できるように、玩具棚や手作りの衝立などを利用して食事のスペースを仕切り、子どもの体格に合わせたテーブルや椅子を使用して、決まった自分の席に安定して座り、いつも同じ保育士に介助してもらいながら食事をしている。5歳児は自分の食べられる量を知ることを目的に、クラス配膳にして量を自分で申告する「レストランの日」を設けている。幼児クラスの誕生日には、メニューは同じだがワンプレート皿に盛り付けを変えた「誕生日プレート」にして、おめでとうのメッセージを付けて提供している。

区立保育園共通献立で園で手作りし、自然の美味しさが味わえる給食を提供している

栄養バランスや子どもの食べ具合を考慮して区の栄養士が作成した区立保育園共通の献立を使っている。旬の食材を使い、昆布や鰹節、煮干しなどで毎日出汁をとり、自然の美味しさが味わえる給食にして、園の調理室で委託業者の職員が手作りしている。食の安全性に留意して、食材の産地表示や給食実物展示をしている。季節の行事には行事食を提供し、七夕には星形のオクラ入りの汁、ひな祭りにはひな寿司、12月のお楽しみ会には幼児活動グループの会食会にして、空揚げやサンドイッチ、おにぎりなどの人気のメニューのテーブルバイキングにしている。

野菜栽培や食材に触れる経験、ラップおにぎり作りなどの調理経験をしている

園庭の畑やプランターなどで2～5歳児がなす、きゅうり、とうもろこし、じゃがいも、二十日大根、ピーマンなどの野菜を栽培している。子どもたちが水やりをして生育を観察し、収穫の喜びを味わい、採れたて野菜に触れながら調理室に届けて調理してもらい食べている。幼児クラスでは、給食食材のそら豆・枝豆などの豆類のさやむき、玉ねぎやとうもろこしの皮むきの手伝いをしている。調理体験として、幼児クラスのラップおにぎり作りや5歳児のクッキー作り、自分でご飯や味噌汁をよそう経験などを行っている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の体や身の安全などに関心が持てるように健康教育をしている

子どもが自分の体に関心をもち、自分、相手を大切にすることを育てることを目標に、健康教育を実施している。5歳児には毎月テーマを決めて、お尻の拭き方や目の大切さ、うがいなど、4歳児には手洗い、歯磨き指導など、3歳児も含めてプライベートゾーンについて知らせている。子どもが理解しやすいように紙芝居や実演などで伝えている。日々の保育の中で危険な遊び方や場所等の危険回避について知らせ、リズム遊びや運動遊びを通してしなやかな体作りをしている。幼児は交通安全集会で警察署員に交通ルールの指導を受けている。

嘱託の園医に園児の健康に関する相談をしてアドバイスをもらっている

薬の預かりは原則的にしていないが、慢性疾患などのために、健康的な生活を送る上で、治療上園での与薬が必要な場合には、「与薬申込書」に基づいて対応し、現在は抗痙攣剤と保湿剤の与薬をしている。嘱託の園医は週1回の0歳児健診と年2回の定期健康診断で来園しているため、園児の健康に関する相談をして、アドバイスをもらっている。

保健だよりや保健の掲示などで感染症や子どもの健康に関する情報を提供している

毎月「保健だより」を発行して、園児の感染症情報や子どもの健康観察、歯磨き、虫刺され対策、健康指導、水分補給の大切さなどを掲載している。園庭の掲示板や2階の掲示ボードで、感染症や保健に関する情報を掲示している。園で感染症が発生した場合には、病名、発生クラス、人数、症状、潜伏期間等の発生情報を各クラスにも掲示して、注意を喚起している。園における昼寝時には乳幼児突然死症候群(SIDS)への対応として、午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の家庭や就労の事情は話を良く聴いて、可能な限り受けている

保護者の育児や就労などのさまざまな事情は話を良く聴いて、可能な限り受けている。仕事が入って残業になり、迎えが遅くなる、迎えを他の人に変更する、土曜日に仕事が入ったなど、就労に関することは、事前に連絡をもらったり電話でもらったりして、受けている。スポット延長保育も受けている。その他、家族が受診する、兄弟の保護者会に参加するなど事情を聴いて受けている。保護者が感染症になった時には、門の所で受け渡しをする、日頃来園していない祖父母が送り迎えの場合には、困ることがないように手助けをしている。

年2回の保護者会や「CHAYAあさひがし」は保護者同士や職員と話す機会にしている

園での子どもの活動の様子を、乳児クラスは連絡帳、幼児クラスは貼り出し日誌、クラスだよりで伝えている。送迎時の保護者とのコミュニケーションも大切にしている。クラス保護者会を年2回実施して、春には子どもの年齢発達の姿やクラス目標などを説明し、グループに分かれて保護者同士で話してもらう時間を設けている。保護者会で給食やおやつを試食してもらっている。その他、6・9・11月の年間3回、17時～18時30分に、保護者と保育士がちょっとくつろいでおしゃべりする会「CHAYAあさひがし」をホールで実施している。

いつでも保育参加を受けており、個人面談をして子どもの成長を共有している

保育参加は4月と3月を除き、いつでも受けている。個人面談は期間を決めて実施しているので、午前中に保育参加して、午後に個人面談をするケースが多い状況であるが、保護者の都合に合わせて、柔軟に対応している。保育参加してもらった保護者の感想をクラスだよりで紹介している。個人面談では家庭の姿と園での姿を伝え合い、年齢の特徴を踏まえながら、子どもの成長を共有し、個人面談の記録を児童票に記入している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の小学校や近隣の私立保育園と交流し、ボランティアの受け入れもしている</p> <p>地域の小学校2校と交流し、8月に学校訪問をして、教室や図書室を見学したり、1年生と交流したりしている。小学校の図書館の絵本を見せてもらったり、朝顔の種をもらいに行くなどしている。児童館にも遊びに行っている。女性2人のボランティアによる絵本等の読み聞かせを月1回、4・5歳児を対象に受けている。近隣私立保育園から観劇会への招待を受け、参加している。夏季の中高生のボランティア5人を受け入れて、子どもと遊んでもらっている。地域の商店街で行われる「阿佐谷七夕祭り」には4・5歳児の笹飾りと5歳児の神輿を出展している。</p> <p>地域の保育施設4園と交流し、運動会や焼き芋、園庭遊び、プール遊びに来園している</p> <p>地域の保育施設(私立保育園・認証保育所)4園と交流している。焼き芋会、運動会などの園行事に参加を呼び掛けて2園が参加している。防犯教室や交通安全集会にも声掛けをしている。園庭開放時に来園して、砂遊びや泥んこ遊びなどもしている。その中の私立保育園2園には7～8月の週1回ずつプールを使用してもらい、5歳児とプール遊びなどで交流している。プール遊びの前の6月には看護師よりプライベートゾーンについて、当園を含めた3園の5歳児と一緒に話を聴く機会を設けている。</p> <p>地域への子育て支援事業は「園庭開放」と「ニコニコ広場」を実施している</p> <p>地域への子育て支援事業は「園庭開放」を毎週水曜日10時～11時で実施している。毎回2組程の利用があり、近隣保育施設からも遊びに来ている。子育て相談・身体測定をしている「ニコニコ広場」は5月・9月・11月・1月の第3水曜日に実施し、保育士、栄養士、看護師が担当し、離乳食の相談などを受けている。5月には3組、9月には5組の参加があった。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	構成遊びを大事にして場所を確保し、遊びの継続を保証する環境作りをしている	
内容①	保育室内の遊びの環境作りでは、構成遊びを大事にし、木製積み木遊びの場所を確保して、子どもたちが仲間同士で、床に広げたり高く積んだりしてイメージを構成しながらじっくり遊ぶことができるようにしている。子どもたちは組み立ててさまざまなものを作り上げ、それらを使ってまた遊び、遊びながら変化させていくなどしているのので、「後で」、「明日また」、など遊びの続きができるようにしている。ダイナミックに遊ぶ時にはホールに木製積み木を集めて遊んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	子どもたちがイメージを広げて遊べるための環境整備を行なった	
内容②	前年度、職員へのアンケートを行なった。その結果、「子どもたちにとって、もっと魅力あふれる園庭にしたい」との職員の意見を受け、園庭環境プロジェクトチームを中心に、園庭環境の見直しに取り組んだ。今年度も、継続して、「安全に楽しく」子どもが主体的に遊べる環境づくりに取り組んでいる。園庭遊具の種類を増やしたり、タイヤテーブル、丸太、ペニヤ板を作成するなど、園庭の遊具の整備、入れ替えを行なった。子どもたちがイメージを広げて遊べるための環境を整えた。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員同士で保育を学び合い、保育の質向上を高めている	
内容③	職員同士で、保育を語り合い、保育を学び合い、保育の継承に取り組んでいる。園長、主査、保育向上リーダーの4本柱を中心に進めている。振り返りや事例討議を行ない、子どもの捉え方や関わり方等について話し合い、日々の保育に活かしている。これらの取り組みを通して、職員間のチームワークを高め、困った時に助け合える体制作りや関係づくりの構築に努めている。さらに、近隣の私立保育園と一緒に合同で園内研修を行ない、互いの園での保護者対応や保育環境について意見交換を行なっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に遊べる園庭環境作りに取り組み、子どもの遊びに変化が見られている
	内容	子どもが自分の発想で遊べるようにしようと園庭環境の見直しに取り組んで今年で2年目になる。鉄棒等の固定遊具の他に、さまざまな可動遊具、高さ10cmと20cmの丸太、長い板と短い板、風呂椅子、タイヤテーブル、ベンチ、切込み入りの風呂マット、ゴザ、マルチパーツ、タイヤなどを子どもが自分で出しやすく片付けやすい場所に置いている。子どもが自分で使いたい物を組み立てて遊び、異年齢と一緒に遊び、年下の子どもが真似て組み立てようとし、出来ない時には年上の子どもが教えている姿が見られるようになっている。
2	タイトル	保護者にも優しく行き届いた園になるように、改善できることは早急に取り組んでいる
	内容	保育方針に「保護者の子育てを支える」掲げて、保護者にも優しい行き届いた園になるように、気づいたことや改善できることは早急に検討して対応している。幼児クラスの貼り出し日誌は保護者に読んでもらいやすいように通り道に当たるホールのベランダ側に掲示している。秋頃の夕方は暗くなり読みづらいと考え、照明を取りつけてもらい読みやすいように改善している。雨天時の登園の様子から、一時的に雨合羽を掛けて置く場所を作っている。
3	タイトル	年3回実施している「CHAYAあさひがし」は、保護者同士や保護者と職員との交流の機会になっている
	内容	迎えの時間を利用して、ちよっとお茶を飲みながらくつろいでおしゃべりする会「CHAYAあさひがし」は、6・9・11月の年間3回、17時～18時30分に、ホールで実施している。保護者にお茶(麦茶、紅茶、緑茶等)を飲んでもらいながら、七夕飾り作りや木製玩具を見てもらっている。6月は10名の参加、9月は6名の参加であった。事前にお知らせ掲示や園だよりに掲載するなどしているが、夕方忙しい保護者には、兄弟の迎えに行く、予定があるなどで、参加数は多くないが、保護者に保育を伝え、保護者と職員が交流する機会になっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者との子育てを進めるために、保育指導計画などを保護者に示す取り組みを期待する
	内容	園の保育目標は入園説明会で説明し、毎年4月の園だよりにも掲載している。年間保育指導計画のクラスの目標(一年間大切にしたいこと)や保育の見通しなどを春の保護者会で伝えている。取り組んだ活動の様子を連絡帳や貼り出し日誌、クラスだよりなどで伝えているが、指導計画のねらいや予定している活動などは説明していない。今後は、保護者との子育てを進めるためにも、活動した内容だけでなく、週案などの内容も示す取り組みを期待する。
2	タイトル	子どもが気分転換してくつろいで好きな遊びができる長時間保育環境の工夫を期待する
	内容	夕保育時間帯は子どもの人数が多く、できるだけ落ち着いて過ごせるように各保育室で過ごしている。幼児クラスは午後のおやつ後には園庭遊びをした後、室内遊びをしている。今後は、保育室だけでなく、ホールの活用なども考慮して、子どもにとって気分転換もできて、くつろぎながら好きな遊びができる夕保育時間の環境の工夫を期待する。
3	タイトル	高齢者などの地域のさまざまな人と関わり、子どもの経験の幅を広げる世代間交流の取り組みが望まれる
	内容	地域の人々との交流では、小学校や近隣の保育施設5園と交流し、お話しボランティアなどが来園し、関わっている。地域の商店街で行われる七夕祭りには、笹飾りや手作り神輿を展示している。今後は、これまで以上に高齢者等の地域のさまざまな人とかがわり、子どもたちが経験の幅を広げられる世代間交流の取り組みが望まれる。

7. 松庵保育園

調査対象	平成30年10月の配布時点で利用している在園児111名の保護者94世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。
利用者総数	111
利用者家族総数(世帯)	94
共通評価項目による調査対象者数	94
共通評価項目による調査の有効回答者数	78
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	83.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」3名(4%)、「母」54名(69%)、「父母一緒に」11名(14%)、無記入10名(13%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」47名(60%)、「満足」24名(31%)、「どちらともいえない」1名(1%)、「不満」2名(3%)、無記入4名(5%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の91%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問2「興味や関心のある活動」、問8「家庭と園との信頼関係の構築」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問11「緊急時の対応」、問13「利用者の気持ちの尊重」であった。
 ・総合的な感想では、「家では提供しづらい外遊びや手遊び、手づくりのおもちゃなどを体験させてもらっている」「日々の子育ての悩みにもアドバイスをもらっている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	77	0	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の99%で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「入園してから、身の回りのことが一人でできるようになり、驚くほどの成長を見せている」「天気の良い日には水遊びやお散歩をして、初めての経験ができています」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	71	6	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「紙粘土や絵の具など、家庭では難しい遊びも取り入れており、子どもは楽しんでいる」「色々工夫をして遊べるものを作ったりしてくれるので、子どもは興味津々になっている」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	69	8	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「いつも栄養たっぷりの美味しい食事になっている」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	66	8	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	6	2	14
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、保育時間の変更に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園に連絡するのがお迎え時間ぎりぎりになってしまうこともあるが、対応してもらっている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	59	15	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「設備自体が古いので段差などがあるが、先生方には注視してもらっている」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	28	4	2
「はい」と返答した方々は回答者の56%、「どちらともいえない」37%、「いいえ」4%非該当・無記入2%であった。「はい」と返答された方からは「保護者会や面談が平日なのは仕方がないが、そのほかの行事が土日開催なので助かる」、「どちらともいえない」と返答された方からは「年2回の保護者会について、今まではそのうち1回が土曜日に設定されていたが、今年からは両方とも平日になってしまった。職員の働き方改善も理解できるが、保護者会に参加しづらくなってしまふ」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	70	5	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の90%で、家庭と保育所との信頼関係の構築に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「連絡帳に何か書くと、朝やお迎え時間に気にかけてアドバイスをしてくれる」「子ども同士の関わりについて相談したとき、とても配慮してくれた」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	62	15	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「古いのがきれいにしている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	71	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	71	4	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「発熱や体調不良の際に、看護師と連携してすぐに対応してくれた」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	55	13	2	8
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「双方の言い分を聞いた上で、ルールを教えてくれている」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	71	6	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	63	5	3	7
「はい」と返答した方々は回答者の81%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	69	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	58	10	3	7
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	22	19	9	28
「はい」と返答した方々は回答者の28%、「どちらともいえない」24%、「いいえ」12%、非該当36%であった。「いいえ」と返答した方からは「そういう場面に遭遇したことがまだない。何か困りごとがあった際には園に伝えるよう言われている」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>毎月、指導計画を明示し、保育で大切にしていることを保護者に周知している</p> <p>玄関に保育園目標を掲示し、保護者・職員・関係者などへ周知している。事務室内に「すぎなみ公務心得三則」を掲示し、職員へ周知している。年度初めの職員会議で、保育の全体計画などについて確認し合い、共通認識を以て日々の保育を行なうようにしている。保護者に対しては、入園時に「園のしおり」を提示し、保育理念・目標などを周知している。また、毎月の指導計画を掲示し、園で大切にしている箇所にマーカーペンで色付けし、わかりやすく保護者に見てもらおうようにしている。</p> <p>「事務所だより」を発行・掲示し、保護者に園の取り組みについて周知している</p> <p>「事務所だより」を発行・掲示している。「事務所だより」には、「平成30年4月から保育所保育指針が改定されました。指針の中に“保育所は、こうした人・物・場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう、(中略)計画的に環境を構成し、工夫して保育しなければならない”という文章があります。環境の中に人が一番先にあり、私たち保育士の人的環境も含め、職員が日々保育向上できるよう努めて参ります」と記載し、保護者に園で大切にしていることを周知している。</p> <p>「係・役割分担表」などを作成し、職員が主体的に園運営に係れるようにしている</p> <p>「係・役割分担」について文書を作成し、職員個々の役割を明記し、全職員で園運営に関わるようにしている。毎日のミーティング、週1回の定例会議、月1回の職員会議などを通して、園の重要案件を検討、決定している。今年度の重点テーマに沿って、「園庭PJ」「室内PJ」「廊下を歩こうPJ」などのプロジェクトチームを設け、職員が自発的に改善に向けて取り組めるようにしている。また、「パート、アルバイト職員連絡事項ファイル」を設け、非常勤職員にも漏れなく情報伝達できるようにしている。</p>	
	カテゴリー2	
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1	

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

保護者会や、運動会の実施後、アンケートを実施し、意向を改善に活かしている

保護者会の実施前にアンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めている。また、運動会の実施後、幼児クラスはアンケートを実施し、その結果をクラスだよりに載せ、周知している。父母会でも、アンケートを実施し、保護者の意向を園長に提出している。園では、それを受けて、父母会役員・園長・主査・ベテラン職員で解決に向けて話し合っている。また、職員の提案や意見は、人事考課でのヒアリングで聴取し、組織に対する意向を定期的に把握している。職員の提案を受け、情報共有の促進を図るため、事務室内のレイアウトを変えている。

地域懇談会、地域子育てネットワーク連絡会に参加し、地域ニーズを把握している

近隣の公私立保育所の長が集まる地域懇談会に参加し、各園の取り組みや共通課題について情報収集している。児童館・小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会に参加し、地域の子育てニーズについて情報収集している。また、園長会や区保育課主催の各研修などに参加し、情報収集したり学びを深めている。区からの情報や新聞記事、専門雑誌などから、保育園をめぐる課題について情報収集している。把握したニーズは、職員会議などで意見交換し、課題を抽出し、その解決に取り組むようにしている。

保育課・園の組織目標と、個人の目標に落とし込み、計画的に園運営を行っている

区では中長期計画として「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。係(園)の目標から個人の目標を計画し、職員個々が何をやるべきか明確にし、さらにクラス保育に活かしている。計画に対しては、中間反省、年度末反省を行い、改善に活かしている。また、計画に合わせて予算の見積りや事業の見直しを行い、財政課の査定を受け予算編成を行っている。

カテゴリー3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評			
「CS・接客マナー評価」を使って、自分の言動を振り返る機会を設けている 入職時に、公務員としての規範・倫理遵守について指導を受けている。また、区保育課主催の実践的な研修に参加し、子どもへの関わり方などについて学びを深めている。区全体で「CS・接客マナー評価」を使って、職員個々が自己評価を行ない、自分の言動を振り返る機会を設けている。評価表には、「話し方・言葉遣い」「服装・頭髪」などの項目を設定し、「適度な丁寧語、敬語が活用され、より丁寧な言葉遣いのできている」などについて自己点検している。「五つ星の区役所づくり」の一環として取り組んでおり、実施後、園全体で集計している。			
入園時に保護者に、苦情・要望等の相談窓口についても周知している			

入園時に保護者に「松庵保育園のご利用にあたって一重要なお知らせ」を提示し、園の重要事項について説明している。その文書に苦情・要望等の相談窓口について明記し、保護者に周知している。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示し、保護者に周知している。保護者からの苦情・意見・相談は、直接口頭や連絡帳、電話相談などで寄せられ、毎日の昼のミーティングなどで、職員間で共有し、対応策について話し合っている。

園庭開放などを実施し、当園の専門性を地域に還元している

地域で子育てをしている親子を対象に、8月・3月・4月を除き、週1回、園庭開放・身体測定・栄養相談・育児相談を実施している。地域の私立認可園や小規模保育所に園庭開放を積極的に行なったことで、地域との交流が自然な形でできている。当園の子育て支援事業について、児童館作成の「地域ネットワークニュース」に掲載し、広報している。また、児童館に看護師・保育士などが出向き、子育て相談に応じている。また、子育て支援員の研修や保育士養成学校の実習生などを受け入れ、福祉人材の育成にも寄与している。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

計画的に避難訓練・防犯訓練を実施後、反省を行い、危機管理に取り組んでいる

区の「危機管理マニュアル」のほか、園独自の「危機管理マニュアル」を策定し、職員の行動指針にしている。「避難訓練実施計画」を作成しており、同計画に基づいて、月1回、火災・地震を想定した避難訓練を行っている。6月に消防署と連携し、総合避難訓練を実施している。また、救急法も学んでいる。年4回、Jアラート訓練も行っている。「防犯訓練年間計画」を作成し、年6回、不審者対策を実施し、通報の仕方、さす又の使い方などについて学んでいる。避難訓練・防犯訓練の実施後、反省・評価を行い、次に活かしている。

危機管理プロジェクトを設け、ロールプレイなどにより安全管理に取り組んでいる

危機管理プロジェクトを設け、アレルギー児がショックを起こした時の訓練をロールプレイで実施し、有事に備えている。「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員のリスク感性を高めている。同報告書では、その内容・状況、原因・問題、対応について記載し、職員間で情報共有している。また、区営繕課による修繕計画に基づく現場調査を実施し、ハード的環境の問題点・故障箇所を点検している。月1回、「園庭安全点検チェック表」を使って、玩具の破損などについて確認し、安全管理に取り組んでいる。

「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報管理を行っている。また、杉並区個人情報保護条例により、個人情報の取り扱いでは、危機管理意識を持ち、紛失・漏洩のないよう慎重に行っている。紙媒体の児童票などは鍵の付いた書棚で保管している。区で定めた文書保管期間に基づき、文書の保管・廃棄を行っている。保護者に対して、「区立保育園におけるビデオ撮影等及び画像データ提供について」の文書を配布し、保護者および職員が行う写真や動画の撮影に関する取り扱いについて周知している。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
----	------	--

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

正規職員は区人事課が募集・採用し、非常勤職員は保育課で募集・採用している
 正規職員は区人事課が募集・採用し、パート、アルバイト、嘱託職員は保育課で募集・採用している。年2回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、契約更新の可否を決めている。保育園職員人事異動基準において、職種ごとに在園の年限を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際は、園児の状況や職員の経験年数などのバランスも考慮し、決めている。

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている

職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている。区主催研修は、人事課において、在職年数に応じた研修を随時行っている。また、キャリアアップに必要な実務研修を保育課で実施している。保育課では、研修担当が必要なテーマを設定して実施している。特に新任職員から3年目までの職員に対して、育成担当者を設置し、新任職員育成計画を策定し、計画的に保育士としての知識・スキルを習熟できるようにしている。そのため、年3回、新任育成担当者会議を開催している。

日頃の挨拶や互いの声かけを大切にすることで、チームケアの向上に取り組んでいる

保育士・栄養士などの各専門性を活かし、園内の情報共有、課題への取り組み目標について共通認識を一つにすることで、連携促進を図り、働きやすい環境づくりに努めている。日頃の挨拶や互いの声かけを大切にすることで、職員間の良好な人間関係を築き、チームケアの向上に取り組んでいる。他方、職員同士が助け合い、休憩時間を確実に取れるよう取り組んでいる。年1回、ストレスチェックを行い、必要な場合、産業医に相談できる体制を整えている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「保育環境の整備、及び充実に努める」を重要課題とした。
- ・上記の目標達成に向け、次の取り組みを行なった。①園庭あそび・室内あそびの2つのプロジェクトを設けた、②月1回、研修報告会を実施し、職員全体で共有化した、③5月の職員会議で保育の全体計画について話し合った、④年間4回の巡回相談での助言を活かした子どもとの関わりを毎月のカリキュラムの中で報告した。
- ・上記の取り組みの結果、室内プロジェクトでは、発達に合った玩具の提供がスムーズに行えるようになった。園庭プロジェクトでは、講師を招き、園内研修を行った。子ども達の遊びに変化が見られるようになってきている。保育の全体計画は5月に完成し、保育実践に活かすことができた。研修報告は月1回実施し、研修内容に対して、積極的な意見交換が行われた。月1回のカリキュラムでは巡回相談の対象になった子どもの話のみならず、同じような姿の子どもへの様子の共有、関わり、保育の工夫などについて話し合った。
- ・今年度も、それぞれの理想とする環境やあそびの話合いを重ね、イメージの共有を図り、その実践に取り組んでいる。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・前年度、園庭と室内の2つのプロジェクトを作り、子どもの遊びについて考えることを、年間を通して行なってきた。園庭プロジェクトでは、講師を招き、職員から出た悩みなどへのアドバイスを受け、見直しを行なった。室内プロジェクトでは、各クラスから不要なものを集めたり、園全体で必要なものを把握したりして、整理した。職員アンケートでも、「保育環境の整備により、子どもたちが主体的に遊べるようになった」「園庭プロジェクトを通じて、子どもたちがじっくり遊べるようになった」などの成果について言及されたコメントが寄せられた。

評価項目2
 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

・前年度、「保護者と保育情報を共有し、子どものより良い成長に活かす」ことを重要課題とした。
 ・上記の目標達成に向け、保護者に対して、子ども達の発達の様子や遊びの様子を伝え、子育ての悩みや成長を共有することに取り組んだ。そのため、年間指導計画や毎月の指導計画、クラス便り(月1回程度)、貼り出し日誌(毎日)、週案(毎週)や写真などを使い、日常保育の様子やねらいを保護者に伝えていった。各クラスで個人面談の時期等に積極的に保育参加や参観を呼びかけた。園だよりの内容を検討し、保護者が読みたくなる紙面作りに取り組んだ。
 ・上記の取り組み結果により、保育参加や保育参観は好評で、希望者が増え、保育園の日常を知ってもらえる良い機会となっている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

・利用者調査では、保育内容の説明に関して、回答者の89%が満足と返答し、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。また、職員アンケートでも、当園の良い点として「父母会を通して保護者の意見を集め、保護者と園で改善できることの話合いを行なっている」が挙げられていた。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>区が発行する広報紙や情報冊子、ホームページ、園作成のチラシなどで情報提供している</p> <p>区が発行する広報紙や保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」、区のホームページなどで情報提供している。ホームページには、外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事園、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園のフェンスには地域向けの子育て支援「まつぼっくり*ひろば(園庭開放)」の案内を掲示している。散歩用のリュックに「まつぼっくり*ひろば」のチラシを入れて出かけ、散歩先で出会った親子に渡している。</p> <p>区の所管課や地域の関係施設と情報交換し連携している</p> <p>区立直営園であり、所管課にはさまざまな報告をして連携している。地域の児童館や中学校を主体とした地域ネットワークに出席し、近隣保育園との地域懇談会で情報交換をしている。地域の児童館、小学校、作業所、高齢者施設、町会長には運動会、卒園式の案内をしている。児童館で夏祭りの盆踊りを教えてもらっている。地域の保育施設4園と交流し、消防署には総合避難訓練で、消火器の使い方や通報訓練、AEDの使い方、心肺蘇生法の指導を、警察には、防犯訓練の不審者対応について指導してもらっている。</p> <p>火曜日の午前中を見学日にして受け、園舎内を案内し園の保育の特色などを説明している</p> <p>電話で問い合わせてもらい、火曜日の10時30分からの見学を受けている。1回につき5～6組までになっているが、希望が多い場合には金曜日にも受けて、園長または主査が対応している。見学者用の園概要を配布して、園舎内を案内しながら、園の保育目標や保育の特色などを伝えている。質問にも応じているが、入園時に準備する物、布団カバー、保育時間、延長保育などの園で答えられることは丁寧に説明している。9月の見学者数は9組、10月は15組であった。</p>		
サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園説明会を実施して重要事項や園利用の基本的なルールなどを説明している 入園内定者には事前に園医による健康診断と、記入してもらった「家庭連絡票」や「入園までの生活状況」などを基に面接を実施して、用意してもらう持ち物について見本を見てもらいながら説明し、就労や家庭の事情などを聴き取り保育時間を決めている。入園説明会は3月中旬の土曜日に実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」や「松庵保育園のしおり」を基に、園の概要や緊急時の対応、安全管理、個人情報保護、園目標、主な行事、家庭へのお願いなどを、園長や看護師、主査などが説明している。個人情報に関する同意書ももらっている。</p> <p>入園当初の保育は保護者の事情や意向を事前に聴き取り、柔軟に対応している 入園当初の保育については面接の時にカレンダーを渡して、就労や家庭の事情などを聴き、目安について話し合っている。初日は午前中一緒に昼食まで過ごしてもらい、乳児では昼食を食べさせてもらっている。2日目から母子分離して預かり昼食まで、3日目は昼寝までと、次第に時間を延ばす慣れ保育にしているが、家庭の事情や保護者の就労状況がさまざまであり、保護者の意向に合わせた柔軟な対応をして、早めに保育時間通りに預かることもある。迎えの保護者には日中の子どもの様子を詳細に伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>転園や退園、卒園などには子どもや保護者の不安を軽減するような配慮をしている 卒園する子どもの就学先の小学校に、保育所児童保育要録を送付しているが、保護者には5歳児の保護者会で園長が説明している。区内の区立園への転園先には、児童票(写)と健康カードを送付して、支援の継続ができるようにしている。途中退園の場合には、クラスで別れ会を開きメッセージカードなどを渡している。保護者には新しい育児環境に不安はないかなどと話を聴き、「園の夏祭りや運動会には遊びに来て下さい」、「近くに来た時には寄って下さい」などと伝えている。</p>			
サブカテゴリ-3			
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
---	--	-----------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
---	--	--------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
---	--	--------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して保育日誌や保健日誌、児童票などに記録している

入園時には健康診断で発育や健康状態を把握し、保育士など専門職が面接して、子どもの心身の発達や成育歴、入園までの生活状況などを把握して児童票に記載している。入園後は、毎月の身体測定や週1回の0歳児健診、年2回の定期健診、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果などを健康管理票や健康カードに記入している。乳児クラスは連絡帳で睡眠、食事、排泄、体温などの情報を収集して、幼児クラスは体調などを口頭で収集して保育をし、保育日誌や保健日誌に記録し、保育経過記録などを児童票に記入している。

指導計画は子どもの様子やクラスの状況を担任が話し合い、作成している

指導計画(月案)は半月ばくくらいから、子どもの様子やクラスの状況などを担任が話し合い、年間指導計画を基にして、翌月のねらいや具体的活動内容を設定している。1～5歳児は担任に加えて主査も一緒に話し合っている。保護者から連絡帳や口頭で寄せられる思いなども参考にしながら作成している。乳児クラスは毎月個別の姿とねらい、配慮を作成している。クラス保護者会で、クラス目標(一年間で大切にしたいこと)や見通しを伝えている。月の指導計画を貼り出して見てもらっており、幼児クラスでは週の活動も掲示している。

子どもに関する情報を共有するために職員会議、カリキュラム会議などを開催している

各クラスの月案を職員に配布して読んでもらった上でカリキュラム会議を開いている。カリキュラム担当と保育向上リーダー、園長・主査で会議の進め方について話し合っている。個別の子どもの事例などを基に、子どもの思い、読み取った保育者の援助、保育士士のやり取りなどを話し合っている。その他に、子どもに関する情報共有の為に、定例職員会議や昼のミーティング、夜会議、幼児・乳児打ち合わせなどのさまざまな会議を開いている。

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報保護に取り組み、子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園説明会において、「個人情報の取り扱いについて」説明し、同意してもらっている。区立保育園としてのビデオや写真撮影についての考え方も書面で提示している。療育機関に通園中の子どもについて就学するに際して、療育機関とのやり取りをしていいかどうかは保護者に確認してからしている。また、子どもの羞恥心への配慮として、水遊び、プール遊び、シャワー、着替え場所などには目隠しを設置している。</p> <p>子どもの人権を守り、子どもの思いを尊重して保育している</p> <p>子どもの気持ちに寄り添う保育を心掛けている。みんなで園庭遊びをしようという時に、室内で遊びたいという場合には、ベランダで遊ぶ、事務室で遊ぶなどを提案して、子どもの気持ちを保障している。子どもの誕生日当日には、誕生日バッジを付けて、みんなにお祝いの言葉もらい、クラスで誕生会をして誕生カードを渡している。クラスに写真付きでおめでとうの掲示をしている。幼児組では誕生児には誕生プレートで特別盛り付けの給食を提供している。子どもの人権を守るために、子どもの名前を「呼び捨てにしない」ことを確認している。</p> <p>子どもの言動や身体状況の変化などに気を配り、虐待の早期発見に努めている</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿った対応をして、保育士は日頃から、子どもの言動や身体状況の変化に気を配っている。傷やあざなどがある場合には原因を子どもに聴いたり保護者に確認したりして、園長に報告し、記録を取り、職員間で情報共有して、早期発見に努めている。園長は所管課や子ども家庭支援センターと連携して対応している。子ども家庭支援センターからの巡回ケースカンファレンスを受けている。職員は虐待研修を受講し、研修報告をして他の職員に周知している。</p>			
サブカテゴリ-6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>区立園共通のマニュアルを整備し、園独自のマニュアルを作成している</p> <p>区立保育園共通の「危機管理マニュアル」を整備している。園独自には「松庵保育園危機管理マニュアル」を作成して、事故、保育中の病気、食物アレルギー児への対応、エピペンの対応、朝夕延長保育及び土曜日の対応、散歩、クレーム対応など作成して綴じている。園の危機管理マニュアルは職員各自持ちにして、確認したい時にはいつでも見ることができるようにしている。</p> <p>マニュアルの確認は年度末にしているが、必要に応じて随時にも見直している</p> <p>マニュアルの確認や見直しは年度末に実施して、実際の業務と違っていることがある場合には差し替えをしている。当番の仕事の内容や用務の仕事内容、土曜保育の流れ等は、子どもの成長や出席人数の増減などにより変更になったりする。職員の中から、意見が出て、ミーティングなどで話し合い、対象のクラスでも話し合ってもらい、職員会議にかけて見直している。</p> <p>職員や保護者の意見や子どもの様子などから、取り組みを見直している</p> <p>前年まで保護者会を土曜日に実施していたが、土曜日保育の利用が多くなったため、平日の子どもの様子を見てもらえる日に魅力的な保護者会にすることにしたが、保護者からはさまざまな意見が寄せられている。夕方も園庭遊びをしているので、家に帰ると子どもの足が汚れているという意見をもらったので、室内に入る前には夕方足洗いをして室内に入ることにした。レインコート掛けがわかりにくいという声があったので、洗濯バサミの表示を分かりやすくして取り換えている。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの年齢発達や興味に合わせた玩具を用意して主体的に遊べる環境作りをしている</p> <p>乳児クラスは、食事や着替えなどの生活と遊びのスペースを低い玩具棚や衝立などで仕切り、落ち着いて生活できるようにしている。仕切りにはピンクの布カバーをかけて、安全と清潔感を確保している。遊びのコーナーには年齢発達に合わせた木製玩具や飲料紙パック製の手作り長方形積み木、ままごと、えほん、パズルなどが子どもが自由に使いたい玩具で遊べるよう設定している。幼児クラスでは木製積み木や絵本コーナーを設置し、5歳児では機織り機で編み物、4歳児は小型ブロックなど子どもの年齢や興味に合わせた玩具類や用具などを用意している。</p> <p>異年齢の自然な関わりを大事にし、幼児クラスでは「わくわくタイム」に取り組んでいる</p> <p>異年齢の交流は朝・夕・延長保育や土曜保育などで自然な関わりと大切にしている。幼児クラスの異年齢交流の活動とし「わくわくタイム」を年間4回開催している。3・4・5歳の3人組で活動する場を「おひさま広場」と呼んで、オリエンテーリングやゲームなど、運動会では金魚運びゲーム、行事の会食をしたりしている。その他にも異年齢で散歩でかけ、雨の日には一緒にリズム遊びをしている。</p> <p>子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちを受けとめて対応している</p> <p>1・2歳児の噛みつきやひっかきについては子どもの発達過程の姿であり、自分の思いを言葉で表現できないことから生じるので、「～ちゃんと～したかったのね」「噛まずに、～してねって言うんだよ」などと子どもの気持ちを言葉に変えて知らせている。保護者には相手の名前も出して状況を説明し、側にいた保育士が防げなかったことを謝罪している。噛みつきやひっかきを繰り返すような場合には、職員間で話し合い、側について関わりを深めたり、おもちゃの数やコーナー設定などの環境を見直すなどしている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている
 登園時には当番保育士や担任が受けているが、挨拶をして、子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をしている。乳児クラスでは連絡帳の記載内容を見ながら子どもの健康状態を保護者に確認している。幼児クラスでは必ず保護者と顔を合わせて、「変わりはないですか」などと家庭での子どもの様子を聴いている。前日に欠席をしたり体調を崩したりした場合には特に詳しく子どもの様子を聴いている。当番保育士は保護者に聴き取ったことや保護者からの連絡事項などは朝夕ノートに記入して、担任に引き継いでいる。

休息(昼寝を含む)の時間や長さは子どもの状況に配慮している

0・1歳児では、眠い様子の時には午前寝も夕寝もしている。夜の睡眠時間が短かく早めに眠くなる時には、早めに布団に入るようにしている。0～3歳児は食後にはトイレを済ませて、布団へ入るようにしている。4・5歳児は食事に入る時間も少し遅いが、13時過ぎには布団に横になり、寝かせつけるなどはせず、自ら眠るようにし、15時には起こしている。配慮が必要な子どもが眠れない時には別室で遊ぶなどの対応をしている。

日中の子どもの様子を一人ひとり保護者に伝えている

日中の子どもの様子は乳児クラスは連絡帳で伝えている。幼児クラスは、毎日活動の様子を貼り出し日誌に書き、読んでもらっている。乳児クラスは18時15分までは担任が当番に入り、幼児クラスでは幼児の担任が入るようにし、どのクラスにも主査が入っている。迎えの保護者には、日中の子どもの様子や連絡事項などを伝えることにしているが、迎えが混んでいる時は十分な対応ができない時もあり、一言でも子どものエピソードを伝えるように心がけている。日中の子どもの様子を担任が直接伝える必要がある場合には迎えを待って伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが遊びこめる時間や継続して遊べる場所を確保している

子どもの遊びこめる時間を確保するために、昼のミーティングで、ホールや児童館などの遊びの場所を調整している。乳児組は少人数で遊ぶようにし、できるだけ待ち時間を少なく、遊びが小刻みにならないようにしている。0歳児は午前中の遊びを11時20頃まで遊び、2歳児では、早めに眠くなる子や遅めに眠くなる子などを分けて行動してたっぷり遊べるようにしている。幼児クラスでは、積み木遊びのコーナーを設けて置いておき継続して遊べるようにし、小さなブロック遊びも制作途中の物を置いておく棚などを用意している。

集団遊びは子ども自らやりたくなって取り組むのを待つようにしている

「～してみたい」という子どもたちの発信を活動に結び付けている。散歩に行く際にも公園に行って何をしたいかなど、目的を「ドッジボールをしたい」などはっきりさせて出かけている。リズム遊びなどのクラスみんなで行っている遊びに入りたくない時には、無理に誘わず「見ていてね」と見てもらっている。しっぽ取りや氷鬼などのゲームも同様で、自分からやりたくなって入ってくるのを待っているが、時には「手をつないで一緒にやってみる?」大人が誘い掛けてみることもある。

戸外遊びでは自然に触れて遊び、自然の移り変わりに気づくような取り組みをしている

戸外遊びが心地よい季節になると、散歩には1・2歳児はほぼ毎日、幼児クラスも週2～3回出かけている。樹木があり自然の変化を感じられる公園や川渡りができる公園、坂道の上り下り、樹木の陰などでオオカミごっこ、駆け回れるグラウンドのある公園などに出かけている。季節の草花を見たり摘んだり、秋には木の実や木の葉を集めたりし、ダンゴ虫やトカゲ、蟬の抜け殻などで遊んでいる。カブトムシの飼育をしたり、芽づるのリース作りや芋版版画、木の葉を使った描画などの自然物制作をして、自然の変化に気づく取り組みをしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>7月の夏祭りには午前中、4歳児がお店屋ごっこをして雰囲気盛り上げている</p> <p>7月の夏祭りには、午前中に5歳児のお神輿の練り歩きの後、4歳児のお店屋ごっこをしている。夏祭りの雰囲気を出そうと子どもたちが話し合っ、焼きそば・たこ焼き、綿菓子、チョコバナナ・リンゴ飴、金魚すくいの店を開くことにした。みんなで粘土や折り紙などを使って制作し、チケットも手作りしてお店を開き、「いらっしやいませ」と店員になり切って大声を出して呼び込み、全クラスが買い物に来てくれたので、大盛り上がり夏祭りお店屋ごっこを楽しんだ。夕方から小学校で開かれた夏祭りでは、5歳児がお神輿とソーラン節を披露している。</p> <p>運動会ではみんなで協力して取り組み、達成感を味わっている</p> <p>運動会(ファミリーフェスティバル)は3・4・5歳児が中心に実施している。4歳児はバルーン、5歳児は縄跳びで組体操を披露し、獅子舞、リレーにも取り組んだ。子どもたちと何をしたいのか話し合い、去年のことも思い出してバルーンをしようということに決まった。5歳児の縄跳びは縄の片手回しからカードを作るなどして一つずつできるようにしていき、組体操の様子をビデオに撮るなどして子どもたちと動きを確認して取り組んでいた。運動会が終わり、5歳児の獅子舞に憧れた3歳児が踊って他のクラスに見に来てもらうなどしている。</p> <p>行事に向けて取り組んでいる様子をクラスだよりや写真掲示などで知らせている</p> <p>年間行事予定表は4月上旬に配布している。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子を、幼児クラスは毎日の貼り出し日誌を読んでもらったり、玄関に写真とコメント付きの貼り出しを掲示して見てもらっている。クラスだよりも発行している。運動会だよりを5号発行して、子どもたちの取り組みの様子や見どころ、注意事項やお願いなどを伝えている。会場の小学校の校庭(雨天時体育館)では昼食のお弁当(任意にしている)を持参して、クラス每一緒に食べている姿も見られる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕方保育では、子どもが落ち着ける場所で好きな遊びで遊べるようにしている</p> <p>少人数で過ごすことを大切に、0・1歳児はクラスで朝夕保育をしている。0歳児は遊び用の布団を敷いている場所、1歳児は畳のほふく室などで良く遊んでいる。幼児クラスでは、続いている2～4歳児保育室を活用して行き来できるようにし、子どもが遊びたい場所で遊べるようにしている。</p> <p>子どもがくつろげる環境にしてゆったりと過ごしている</p> <p>延長保育の現在の利用児は、全体で10名程であり、延長保育をしている2歳児室ではままごとコーナーや絵本のコーナーなどで、壁に寄りかかったりしてゆったりと絵本を読んだりしている。狭いスペースを作っているの、ゆっくり一人で遊びたい時などはそこを使って遊んでいる子どももいる。延長保育用の玩具として、静かに遊べるパズルや小さなブロックなどである。色鉛筆なども用意して絵描きをしたりしている。</p> <p>延長保育は異年齢の自然な交流の場になっている</p> <p>延長保育利用児はいつも同じ顔ぶれであり、1～5歳児の兄弟関係もいるので、年上の子どもの側に年下の子どもが近寄って遊びを見ていると、年上の子どもが「いいよ」と声を掛けて一緒に遊んでくれる姿が良く見られる。兄弟ではなくても年下の子どもの面倒を見たい子どももいて、手をつないだり一緒に遊んだりして自然な異年齢の関わりがある。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

区立園共通献立の給食を提供し、誕生会プレートなどの給食を楽しむ工夫をしている

区立園共通の献立を使用して、園の調理室で安心安全な食材を使ってバランスのとれた給食を手作りしている。幼児クラスでは、誕生日の子どもには献立は同じだが盛り付けや食器を工夫したお誕生日プレートで給食を提供しているので、子どもは楽しみにしている。また、1日一人、月に4回程度、おかずやスープ(汁)の中に、季節の行事の際、七夕、ひな祭り、12月のお楽しみ会、3月のお別れ会食には会食会をしている。

「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って対応し、除去食を提供している

「食物アレルギー対応マニュアル」に沿って対応し、保護者から「アレルギー除去申請書」を提出してもらい、現在、卵、牛乳、山芋、ナッツ類の対応をしている。月末に翌月の献立表の除去食品にチェックをして提出してもらい、栄養士、看護師、園長・主査、担任がアレルギー会議を開き、園の対応を確認している。毎日のミーティングでも翌日のアレルギー確認をしている。除去食品と子どもの名前入りのプレートを載せ、トレーで配膳した除去食を調理と保育士で確認して受け取り、最初にテーブルに配膳して、保育士は誤食防止に細心の注意を払っている。

野菜や稲の栽培、食材に触れる経験などを通して食への関心を高めている

園庭のプランターできゅうり、ピーマン、とうもろこし、オクラ、メロンなどの野菜を栽培している。子どもたちも一緒に土作りをして水やりをし、生育を観察して収穫の喜びを味わっている。稲も育て、稲刈りや脱穀も経験している。この米は保育室でガラスの鍋で炊き、炊き上がる様子を見たり、匂いを嗅いだりして炊き立てを食べている。そら豆のさやむぎなどの食材に触れる経験をしている。子どもたちに栄養について知らせ、今日の食材にどの栄養があるかの展示をして知らせている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の健康や安全に関心を持って、怪我や病気から身を守るようにしている
 年間保健計画を作成して健康教育に取り組み、幼児クラスを対象に、歯磨き、靴を正しく履く、うんちの話、内臓の話などを行っている。年齢に合わせて適切な長さにし、絵本やエプロンシアターなどを使って、視覚的に子どもに伝えるようにしている。手洗い指導は2歳児からにして、歌を歌いながら洗って見せ、実際に子ども達も洗う取り組みをしている。看護師による健康教育は担任と相談して実施している。日常の保育の中では、遊具の安全な使い方や遊び方などを、散歩時には道路の歩き方などの交通ルールを子どもたちに伝えている。

医療的ケア児への援助ができるスキルを園長が持っている

園長が重度の支援が必要な利用者の施設に11年の勤務経験があり、援助ができるスキルを持っている。薬の預かりは原則的にしていないが、慢性疾患などの為に薬なしでは健康的な日常生活ができないと診断され、園での服薬等の指示がある場合に限り、預かり服用している。嘱託の園医の来園は週1回の0歳児健診と年2回の定期健康診断であり、子どもの健康に関する相談をして助言をもらっている。

「ほけんだより」や保健掲示などで、子どもの健康維持に向けた情報を提供している

毎月発行の「ほけんだより」には、前月の園児の健康に関する情報や今月の保健行事、生活リズムの大切さ、虫よけ対策、熱中症、感染症情報など、健康維持に関する情報を掲載して保護者に知らせ、虫刺されの対応や処置なども詳細にわかりやすく伝えている。保健掲示コーナーには、感染症情報や保健に関するポスターなどを掲示している。園で感染症が発生した時には、病名、発生クラス、症状、潜伏期間などの情報を提供して注意喚起している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の対策として、園における昼寝時には午睡チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の家庭や仕事の事情を聴き、可能な限り配慮して対応している

保育時間の調整の申し出には、職場の事情や仕事の状況などを伝えてもらい受けている。身体が不自由な状況の保護者には迎えの際に荷物をまとめておくなどし、双子の子どものお迎えの場合には一人をパートと一緒に玄関まで連れていくなどの協力をしている。保護者が感染症になった時には、連絡をもらって子どもを門の所まで連れていっている。保護者から育児相談なども受けているが、必要に応じて、専門機関を紹介したり情報提供をしたりしている。

クラス保護者会を年2回実施して、保護者同士の懇談の時間を多く設定している

クラス保護者会を年間2回実施している。前期は5～6月、後期は1～2月に実施している。前期の保護者会では、園から子どもの年齢発達の姿やクラスの保育でしていきたいこと(クラス目標)を伝え、子どもたちの生活や遊びの様子を映像にしてスライドショーで観てもらっている。子どもたちが好きな手遊びやふれあい遊びを紹介したり、懇談をするなどもしている。懇談のテーマをアンケートしたり、連絡帳などで寄せられる保護者の育児の悩みなどにして、話し合ってもらっている。1歳児と4歳児はおやつ終了後に親子で一緒に遊ぶ時間を設けている。

保育参観・参加と個人面談を実施して、園の保育を知ってもらっている

保育参観・参加はいつでも受けることにしている。個人面談は期間を決めて実施しているので、現状では、保育参加・参観と個人面談を1日にする家庭が多い状況である。参観や参加は午前9時30分頃から午前中に行っている。参観は普段の子どもの様子を目隠した所から見てもらっている。サングラスにエプロンなどで変装してほとんどしゃべらず一緒に散歩に行くこともある。参加は子どもと一緒に遊んでもらい「おとうやん先生」と呼ぶ子どももいる。個人面談は午後から実施している。保育参加の感想を寄せてもらい、玄関ホールに掲示している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>近隣の介護施設を年3回訪問して高齢者と交流している</p> <p>近隣の介護施設を年3回5歳児が訪問している。3回目には4歳児も一緒に参加して、歌を歌ったり、ソーラン節を披露したり、わらべ歌遊びを一緒にしたりして、施設利用者から折り紙作品をプレゼントしてもらったりしている。小学校とは授業交流を年1回している。12月頃に5歳児が訪問してランドセルを背負う、授業体験、給食体験もすることになっている。併設の児童館とは総合避難訓練を一緒に行い、雨天時には遊戯室、乳児室を使用させてもらっている。5歳児は地域の公園の花壇に花を植えるボランティアをして、草取りや水やりもしている。</p> <p>毎月2組のお話しボランティアが来園して、お話をしてくれている</p> <p>お話しボランティアとして、おばさんずの方2~3名、パズ読み隊から2名が、それぞれ月1回来園し、素話や絵本、紙芝居などを2~5歳児の10名くらいの子どもに30分位してくれている。その他に、大学の医学部学生10名による、「ぬいぐるみ病院ごっこ」のボランティア活動を年1回受け入れている。図書館から年1回来園してお話をしてくれている。</p> <p>子育て支援事業で園庭開放を実施し、地域の親子や保育施設が利用している</p> <p>園の子育て支援事業として、園庭開放(まつぼっくりひろば)を実施している。地域の保育施設4園から、園庭開放に参加している。幼児数が少ない保育施設3園からはリズム遊びに参加し、園庭で遊んだりしている。まつぼっくりひろばの参加人数は個人の親子6組、近隣保育園など7名であり、多くはない。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	子どもが主体的に遊び込める園庭の環境作りに取り組んでいる	
内容①	園庭遊びのプロジェクトが中心になって、子どもが主体的に遊び込める環境作りについて話し合っている。特に、園庭遊びは前年に講師を招いて園内研修を実施し、園庭の遊具の設定や遊ばせ方などを学び、園庭の物の位置、数、作成する物、購入する物等を検討して進めてきた。いくつかの小集団で遊べるエリアを作るようにし、テーブルや風呂マット、洗面器、タイヤのドラム缶などを用意したことから、子どもたちがイメージを広げて小集団で遊ぶようになるなど、子どもの遊びに変化が見られるようになってきている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	地域の小学校で実施されている「松庵親子祭り」に参加し、地域交流をしている	
内容②	7月20～21日の17時30分～20時に地域の小学校で実施されている「松庵親子祭り」は地域の親子で交流し楽しんで子どもたち育てようとする催し物で、町会、自治会、商店会、小学校のPTA、児童館、地域の幼稚園などと一緒に保育園も実行委員会のメンバーになっている。校庭にやぐらを組み、幼稚園や保育園の園児の踊りや盆踊り、花火の打ち上げ、焼きそばなどの出店、地域の芸能保存会の舞台もある。当園の5歳児は手作りお神輿を担ぎ、ハッピを着てソーラン節を大勢の参加者に披露し、4歳児は手作りうちわで5歳児の応援をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者との共育を旨として、園の活動の様子を保護者にわかりやすく伝えている	
内容③	保護者との共育を旨として、園の保育を伝えるために、連絡帳や幼児の貼り出し日誌の他に、クラスだよりを月1回発行している。また、各クラスがスケッチブックを利用して、写真を掲載し子どもたちの活動の様子を分かりやすく保護者に伝えている。保育参観・参加はほとんどの家庭に参加してもらい、保育活動を知ってもらえる機会になっている。園の廊下の掲示板には全クラスのクラスだより、園便り、ほけんだよりを掲示し、前号も見ることができるよう工夫して、子どもたちの様子や成長を保護者と共有できるように取り組んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	不要な玩具類などを整理し、必要なものを取り入れ、子どもが主体的に遊べる保育室環境作りを進めている
	内容	室内プロジェクトを中心に、子どもが主体的に遊べる環境作りを検討し、進めている。各クラスから不要なものを処分して、玩具類の整理を行い、年齢に合っているかどうかなどをみんなで話し合い、子どもの発達に合った玩具を揃え、園全体で必要なものを考え合ったりして整備している。木製玩具や木製積み木、ままごと、絵本、パズルなど、子どもが自由に使いたい玩具で遊べるよう設定している。利用者調査結果では、園での活動はお子さんの心身の発達に役立っていると思うかの問いに、99%の肯定回答が寄せられ、非常に高い評価を得ている。
2	タイトル	医大学生ボランティアによる「ぬいぐるみ病院ごっこ」を受けている
	内容	医学部の大学生10名によるボランティアが、病院の診察の恐怖心を軽減することをねらいに、5歳児を対象に「ぬいぐるみ病院ごっこ」をしてくれた。患者はぬいぐるみ、保護者は5歳児、学生は病院スタッフの設定で、白衣の病院スタッフが、保護者役にぬいぐるみの症状を真面目に聴き診察してくれる。5歳児は緊張しながらも患者（ぬいぐるみ）の病状を言葉で一生懸命に伝え、聴診器で自分の胸の音を聴かせてもらうなどして、「ぬいぐるみ病院ごっこ」を楽しんだ。それ以降、5歳児が年下の子にぬいぐるみを抱かせて診察する病院ごっこで盛り上がった。
3	タイトル	地域子育て支援事業「まつぼっくりひろば（園庭開放など）」には地域の保育施設も参加している
	内容	地域の子育て支援事業としてまつぼっくりひろば（園庭開放・身体測定）を4月8月3月を除いた月に週1回実施している。地域の保育施設6園と交流し、散歩先で一緒に遊んだり、園庭開放を利用してもらったり、幼児が少数の園はリズム遊びや園庭遊びで幼児交流をしたりしている。民間保育園の職員が園に見学に来たり、救急救命講習への参加を呼び掛けるなど、園同士の交流も始まっている。児童館が発行している地域ネットワークニュースに松ぼっくりひろばの情報を掲載してもらっている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後は、異年齢交流のねらいを明確にして計画的に活動出来るよう異年齢保育計画の作成が望まれる
	内容	朝夕保育や土曜日保育などの異年齢の自然な交流の他にも、他のクラスと一緒に散歩に出かけたり、リズム遊びたりしている。わくわくタイムとして、3～5歳児が異年齢の3人組になり、ゲームなどで遊ぶ取り組みも、幼児クラス担任同士で話し合いながら取り入れている。今後は、異年齢交流のねらいを明確にして、具体的活動が計画的に取り組めるように、異年齢保育計画の作成が望まれる。
2	タイトル	園運営にあたっては、保護者の意向を定期的に把握し、保護者の意向と大きなズレが生じていないかどうか確認していくことを期待する
	内容	利用者調査では、行事日程の設定に関して、肯定的返答56%、消極的・否定的返答41%、非該当・無記入2%であった。「年2回の保護者会について、今まではそのうち1回が土曜日に設定されていたが、今年からは両方とも平日になってしまった。職員の働き方改善も理解できるが、保護者会に参加しづらくなってしまふ」などのコメントが記入されていた。今後は、園運営の方針や内容の説明責任を十分に果たすと共に、保護者の意向と反していたり、大きなズレが生じていないかどうか、保護者の意向を定期的に把握することが望まれる。
3	タイトル	チェックリストなどを活用し、職員個々が自己の振る舞いを見直す機会を設けることを期待する
	内容	利用者調査では、職員の接遇・態度に関して、回答者の91%が満足と返答していた。しかし、「職員によって差がある」「一部の職員の不適切な言葉遣いを聞いたことがある」などのコメントも寄せられていた。また、評価員の調査時、職員同士での会話の中で、子どもの呼称について不適切な発言も聴かれた。ベテラン職員といえども、再度、呼称を含めて、子どもや保護者へのマナーについて、チェックリストなどを活用し、自己の振る舞いを見直す機会を設けることを期待する。

8. 荻窪東保育園

調査対象	平成30年10月の配布時点で利用している在園児76名の保護者65世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。
調査方法	クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。
利用者総数	76
利用者家族総数(世帯)	65
共通評価項目による調査対象者数	65
共通評価項目による調査の有効回答者数	50
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.9

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」1名(2%)、「母」38名(76%)、「父母一緒に」4名(8%)、無記入7名(14%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」39名(78%)、「満足」10名(20%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の98%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問8「家庭と園との信頼関係の構築」、問9「清潔、整理整頓」、問10「職員の言葉遣いや態度、服装など」、問11「緊急時の対応」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問14「プライバシー保護」、問15「保育内容の説明」であった。
 ・総合的な感想では、「日頃の子どもに対する接し方、姿勢、保護者に対する説明など、全てに関して質の高さとプロ意識の高さを感じる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	0	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「同じ年齢位の子どもと接して、よい刺激を沢山受けている」などのコメントが記入された。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	2	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「職員の方々が、子どもの気持ちに寄り添い、子どもが興味を持つことを色々考えくれるので、子どもが、“できた”という経験を日々沢山身に付けてきている」などのコメントが記入された。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	48	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「食事は丁寧に汁をとって、美味しい」「食育として、園庭で育てた野菜を、子どもたち自ら処理したり、調理の手伝いなどもあるのが良い」などのコメントが記入されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	48	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「近くの公園での水まき、タケノコ掘りなど、都会ではあまりできないことも、子どもたちが体験できるのがよい。またベランダにゴザを敷いて、風を感じる時間を持たせたりもしている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	40	2	1	7
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答された方からは「急な残業でギリギリに電話しても、快く受け入れてくれる」「電車が遅れたときも柔軟な対応をしてくれた」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	40	7	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「避難訓練など、日頃から実施されているのが良い」「不審者などの心配な情報が入ったときも、施設強化などの適切な対応をしてくれた」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	11	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の72%で行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「年度始めに決められない行事日程もあるかと思うが、早めに連絡してくれるとありがたい」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	0	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、家庭と保育所との信頼に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「迎え時に、子どものその日にあったエピソードの1コマを話してくれる先生がいて嬉しい」「様々な悩みや気になることを、職員はよく聞いてくれ、一緒に考えてくれる」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答しており、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「土曜登園のとき、園児が休んでいる間に、布団の乾燥、玩具の洗濯、洗浄、漂白しているところを見つけた」「施設の古さはあるが、きれいになっている」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	49	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「0～2歳児のときは、個別の連絡帳で担任の先生とやりとりがあり、子どもの様子がよくわかった」などのコメントが寄せられた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	48	1	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の96%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「こまめに病院に連れて行ってくれた」「子どもの急な体調の変化にも、丁寧に対応してくれるので安心できる」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	39	3	0	8
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「子ども同士のトラブルへの職員の適切な対応には、いつも感謝している」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	50	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答しており、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「とても心のびと過ごせている様子で安心している」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の98%で、プライバシー保護に関して非常に高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	47	3	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「活動の中で、どんなことを学んでいるのか、折々で説明してくれるので勉強になる」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	3	0	5
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	24	9	4	13
「はい」と返答した方々は回答者の48%、「どちらともいえない」9%、「いいえ」4%、非該当・無記入26%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「これまで困ったときがない」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
◎あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
カテゴリー1の講評		
「園だより」「クラスだより」を保護者に配付し、園の活動の様子を周知している 保育理念・方針や、保育目標を事務室に掲示し、職員への意識づけを図っている。保護者に対しては、入園説明会等にて保育目標などを周知している。保育園は、子どもたちの安心できる場所であることを伝え、入園前に安心していただくよう心がけている。また、「園だより」「クラスだより」を保護者に配付し、園の活動の様子を周知している。「園だより」では、園児の様子を知らせると共に、子育てのヒントになるような記載に努めている。「クラスだより」は今年度から月2回発行し、各クラスの活動の様子や、保育士の思いなどを伝えている。 保育の向上リーダーを配置し、保育の質向上に向けて討議している 園長・主査の役割や事務分担を明記した文書を作成し、各クラスのマニュアルの中に綴じ、いつでも確認できるようにしている。職員緊急連絡網を作成し、災害時における情報伝達の順番を明らかにしている。また、園長・主査に加え、保育向上リーダー2名を4本柱とし、保育の質向上に取り組んでいる。保育向上リーダーは、保育課主催の「保育の向上を考えるリーダー会議」に参加し、他園の取り組みも参考にしながら、保育の質向上に積極的に取り組んでいる。 日々の職員間の情報共有や、園内の問題課題について検討する場を明らかにしている 週1回の定例会議では、園長会の報告や研修報告、行事の反省、イベントの報告、園の課題などについて協議している。また、毎日の昼のミーティングを実施している。同ミーティングでは、翌日の職員体制、ヒヤリハット・事故報告などについて情報共有している。さらに、月1回未満で、職員会議を開催し、保育計画について討議している。その他、各クラスのミーティングや行事(卒園式、運動会、けやきランド、お楽しみ会)などのプロジェクトによる話し合いを随時行っている。		
カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1		

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリ2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
------------------	------------------	-----

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリ2の講評

保護者の意向や要望、職員の提案などを改善に活かしている
運動会や保護者会の実施後にアンケートを行い、保護者の意見や要望を把握している。運動会へ寄せられた意見は、その一つひとつに回答・掲示し、保護者に周知している。寄せられた保護者の要望・意見を次回の改善に活かしている。また、職員の意見・提案も把握し、改善につなげている。その一例として、研修受講後すぐに研修レポートを提出しているが、研修報告会はすぐに会議が開催できないこともあるため、研修レポートを1階の職員休憩室に掲示するようになった。さらに「2階にも欲しい」との要望があり、2階にも掲示している。

地域子育てネットワーク会議などに参加し、地域の子育てに関するニーズを収集している
小学校・保育園・保健センター・児童館・学童クラブなどが参加する「行政連絡会」や、区保育課主催の地域の認可保育園、認証保育所、杉並区子供園、杉並区保育室などの保育関係施設の長が集まる「地域懇談会」、「地域子育てネットワーク会議」などに参加し、地域の子育てに関するニーズを収集している。また、園長会などに参加し、園長が、区立直営園に求められている役割を職員へ伝えている。また、園長は、区から届く情報誌などを読み、職員全員に知らせたほうが良いものに付箋を付けて回覧している。

園の目標を定め、半期ごとに反省・評価を行っている
区では中長期計画としては、「杉並区保健福祉計画」(平成30～33年度)を策定し、その中で、保育園に関する方向性を示している。また、区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、年度初めに「係の目標シート」を策定し、当園の目標を明確化している。さらに目標達成に向け、その実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。

カテゴリ3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリ1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評			
区主催の研修会に参加するなどして、区立直営園として大切にしていることを学んでいる 区主催の新任職員研修で、杉並区の保育士として何を大切にするのか、どのような保育に力を入れているのかなどを学んでいる。また、「一般嘱託員研修」では、杉並区の保育実践方針を通して、杉並区が大切とする子ども観や保育観を学んでいる。また、子どもへの対応について記載した書面を作成し、非常勤職員に周知している。そこには、「命令、指示、禁止語を極力なくし、子どもの行動には、すべて意味がある」「子どもの力を信じ、寄り添う保育を提供していきます」など、子どもへの関わり方を具体的に明記している。			
入園説明会で苦情・要望等の相談窓口について保護者に説明している			

入園説明会で苦情・要望等の相談窓口について保護者に説明している。まずは担任保育士が窓口になり、そこで解決が難しい案件は事務室(園長・主査)で対応している。また、「杉並区保健福祉サービス苦情調整委員制度」の書面を掲示している。平成30年8月発行の「平成29年度杉並区保健福祉サービス苦情調整委員 運用状況報告書(平成29年4月～平成30年3月)」での「保育園に対する苦情」を職員へ回覧し、他保育所での保護者の苦情なども情報共有し、園運営に活かすようにしている。

地域の私立園の子どもたちが起震車体験に参加するなど、地域に貢献している

地域の在宅で子育て中の親子を対象に、身体測定(月1回)、園庭遊ぼう会(週3回)を実施している。保健センターに子育て支援事業について周知したり、掲示している。また、運動会の実施にあたっては、小学校・児童館・図書館にポスターを掲示し、参加を呼びかけている。近隣の私立園の子どもたちが、起震車体験、焼き芋、環境学習に参加し、協働体制を整えている。児童館の乳幼児対象のイベントで、園長が出張講演を行い、保育園と幼稚園の違い、保育園の1日、おもちゃなどについて説明したり、参加した子育て中の親の質問に答えている。

カテゴリ-4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ-4の講評

他保育所で起こった事故なども情報共有し、類似事故がないよう注意喚起している

「危機管理マニュアル」を保管し、災害・事故発生時、迅速に対応できるようにしている。他の保育施設で起こった事象は園でも起こる可能性があると考え、昼のミーティングで、他区保育園の事故や、区内他保育園のヒヤリハット事例などについて情報共有し、類似事故がないよう注意喚起している。また、区保育課主催の「保育の中の危機管理～保育施設での事故予防～」をテーマとした研修に参加し、危険性を予知したうえで安全な環境をつくることの大切さを学んでいる。

防犯・防災訓練を年間計画に基づいて、有事に備えている

小さなリスク(ヒヤリハット)や危険箇所などを「情報共有ノート」に記載し、職員間で情報共有している。防犯・防災訓練に関する年間計画表を作成し、避難訓練は月1回、不審者対応訓練は年9回、計画に基づいて実施している。その際は、職員の役割分担について確認し合い、迅速に動けるようにしている。毎日、遅番職員がチェックリストを使って、園舎内の設備について点検している。環境プロジェクトが、随時、園庭遊具を点検・修理している。

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている

杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。杉並区個人情報保護条例に基づいて、情報収集の目的・使用範囲等を明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう努めている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行っている。パソコン・カメラなどは鍵のかかる書庫で保管し、毎日施錠を点検している。児童票は、暗証番号のあるボックスで保管している。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

12/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賞金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
----	------	--

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ5の講評

年1回以上、園長は職員個々と面談を行い、能力開発を図っている

年1回以上、園長は職員個々と面談を行い、仕事目標を定め、目標への達成度を振り返り、能力開発を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をし、個々の思いを把握するようにし、契約更新の可否を決めている。区全体で人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。当園内で、クラス担当を決める際、園長・主査でクラス担任(案)を作成し、職員会議で協議、決定している。その際は、園児の状況や、職員の年数のバランスなどもできる限り考慮し、職員の納得を得るように努めている。

新任職員には、育成担当者を配置し、丁寧な育成を行っている

職員育成は、区保育課・人材育成課主催の研修や園内研修、外部研修、OJT、自己啓発などで行っている。新任職員の育成に関しては、2か月ごとに「新任職員報告書」を作成している。同報告書には、新任職員が〈学んだこと〉〈振り返りと次月への課題〉など、育成担当者が〈新任職員の姿〉〈育成担当者の振り返りと次月の課題〉を記載している。育成担当者対象の研修も設けてあり、育成に関わることで、これまで自分が取り組んできた仕事の意味や方法を見直すなど「教わる側」だけでなく「教える側」双方の成長を促している。

働きやすい職場をつくることを目的に、チームワークの向上を目指している

週1回、ノー残業デイを設け、残業削減に努めている。有給休暇の取得を奨励している。人によって有給休暇の取得に差があるため、園長がリフレッシュ休暇を取得するよう該当者に伝えている。今年度、働きやすい職場をつくることを目的に、チームワークの向上を目指している。そのために、①事務仕事の効率化を図り、保育と事務のバランスを保つ、②会議の効率化、有効化を図る、③職員の良いところを探すなどに取り組んでいる。また、行事後の打ち上げなどを開催し、組織内のコミュニケーションの活性化を図っている。

カテゴリ7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリ1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「保育の質の向上」を重点課題に掲げた。
- ・上記の目標達成に向け、3つのプロジェクト(①食育②環境③0歳児産休明け)を設け、職員を3つのグループ(①栄養士・調理師・保育士チーム、②用務・保育士チーム、③看護師・0歳産休明け保育経験者チーム)に分け、小グループで討議、作業を行なった。6月に目標を設定し、11月に中間報告、3月に最終報告という年間計画を作成した。3チームとも職員会議にて、内容や手順予定を報告後に作業を開始した。①乳児クラスでは、食育に関して、産地の描いてある日本地図を作成し、2階乳児フロアに掲示した。幼児クラスでは、調理室前に翌日使う野菜の展示を開始した。②園庭樹木のネームプレートを新たに作成し、わかりやすく表示した。幼児向けにサッカーゴールを作成し、さらに水道管を遊具に追加した。③産休明け9名定員のデイリープログラムを作成した。
- ・今年度も、継続して、「保育の向上を目指す」ことに取り組んでいる。

目標の設定と取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・乳児と担任が産地マップを見て会話をしたり、調理室前の野菜を実際に見たり触れることで子ども達はもちろん、保護者も関心を寄せている。食材を通して、親子の会話につながっている姿が見られた。樹木のネームプレートは色を付け明るくなったので、子ども達も気づいて名前を読む子がいて身近になった。サッカーゴール完成し、今年度サッカーゴール設置場所を決め使い始めている。メンテナンスはその都度行っている。子ども達が使いたい玩具がすぐ手に取れる園庭遊具設置を継続して検討中である。マニュアルに基づいて、当園の産明け保育の継承を実践している。今年度も、保育の質向上にむけ、①新保育指針の話し合い、実践方針や全体の計画を基にした保育を行なうことに取り組んでいる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

- ・前年度、「保護者との信頼関係を深める」ことを重点課題に掲げた。
- ・上記の目標達成に向け、情報の発信、提供をクラス便り、公開日誌等、より伝わりやすい記述を行うことや、5月・6月(春)と、12月～2月(冬)の各クラス2回の保護者会に、“参加して良かった”と思えるように、会のオープニングの工夫、内容の充実、保護者同士の懇談の場を提供することに取り組んだ。
- ・上記の取り組みの結果、クラス便りは月に1回発行を基本にしたが、発行できないクラスもあった。公開日誌は日々の様子の一コマを写真を付けて記入したり、行事では幼児クラス合同日誌で1枚のパネルにして掲示を行った。保護者会の実施にあたっては、各クラス工夫を凝らした。資料の配布もその時々でクラスの悩みや保護者の悩みにあったものを作成した。
- ・今年度も、保護者に保育を伝え、共育をすすめることに取り組んでいる。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

・クラス便りは配布した翌日に連絡帳を使い、感想を記入してくれる保護者がいるなど、職員の励みになっている。保護者会の出席率は各クラス90%以上で、当日遅れての参加や欠席の保護者には後日個別対応を行なっている。今年度、連絡帳・お便り・日誌・保護者会など、さまざまな方法で保育園の生活と保育について保護者に発信している。クラス便りが月2回発行になり、保護者への日々の保育に関する情報をより多く提供できるようになった。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ-1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリ-1の講評			
<p>区のホームページや保育施設情報冊子、園の掲示板で情報提供している</p> <p>区のホームページや区が発行している広報紙、保育施設情報冊子「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内には、保育園の外観写真、住所、対象年齢、定員、保育時間、保育目標、地図、主な行事、保育園の特色、園の見取り図、保育活動の写真などが掲載されている。園では、年3~4回発行のけやき通信(地域向けの園だより)を地域の児童館、図書館、保健センターに置かせてもらっている。園の外向け掲示板では地域子育て支援事業(園庭開放など)の案内をしている。</p> <p>区立直営園であり、所管課や関係機関などと情報交換し連携している</p> <p>区立直営園であり、区の所管課には月報を始め子育て支援事業や延長保育、施設管理関係などのさまざまな報告をし、連携している。園長が小学校区の地域ネットワーク(保育園、認証保育所、保健センター、児童館)の中で園の行事予定表を配布し、情報交換をしている。運動会のお知らせを地域の小学校や保健センターに貼らせてもらっている。併設の高齢者利用施設に緊急時対応について協力を依頼している。消防署には避難訓練や心肺蘇生法の指導を受けている。</p> <p>毎週水曜日の午前中に設定して見学を受けている</p> <p>見学希望は電話で問い合わせてもらいが、毎週水曜日10時30分~11時頃に設定していることを伝えて、受けている。主に主査が対応して、見学者用の園の概要を配布し、見て貰いながら園舎内外を案内している。保育目標や園独自の活動、年間行事予定、散歩コース、園庭の大きなけやきの自然の移り変わりを感じながら子どもの優しさや思いやりが育っていることなどを伝えている。参加者から寄せられる質問にも丁寧に答えている。9月の見学者は16組であった。</p>			
サブカテゴリ-2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>入園説明会を実施して重要事項や基本的なルールを説明している</p> <p>4月入園の場合、入園内定者には3月上旬頃に健康診断と面接を実施している。事前に記入してもらった「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などの書類を基に、就労状況や家庭の事情、要望などを聴き取り、保育時間を決めている。3月中旬の土曜日に入園説明会を実施して、「保育園ご利用にあたって【重要なお知らせ】」と「園のしおり」を基に、園目標、園の概要、保育園生活について、延長・スポット保育、個人情報保護、災害・防犯健康管理、主な行事等を説明している。説明後には説明を受けた旨の出席票を提出してもらっている。</p> <p>入園当初の保育は保護者の状況などに合わせて柔軟に対応している</p> <p>入園当初の保育については、面接時に説明して保護者の状況や意向を把握している。初日は、0歳児は保護者と一緒に昼食まで過ごし、食事を食べさせて園の給食の様子を見てもらっている。2日目からは保護者の状況に合わせて進めている。目安は1週間程度にしているが、育児休業中で復職までに時間がある場合には保護者の希望に応じている。幼児の場合は、初日は昼食、2日目は午睡、3日目は夕方までと進めている。迎えの保護者には丁寧に子どもの様子を伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>卒園や転園、退園の際には不安が軽減されるように配慮している</p> <p>卒園児の就学先の小学校へ「保育所児童保育要録」送付している。卒園した1年生には、運動会の招待状を葉書で出している。小学校の運動会や発表会、授業参観に招待してもらい、卒園児の姿を見に行き励ましの声かけをしている。区内の区立園への転園の際には、児童票(写)と健康カードを送付し支援を継続している。3月の転園や退園は卒園児と一緒にお別れ会を開いているが、年度途中の転園や退園はクラスでお別れ会を開いてメッセージカードを渡している。保護者には話を良く聴いて、いつでも遊びに来てくれるように伝えている。</p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
<p>評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している</p>		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p>子どもの心身や生活状況を把握して、保育日誌や保健日誌、児童票などに記録している</p> <p>入園時には園医による健康診断を実施して発育・健康状態、保育士や看護師の面接により心身の発達や入園までの生活状況などを把握し、0・1歳児は離乳食状況や食物アレルギー等を栄養士が聴いている。入園後は、毎月の身体測定や年2回の健康診断、週1回の0歳児健診、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診の結果を健康管理票や健康カードに記入している。0～2歳児は連絡帳に食事や排泄、睡眠、体調などの情報を記入してもらい、幼児クラスは体調の変化などの情報を口頭で収集して保育し、保育日誌や保健日誌、児童票に記録している。</p> <p>担任同士で子どもやクラスの状況を振り返り、翌月の指導計画を作成している</p> <p>指導計画(月案)は子どもの様子や子どもの興味、クラスの状況などを担任同士で話し合い、年間指導計画を基に、保護者から寄せられる意向なども参考にしながら、翌月のねらいと具体的内容などを設定している。乳児クラスは個別のねらいと配慮を作成している。毎月1日までに提出して事務室に置き、職員は読んでから2日間実施しているカリキュラム会議に参加している。1日目はクラスから子どもの状況や予定している取り組みを説明し、質問を受けた内容をクラスで話し合い、2日目にその結果を報告し、個別の事例も話し合い、職員間で共有している。</p> <p>園運営や子どもに関する情報共有の為にさまざまな会議を開催している</p> <p>園運営や子どもに関する情報共有のために、毎日昼の時間に10分ほどのミーティングを実施している。園長・主査、看護師、栄養士、クラス代表が参加して、翌日の職員体制を白板で確認し、子ども関係の連絡、連絡事項(参観実施など)、怪我・ヒヤリハット報告、給食献立反省などを園日誌に記録し、参加者が各クラスに周知している。週1回の定例打ち合わせは水曜日に実施し、行事の周知、園長会報告、研修報告などを行っている。その他にも、カリキュラム会議やプロジェクトチームの打ち合わせなどさまざまな会議を開催している。</p>		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</p> <p>入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、写真やビデオの取り扱いについての区考え方も文書で示している。子どもの羞恥心への配慮として、プールや水遊びの時には遮光ネットのカーテンなどで外から見えないようにしている。女の子と男の子を分けてシャワーをしている。着脱方法も全裸にならないように、脱いだものから着ること教えている。トイレにはおもらしの着替えなどで使用するプライベートゾーンを設置している。</p> <p>一人ひとりを大事にして保育をしている</p> <p>描画などの子どもの作品には名前だけでなく、本人のマークをつけて、他の子どもも誰の作品が分かるようにしている。2歳児も作品について保護者と会話する姿が見られている。子どもの誕生日当日には玄関にお誕生日おめでとうのボードを朝保育から延長保育の時間まで飾り、クラスで誕生日会をしている。子どもの人権を守るために、名前を呼ぶ時には呼び捨てにしない、愛称では呼ばないことを確認している。子どもの気持ちに寄り添う保育をしているので、「みんなは庭で遊ぶけど、室内で遊びたい」という時には、職員間で連携して保障している。</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応し、虐待の早期発見に努めている</p> <p>「子どもの虐待対応マニュアル」に沿って対応している。保育士は日頃から、子どもの言動や身体状況の変化などに気を配り、気になる場合には園長に報告し、記録を取り、職員間で共有している。園長は所管課や子ども家庭支援センターに連絡し連携して対応している。虐待関係の研修は地域懇談会の中で、子ども家庭支援センター職員から、「児童虐待対応マニュアル」についての説明を受けて、職員会議で報告し共有している。都から示された、虐待とされる保育の対応、例えば、食事を無理に食べさせるなどを職員会議で報告している。</p>			
サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p> 区立保育園共通のマニュアルや園独自のマニュアルを整備している 区立保育園共通の「杉並区保育実践方針」「危機管理マニュアル」を整備している。園独自のマニュアルとして、「防犯マニュアル」、「園長・主査不在時の緊急対応」、「園の約束」、「散歩マニュアル」、「朝・夕・土曜日保育のパートの仕事分担」、「園庭の約束事」などを作成している。これらのマニュアルは各クラスに置いて、いつでも確認したい時に見られるようにしている。 </p> <p> マニュアル類は年度末に確認して見直すが、必要に応じて随時の見直しもしている 園独自のマニュアル類は年度末に確認して、必要な時には見直している。「朝・夕・土曜日保育のパートの仕事分担」はパート職員の退職などで入れ替わりがある時には、検討して見直している。「園庭の約束事」は長いシャベルの使い方について、意見が出た際に検討して決め直している。「情報共有ノート」を作成して、職員が気付いたことなどを報告し、職員間で気を付けようとしたことは決定事項欄に記入して、事務室に置き、職員はいつも見ることにしている。 </p> <p> 防犯や保護者の利便性などを考慮して、これまでの方法を変更している 防犯訓練の時に門や玄関の施錠について討議した際に、土曜日は職員数も少ないことから、子どもの安全確保のために全日、門を施錠することを園長が提案し、職員会議で検討して実施することにして、保護者にも周知した。自転車駐輪場に設置したチェーンについて、道路向かいにある区立公園の来園者の駐輪防止策として設けてあるチェーンであり、登降園の時間帯にはチェーンを外して、保護者の自転車の出し入れがしやすいように変更した。 </p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分で遊びたい玩具を選んで、落ち着いて遊べる環境作りをしている</p> <p>乳児クラスの保育室は食事や着替えなどの生活の場所と遊びの場所とを低い玩具棚や衝立、柵などで仕切り、子どもが落ち着いて食事や遊びができるようにしている。遊びの場所は年齢発達に合った玩具を用意し、ままごとや絵本、構成遊び、手先遊びなどのコーナー作りをして、好きな物を自分で選んで遊べるような環境設定にしている。幼児クラスでも、ままごとや絵本、木製積み木のコーナー作りをし、5歳児では、将棋やオセロなどのゲーム遊びや図鑑などがあり、4・5歳児はクレヨンやはさみなどの制作用具も自由に使えるようにしている。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちを受けとめて対応している</p> <p>保護者会で、発達過程として子ども同士のトラブルでひっかきや噛みつきがある事を説明している。乳児クラスでトラブルが生じた時には、「～したかったのね」と気持ちを受けとめ代弁し「痛いからやめようね、～て言うんだよ」などと伝えている。繰り返す場合には、玩具の数を増やす、少人数の保育をするなど保育の見直しを話し合っている。双方の保護者にトラブルの状況をきちんと説明して、今後の対策などを伝えている。幼児の場合には解決できるようなら見守り、仲介が必要な場合にはお互いの言い分を良く聴き、一緒に考え、解決に導いている。</p> <p>小学校と連携し、子どもの学校訪問や保護者が小学校教諭の話を聴く機会を設けている</p> <p>幼保小連携会議に5歳児担任が参加して、子どもの姿などについて小学校教諭と話をしている。前期のクラス保護者会で、小学校の1年生担任に、入学した子どもの様子を話してもらい、保護者と子どもたちが入学してから困らないために今できることや必要なことについて意見交換し、自分の名前が書ける、身の回りのことが出来る、和式トイレやペーパーが使えることなどを確認している。子どもたちは連携小学校を訪問して、給食体験や低学年との交流、学校のイベントにも招待されている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている

登園時には、当番保育士や担任が保護者と子どもの顔を見て挨拶し、子どもの表情や顔色、機嫌などの健康観察をして、保護者に家庭での子どもの様子や体調の変化を聴き取っている。前日に休んだり、体調を崩し気味、怪我をしたなどの場合には、詳細に聴いている。聞き取った子どもの情報は、朝タノートに記入して、当番保育士は担任に引き継いでいる。乳児は連絡帳でも、食事や睡眠、排便、健康、連絡事項を把握している。

休息(昼寝を含む)は子どもの状況に応じて早めに寝るなどの配慮をしている

0・1歳児の場合には眠い時には、午前寝も夕寝もしている。昼食時に眠くなる子どもは早めに寝させている。家庭で就寝が遅くなったり、早く目覚めたりして睡眠が不足している場合にも早めに布団に入れている。目覚めた子どもは起きて、他の部屋などで静かに遊んでいる。幼児の場合15時頃に起こしているが、早く目覚めた子どもは起こして3歳児室や事務室で遊んでいる。寝付けぬ子どもは他の部屋で遊んで過ごしている。就学を控えた5歳児は1～2月頃から休息時間を徐々に短くしている。体調を崩したり眠たいような場合には個別に対応している。

迎への保護者には日中の子どもの様子を可能な限り一人ひとりに伝えている

日中の子どもの様子は、乳児クラスでは連絡帳で一人ひとり伝え、幼児クラスは貼り出し日誌を読んでもらい、個別の連絡事項がある場合にはメモ用紙で伝えている。夕方の迎え時には担任または当番保育士が可能な限り一人ひとりの子どもの様子を伝えている。当番保育士には、担任が朝タノートに連絡事項を記録し、口頭でも引き継いでいる。怪我などの日中の出来事を直接伝える必要がある場合には、保護者の迎えを待って、担当者が伝えたり、必要に応じて園長・主査も伝えるようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちの遊びからお店屋ごっこに発展し、他のクラスも参加して楽しんでいる

子どもたちのくじ引き遊びから、景品作りが始まり、お客さんが来ると楽しいねというつぶやきが、みんなでお店屋ごっこをしようということに発展し、5歳児のクラス行事として取り組んでいる。どんなお店にするか話し合い13のアイデアが出て、みんなで話し合い、3つの店に絞り込み取り組んでいる。ケーキやパン、ラーメンなどの食べ物屋、指輪やネックレス、髪飾りなどのアクセサリ屋、輪投げや的当てのゲーム屋に分かれて、商品づくりや景品作りをし、小さい子も楽しめるものと張り切って準備をすすめ、お店屋ごっこを楽しんでいる。

運動会では、年長組としての役割や披露する踊りに張り切って取り組んでいる

おおきなわ(運動会)では、5歳児は子どもたちと相談して、以前見たことのあるかっこいいソーラン節を踊ることに決め、振りを練習して、ビデオで出来栄を確認し、「揃ってない、手は伸ばした方がかっこいい」など意見や感想を出し合って、お互いにかっこよく踊ろうと取り組んだ。5歳児は入場門制作や当日の係りもあり、役割を果たすことも「年長組だから」と張り切っていた。リレーは始めのうちは誰にもバトンを渡すかわからず、走るだけに一生懸命だったが、次第に間違えずに渡すようになり、負けても泣かずにゴールできるようになった。

行事予定表を4月に配布し、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えている

年間行事予定表を4月に配布し、前期の保護者会でも説明している。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子を、毎日の貼り出し日誌に写真を付け、月2回発行のクラスだよりで詳細に伝えている。おおきなわだよりを3号発行し、見どころやお知らせなどを掲載している。運動会は10月の土曜日に小学校校庭で実施し、幼児クラス対象の行事にして乳児クラスは自由参加にし、参加を呼びかけ、地域の人も含めたプログラムを用意している。当日保育が必要な場合には保育をしている。終了後は保護者から寄せられた感想をボードに掲示している。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちの遊びからお店屋ごっこに発展し、他のクラスも参加して楽しんでいる</p> <p>子どもたちのくじ引き遊びから、景品作りが始まり、お客さんが来ると楽しいねというつぶやきが、みんなでお店屋ごっこをしようということに発展し、5歳児のクラス行事として取り組んでいる。どんなお店にするか話し合い13のアイデアが出て、みんなで話し合い、3つの店に絞り込み取り組んでいる。ケーキやパン、ラーメンなどの食べ物屋、指輪やネックレス、髪飾りなどのアクセサリ屋、輪投げや的当てのゲーム屋に分かれて、商品づくりや景品作りをし、小さい子も楽しめるものと張り切って準備をすすめ、お店屋ごっこを楽しんでいる。</p> <p>運動会では、年長組としての役割や披露する踊りに張り切って取り組んでいる</p> <p>おおきなわ(運動会)では、5歳児は子どもたちと相談して、以前見たことのあるかっこいいソーラン節を踊ることに決め、振りを練習して、ビデオで出来栄を確認し、「揃ってない、手は伸ばした方がかっこいい」など意見や感想を出し合っ、お互いにかっこよく踊ろうと取り組んだ。5歳児は入場門制作や当日の係りもあり、役割を果たすことも「年長組だから」と張り切っていた。リレーは始めのうちは誰にバトンを渡すかわからず、走るだけに一生懸命だったが、次第に間違えずに渡すようになり、負けても泣かずにゴールできるようになった。</p> <p>行事予定表を4月に配布し、行事に向けて取り組んでいる子どもの様子を伝えている</p> <p>年間行事予定表を4月に配布し、前期の保護者会でも説明している。子どもたちが行事に向けて取り組んでいる様子を、毎日の貼り出し日誌に写真を付け、月2回発行のクラスだよりで詳細に伝えている。おおきなわだよりを3号発行し、見どころやお知らせなどを掲載している。運動会は10月の土曜日に小学校校庭で実施し、幼児クラス対象の行事にして乳児クラスは自由参加にし、参加を呼びかけ、地域の人も含めたプログラムを用意している。当日保育が必要な場合には保育をしている。終了後は保護者から寄せられた感想をボードに掲示している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>可能な限り慣れた保育室でゆったりと過ごしている</p> <p>夕保育は0～3歳児は各クラスで過ごしている。4・5歳児は一緒になって4・5歳児室で過ごしている。18時30分すぎになると延長児以外は4歳児室に移動してきて、延長児は3歳児室へ、お迎えを待つ子どもは4歳児室で過ごしている。0歳児クラスの1歳になった子どもも延長利用する場合には慣れたパート職員と一緒に3歳児室に合流している。18時30分からの延長保育はみんなと一緒に過ごしている。</p> <p>子どもの年齢に合った玩具を用意し、安心できる環境で遊んでいる</p> <p>延長保育利用児は、11月現在10名程度である。子どもの年齢に幅があるので、年齢に合った遊べる玩具や粘土など、好きなものを用意している。その子に合ったテーブルと椅子を用意し、遊び用の布団も用意している。一人になれる小さなスペースも設定し、子どもが安心していられるように、いつも同じパート職員を配置している。大人と個別な対応で、ままごとコーナーで遊んだり、絵本を読んでもらうなどしている。</p> <p>延長保育用の玩具を用意し、大人とのスキンシップも大事にしている</p> <p>夕保育や延長保育に使う特別な玩具も用意している。トンカチの玩具などの一人で遊ぶ物や少人数で遊ぶ物などにして、子どもが飽きないようになっている。大人とのスキンシップを大切にして、膝に座らせ本を読んだり、1対1のゲームをしたりしている。また、異年齢の子ども同士が兄弟のような雰囲気、一緒に遊んだり、遊びを教えてもらったりもしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

誕生児の特別ランチプレートや行事の会食など、楽しい給食を提供している

子どもの体格に合わせたテーブルと椅子に座って、落ち着いて食べられるようにしている。幼児クラスでは誕生日の子どもには特別ランチプレートで提供し、献立はおなじであるが、星形人参や星形パン、パンダ組にはパンダご飯など、盛りつけ方や切り方を変えるなどしている。会食は、七夕と12月のおたのしみ会のなかよしランチ、3月のおわかれ会食の年3回実施し、ホールに集まってアレルギーのない献立にしたり、3歳児の量を盛り付けして、お代わりして良いことにし、テーブルに花を飾るなどして雰囲気作りをしている。

区立園共通の献立で、食の安全性に留意し、栄養バランスの良い給食を手作りしている

区立保育園共通の献立は区の栄養士が栄養バランスや子どもの食べ具合などを考慮して作成し、園の調理室で手作りして給食を提供している。食品添加物を使用した食品は極力使わず、旬の食材を使い、煮干しや昆布、鰹節などで出汁をとり、薄味で自然な美味しさの給食にしている。食の安全性にも留意して、給食実物展示や食材産地の表示をしている。子どもたちが食材を目にし、触れる経験ができるように納入野菜を調理室の前に展示したり、今日の野菜を貼り出したりしている。保護者にも保護者会などの機会に試食してもらっている。

野菜を栽培し、収穫野菜を調理してもらい食べたり、食材に触れる経験をしている

園庭にある花壇には、パプリカ、きゅうり、枝豆などの夏野菜を植えている。5歳児が苗を3・4・5が植え付けし、水やり当番をしながら生育を観察し、収穫の喜びを味わい、調理室に届けて採れたてを調理してもらっているが、野菜が苦手な子どもも自分たちが育てた野菜は格別のように、良く食べている。野菜に触れる経験では、そら豆やとうもろこしなどの皮むき手伝いをしている。調理経験では、幼児クラスはラップおにぎり、5歳児はクッキー作りやスイートポテト、中の見える鍋を使い、ご飯炊きを保育室で行った。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

手洗いやうがいなどの健康指導をし、園庭遊びや散歩で身の安全について知らせている

年間保健計画を作成して、感染症予防のため子どもたちに手洗いやうがいを指導することを目的に健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導では子どもが分かりやすいように紙芝居を見せたり、実演するなどして行っている。歯磨き指導は歯科健診の前に4・5歳児は歯科衛生士の指導を受けている。日頃の保育の中でも、危険な遊び方をしないことや危険な場所には行かないこと、園庭遊びのルールなどを伝え、散歩の際には道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールを知らせている。

園での薬の服用が必要と診断された場合に限り、医師の処方薬を預かり与薬している

医療的ケアが必要な子どもは在籍していない。薬の預かりは原則的にしていないが、その子どもが健康的な生活を送る上で、園で薬の服用が必要であると診断された場合には、医師の処方薬に限り預かっている。現在は塗り薬の与薬をしている。嘱託の園医は週1回0歳児健診、年2回の定期健康診断で来園しているので、園児の健康に関する相談をして、アドバイスをもらっている。

毎月の保健便りや保健掲示などで、感染症などの情報を提供している

毎月「ほけんだより」を発行して、保健行事予定、園で使用する塗り薬や虫よけスプレー、虫歯予防、歯磨きの習慣づけ、夏の感染症、生活リズムの大切さなどを掲載して、子どもの健康維持のための情報提供をしている。玄関脇の保健掲示コーナーには感染症情報や健康に関する情報を掲示し、2階廊下の掲示ボードにも感染症情報を貼っている。職員は救急救命の講習を受けている。乳幼児突然死症候群(SIDS)のポスターを0歳児受け渡し室に掲示して、園の昼寝では、0・1歳児のうつぶせ寝をさせないようにし、午睡チェックをしている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の家庭や就労の事情は話をよく聴き、柔軟に対応している

保護者の家庭の事情や就労の状況などに変化があった時などは申し出てもらい、保育時間の変更などに応じている。急な残業などで迎えが遅くなる、土曜日は休みだが仕事が入ったなどは事前に連絡をもらったり、電話連絡してもらい受けている。保護者や家族が通院で迎えが遅くなる、迎えの人が変更になるなども、家庭の事情を良く聴いて、柔軟に対応している。

保護者会では保護者同士が話し合える時間を設定して交流の機会にしている

年2回の保護者会は平日の午後に実施している。前期の保護者会はクラス目標や子どもたちの様子、年齢発達の姿などを資料配布して説明している。事前にアンケートを取るなどしてテーマを決めて、保護者同士の話し合いの時間を設定し、「休日の過ごし方」「寝相対策」「叱り方」「食事の食べさせ方」など、育児で困っていることなどを話してもらっている。保護者参加行事の運動会(おおきなわ)では、親子競技や保護者競技の種目を取り入れ、保護者同士の交流の機会にしている。0歳児クラスでは11月に保護者同士のフリートークの機会を設定している。

保育参観・参加と個人面談を実施して、園での子どもの様子を知ってもらっている

個人面談は各クラスで期間を決めて実施し、有効な時間にするために事前にアンケートをとり、保護者の聴きたいことなどに応えられるようにしている。保育参観・参加も期間を決めて実施している。乳児クラスでは保護者が隠れたり、帽子やマスクなどで変装して見ってもらう参観をし、散歩と一緒に出かけるときには只今参観中の表示を身に付けてもらっている。幼児クラスは子どもと一緒に遊んでもらう保育参加してもらうことが多い。子どもの園での様子を直接見てもらえる機会になるので、参加を呼び掛けている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>区立公園の事業に参加し、併設の高齢者利用施設などと交流している</p> <p>園の向かい側にある区立公園が実施している春のたけのこ掘りや夏の打ち水作戦に誘ってもらい、参加している。たけのこ掘りの様子を見て、最後の抜き取りをさせてもらい、園に持ち帰って皮をはぎ、調理してもらい食べている。七夕の笹竹ももらい、園の卒園式に招待している。併設の高齢者利用施設のお茶会に招待されて和室でお茶を経験している。地域の子育てネットワーク事業の「おもしろ縁日」は、10月の土曜日に小学校で実施しているが、園の職員が赤ちゃんふれあいコーナーを担当している。5歳児は地域の図書館に絵本などを借りに行っている。</p> <p>地域の保育園と交流したり、お話しボランティアに来てもらったりしている</p> <p>園の向かい側にある区立公園が実施している春のたけのこ掘りや夏の打ち水作戦に誘ってもらい、参加している。たけのこ掘りの様子を見て、最後の抜き取りをさせてもらい、園に持ち帰って皮をはぎ、調理してもらい食べている。七夕の笹竹ももらい、園の卒園式に招待している。併設の高齢者利用施設のお茶会に招待されて和室でお茶を経験している。地域の子育てネットワーク事業の「おもしろ縁日」は、7月の土曜日に小学校で実施しているが、園の職員が赤ちゃんふれあいコーナーを担当している。5歳児は地域の図書館に絵本などを借りに行っている。</p> <p>園庭開放などの地域子育て支援事業をしているが参加者は多くはない状況である</p> <p>地域子育て支援事業として、地域の子ども向けの園庭開放と身体測定・育児相談・食事相談を実施している。園庭開放は毎週月・水・金曜日10～11時に、身体測定などは月1回第三木曜日に実施している。地域向けの園だより「けやき通信」を年に数回発行して保育園の活動や子育て支援事業へのお誘いをしているが、参加者は多くない状況である。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの環境として清潔で、心地よく、思わず遊びたくなる環境作りをしている	
内容①	園の玄関の靴箱の上には自然物を利用した季節感が溢れる飾り付けがしてあり、子どもの目線の位置に汽車セットを置き、子どもが触れて遊べるようにしている。2階への階段の踊り場には、季節の飾りも用意してあり、小さなテーブルにハリネズミの小さな玩具が2つ置いてあり、階段の上り降りの際にはそこで遊んでからまた上がっていく子どもがいる。施設は古いが掃除が行き届き、子どもも大人もホッとできる空間になっている。利用者調査結果では園内は清潔で整理された空間になっているかの問いに対して、100%の肯定回答で非常に高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	少人数の保育園であり、ゆとりを持ってきめ細かな保育をしている	
内容②	定員76名の産休明け保育実施園である。クラスの人数は0歳児9名、1歳児11名、2歳児12名、3歳児14名、4・5歳児がそれぞれ15名である。1クラス当たりの人数が少ないために、丁寧にゆとりを持って、きめ細やかな保育をしている。乳児クラスでは、5～6名ずつの少人数グループで活動している。子どもの「～したい」思いを保障するために職員間で連携して対応している。利用者調査の結果、職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思うかの問いに対して、100%の非常に高い満足を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保育園の保育を分かりやすく伝えて、子どもの育ちを保護者と共有しながら保育している	
内容③	乳児クラスは連絡帳、幼児クラスは貼り出し日誌で毎日の子どもの様子を伝えている。貼り出し日誌に写真を付けるなどして子どもの様子が分かるような工夫をしている。クラスだよりも月1～2号発行して、具体的な子どもの様子を伝えるようにしている。保護者会年2回、保育参観・参加、個人面談を実施して、保護者と子どもの育ちを共有しながら保育を進めようとしている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	大きな樺がある園庭環境を生かし、木陰で縄ブランコやサンドバック、可動遊具などで遊んでいる
	内容	園庭は2か所に分かれ、広い方の園庭には大きな樺が3本あり、樹木と樹木の間には綱やサンドバックなどを取りつけ、鉄棒には縄ブランコを取りつけたりして遊んでいる。狭い方の庭には、ごっこハウスがある。固定遊具の他に、子どもが自分で選んで好きな遊びができるように、L字パーツやゴザ、切り株、タイヤ、風呂マット、テーブルなどの可動遊具を子どもが自由に使える場所に置いている。子どもたちの遊ぶ様子からサッカーゴールを購入したり、子どもが摘んで遊びに使える花や植物を植えるなどの園庭環境にしている。
2	タイトル	年間保育指導計画作成時には、担任同士が項目に沿って考え方をするあわせた上で計画を作成している
	内容	年間指導計画作成時には、担任同士で、園目標や全体的な計画に基づいて年間指導計画を作成するに当たり、年間計画指導ポイントとして、「大切にしたい保育」「活動のポイント」「クラスの運営」「環境設定」「人間関係（大人と子ども・子ども同士）」「保護者対応及びクラスの特徴」を項目立てして話し合い、お互いの保育に対する考え方をすり合わせし、明確にしたうえでクラス目標を決め、年間指導計画を作成している。
3	タイトル	保育の継続ができるように「当園の産休明け保育マニュアル」を作成している
	内容	産休明け保育には保育士と共に毎年看護師が関わり、子どもの健康と心身の発達を専門職の立場から支えている。当園では看護師の入れ替わりなどがあり、産休明け保育の継承が途切れてしまっていたために、以前0歳児クラス担任を経験したことがある保育士が新採の看護師と一緒に、園としての産休明け保育マニュアルを作成して、年間保育指導計画に生かして保育を進めている。月齢と玩具、散歩、離乳食の形態・大人の配慮・食具・椅子・進め方など詳細に示している。人員配置の変更があっても保育の質を落とさず継続した保育ができるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域のニーズをより分析し、地域の子育ての拠点としての取り組みについて再検討されることを期待する
	内容	地域子育て支援事業として、地域の子ども向けの園庭開放と身体測定・育児相談・食事相談を実施している。また、地域向けの園だより「けやき通信」を年に数回発行して保育園の活動や子育て支援事業へのお誘いを行っているが、参加者は多くない状況である。近隣の私立園や小学校、ゆうゆう館との連携に取り組んでいるが、地域のニーズをより分析し、区立直営園として、地域の子育ての拠点としての取り組みについて再検討されることを期待する。
2	タイトル	ヒヤリハット用紙を活用し、職員のリスク感性を高めていくことが望まれる
	内容	園舎内外の危険箇所については、用務担当職員を含め全職員が日常業務の中で気づき、ミーティングなどで共有し、解決できることはすぐに解決に動いている。また、軽微なリスク（ヒヤリハット）に関しては、「情報共有ノート」に記載して職員間で情報共有している。しかし、ヒヤリハット用紙は活用されていない。事故を未然に防ぐために、ヒヤリハット報告を活用し、ヒヤリハット報告を沢山挙げ、職員のリスク感性を高めていくことが望まれる。
3	タイトル	仕事の進め方の効率化に向けて、より一層の取り組みが望まれる
	内容	職員アンケートでは、有給休暇の取得の職員間でのアンバランスや、就業時間外の事務作業への改善が必要との意見が寄せられていた。会議に時間がかかっているため、議題の整理や、資料の事前配布等やり方の工夫が必要であると幹部層も考えている。ワーク・ライフ・バランスをさらに促進していくためにも、仕事の進め方の効率化に向けて、より一層の取り組みが望まれる。

